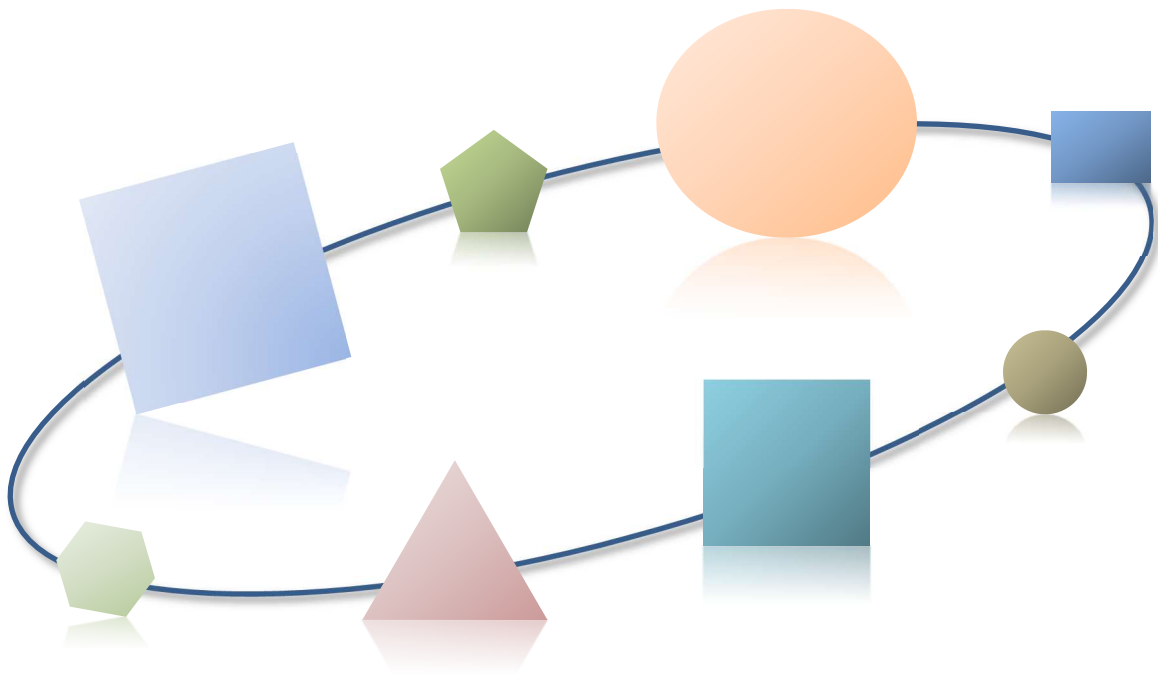


令和7年度  
蒲郡市公共施設白書



令和8年3月  
蒲郡市



# 目次

第1章 はじめに	1
1-1 背景	1
1-2 本白書作成の目的	1
第2章 蒲郡市の概要	3
2-1 蒲郡市の概況	3
2-2 人口の推移と見込	4
2-3 財政状況の推移	5
2-4 公共施設の保有状況	8
2-5 将来の維持更新費用	11
2-6 公共施設整備状況比較	15
第3章 施設用途ごとにみた現状と課題	20
3-1 庁舎等施設（庁舎・車庫）	26
3-2 公民館等施設（市民会館、公民館）	28
3-3 生涯学習施設（博物館等、図書館）	34
3-4 運動・公園施設（スポーツ施設等、公園、児童遊園地等）	37
3-5 学校教育施設（小学校、中学校、専門学校、その他（学校教育））	41
3-6 児童福祉施設（保育園、児童館）	52
3-7 保健・福祉施設（福祉センター等）	65
3-8 衛生施設（ごみ処理施設等）	69
3-9 公営住宅施設（公営住宅）	71
3-10 観光施設（観光施設）	75
3-11 消防・防災施設（消防署、消防団器具庫等、防災資機材庫等）	79
3-12 その他施設（駅周辺施設、その他）	81
第4章 地区別にみた公共施設の現状	83
4-1 地区の定義	83
4-2 各地区の人口構成と公共施設保有量	84
4-3 大塚地区の現状	85
4-4 三谷地区の現状	90
4-5 蒲郡南地区の現状	95
4-6 蒲郡北地区の現状	101
4-7 塩津地区の現状	107
4-8 形原地区の現状	112
4-9 西浦地区の現状	117

---

## 第1章 はじめに

---

### 1-1 背景

蒲郡市には、学校や公民館、文化施設など、様々な公共施設が整備されています。しかし、近年、建物自体の老朽化、市民のニーズの多様化、人口減少や少子高齢化の進展などにより、各施設を取り巻く環境は日々変化しつつあります。

本市が保有する施設はモーターボート競走事業会計からの繰入金が増えた昭  
和 50 年代までに整備されたものが多く、老朽化が進んでいることから、今後一定期間に大規模改修や建替えが集中することが想定され、既存の施設を現状のまま維持するには多額の費用が必要になることが見込まれます。

一方で、建築費の高騰に代表される物価の上昇や、社会情勢の変化に伴う歳出の増加など、本市の財政は非常に厳しい状況に置かれており、今後施設を維持、管理するための費用の捻出が、難しくなることも想定されます。

また、人口減少、少子高齢化による世代構成の変化や、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う人々の価値観、生活様式の変化、社会が公共施設に求めるニーズが大きく変化し、施設を整備した時点において想定した設置目的が、現在のニーズに即していない可能性があります。

このような状況の中で、財政状況や社会情勢の変化を考慮し、将来の公共施設のあるべき姿を検討する必要があります。

さらに近年、南海トラフ地震の発生が高い確率で予想されていることや、豪雨災害が激甚化する傾向にあることから、防災対策の観点からも検討を行う必要があります。

### 1-2 本白書作成の目的

公共施設白書は、本市が所有している公共施設について、現状と課題をありのままに示すものです。

本白書は、上記の背景に基づき、将来の公共施設のあるべき姿を検討するための基礎資料とするために、平成 26 (2014) 年度に策定し、令和 2 (2020) 年度に改訂しています。

前回の改訂以降、公共施設の状況も変化していることから、本白書では改めて直近のデータを整理しています。

**【本白書をご覧いただくにあたっての注意点】**

- ・公共施設の現状については、令和6（2024）年度末時点の値を用いています。ただし、全国や他の自治体との比較の際に用いている公共施設面積等は、比較が可能な年度である令和5（2023）年度末時点の値を用いています。
- ・本白書に掲載している数値は、表示単位未満を四捨五入して掲載しています。そのため表示数値の合計は合計値と一致しない場合があります。
- ・体育施設や公園において、複数の施設を一括した形で指定管理を行っている場合は、施設ごとの経費を費用に応じて按分して掲載しています。

## 第2章 蒲郡市の概要

### 2-1 蒲郡市の概況

- ・本市は本州のほぼ中心に位置し、古くからの漁師町や、繊維工業で栄えたまちを起源とする都市です。渥美半島と知多半島に囲まれた温暖な気候を生かしたハウスマikan栽培が盛んで、日本有数の出荷量を誇ります。
- ・昭和 29 (1954) 年に三谷町・蒲郡町・塩津村が合併し、市制が施行されました。昭和 30 (1955) 年に大塚村の大字相楽・大塚地区、昭和 37 (1962) 年に形原町、昭和 38 (1963) 年に西浦町が合併し、現在に至っています。(各市町村・地区の呼称は合併当時のものです。)
- ・海辺のテーマパーク、温泉、ボートレース場を有し、三河湾国定公園の中心に位置する本市には、観光や娯楽を目的に市外より多くの方が訪れます。
- ・令和 7 (2025) 年 3 月に国道 23 号蒲郡バイパスの本市より東の区間が開通し、名古屋市から豊橋市までを結ぶ名豊道路が全線開通しました。全線開通に伴い、広域での交通アクセスが一層容易となり、また通過交通が名豊道路の利用に転換することで、市街地の渋滞緩和や交通安全の確保が期待されます。
- ・北と東西の三方を山と丘陵部に囲まれ、南は三河湾に面していることから、市街地は海岸線に沿った平地部に形成されています。平地部を走る JR 東海道本線、名鉄蒲郡線を軸にまとまった市街地を形成しており、コンパクトな都市構造となっています。

図 2-1 蒲郡市の概況

人口 (R2(2020)国勢調査)	79,538 人
世帯数 (R2(2020)国勢調査)	30,970 世帯
財政力指数 (R6(2024)年度)	0.79
歳入総額(普通会計) (R6(2024)年度決算)	487.2 億円
歳出総額(普通会計) (R6(2024)年度決算)	465.8 億円



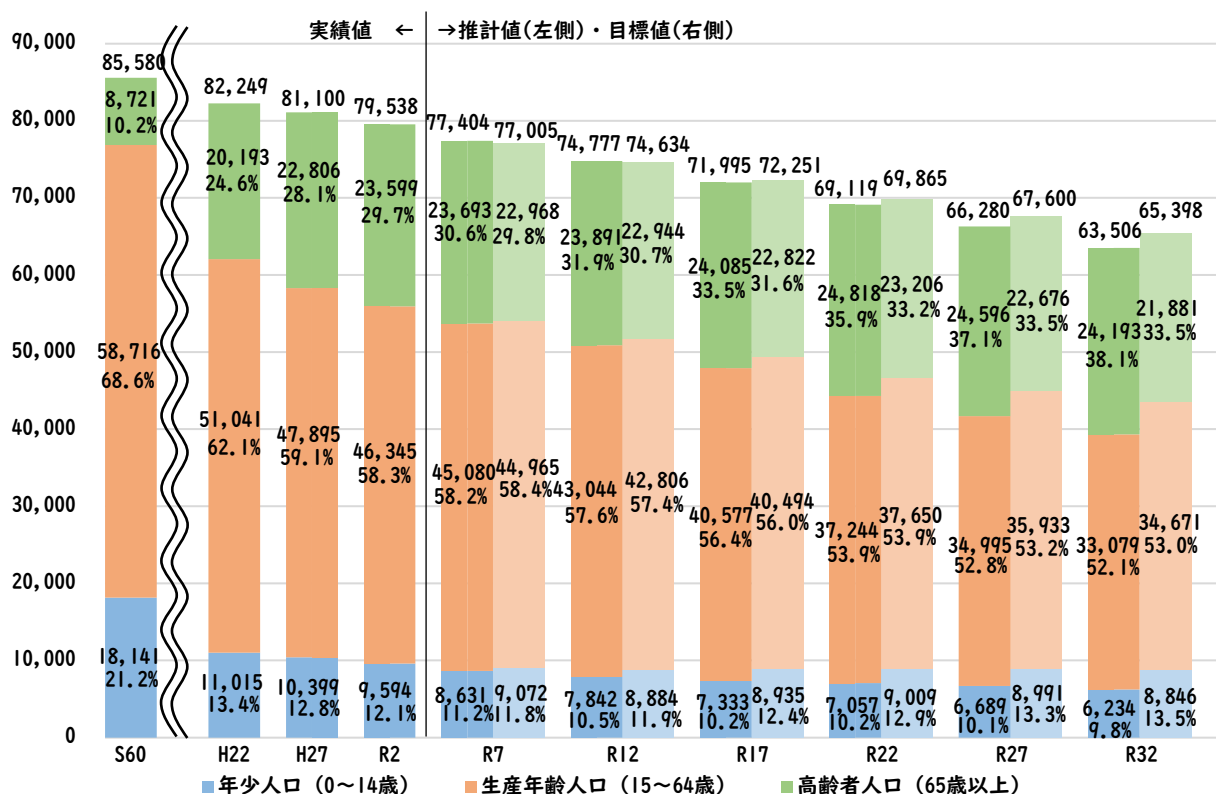
出所：国勢調査、地方公共団体の主要財政指標一覧、蒲郡市決算統計資料

## 2-2 人口の推移と見込

- ・人口は、昭和 60 (1985) 年以降緩やかに減少を続けており、令和 2 (2020) 年現在で 79,538 人となっています。
- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、令和 32 (2050) 年の推計人口は 63,506 人となっています。なお、市が策定した蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンにおける同年の目標人口は 65,398 人であり、地方創生に係る取組等の推進により人口減少の緩和を図ることとしていますが、人口減少そのものは避けられない状況です。
- ・推計人口の年齢階層別の内訳をみると、令和 2 (2020) 年から 32 (2050) 年までの間に、生産年齢人口は 46,345 人(58.3%) から 33,079 人 (52.1%) に減少する見込みであり、これに伴う税収減などが見込まれます。一方で、高齢者人口は 23,599 人 (29.7%) から 24,193 人 (38.1%) と、比率が大きく上昇する見込みで、将来は現在よりも少ない生産年齢人口で高齢者を支える構造となります。

このような状況を踏まえ、人口減少下にあっても持続可能な社会を構築するためには、これらに見合った公共施設の再編や用途の転用が必要になると考えられます。

図 2-2 人口の推移・将来人口の見込



※実績値は各年の国勢調査の結果(年齢不詳按分済)をもとに作成しています。  
 ※令和 7 (2025) 年以降のデータについては、推計値(左側)と目標値(右側)を併記しています。  
 ※推計値は「日本の地域別将来推計人口(令和 5 年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所が令和 2 (2020) 年国勢調査をもとに令和 5 (2023) 年 12 月に公表)をもとに作成しています。  
 ※目標値は「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」(平成 22 (2010) 年国勢調査をもとに平成 28 (2016) 年 3 月に策定)をもとに作成しています。

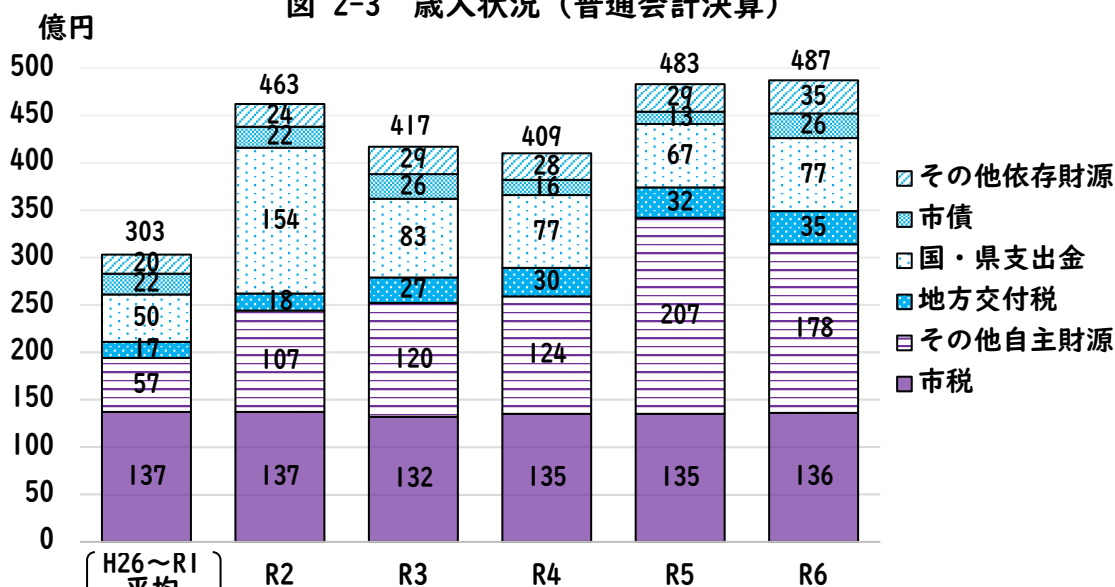
出所：国勢調査、日本の地域別将来推計人口、蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

## 2-3 財政状況の推移

### 2-3-1 歳入の推移（普通会計）

- ・普通会計における歳入総額は、令和2（2020）年度から6（2024）年度にかけて409億円から487億円の間に推移しています。なお、平成26（2014）年度から令和元（2019）年度までの6カ年度平均は303億円で、直近の5カ年で、歳入規模が急速に拡大しています。
- ・歳入の増加の要因としては、新型コロナウイルス感染症対策に伴う国・県支出金の増加や、行政需要の増加に対応するためのその他自主財源の増加があります。一方で、歳入の根幹をなす市税収入は、ほぼ横ばいとなっています。
- ・市税やその他自主財源については、令和5（2023）年度以降、300億円を超えていますが、このうち市税収入は、今後も人口減少や少子高齢化により、行政需要に見合うだけの大幅な増加が見込めない状況です。

図 2-3 歳入状況（普通会計決算）



出所：地方財政状況調査、蒲郡市決算統計資料

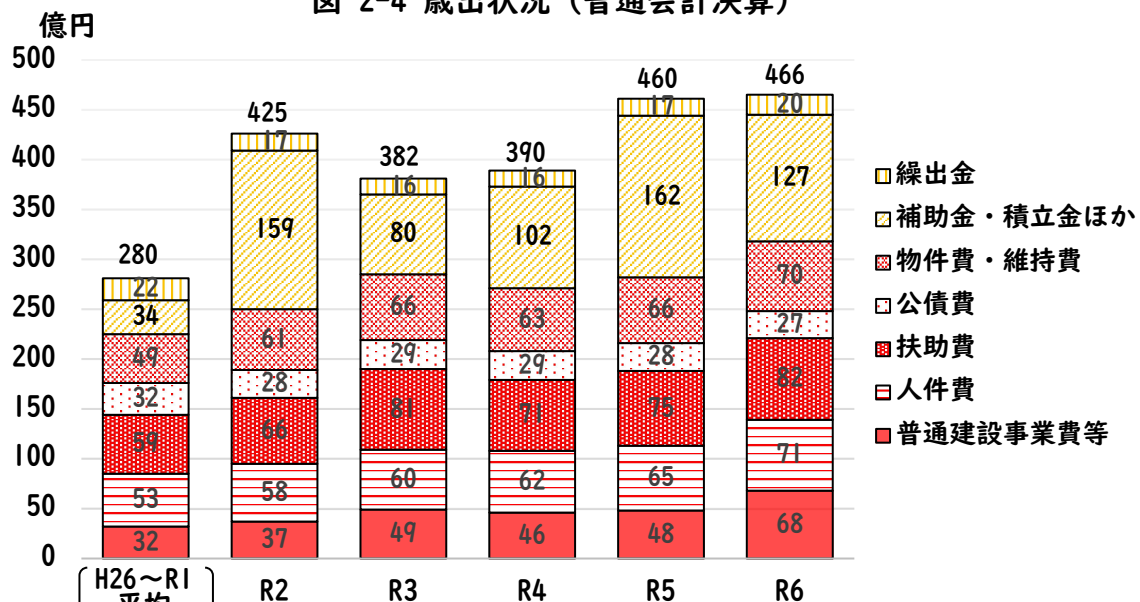
#### 【歳入に関わる語句の説明】

- 普通会計  
地方公共団体ごとに各会計に包含する予算内容が異なっているため、財政状況の統一的な把握及び比較するための統計上用いられる会計区分。公営事業会計以外の会計を総合して一つの会計としてまとめたものを指す。
- その他依存財源  
地方交付税、国・県支出金、市債以外の、政府や県によって定められた額を交付される財源。地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金等。
- 市債  
地方公共団体の長期借入金（年度を超えて元利を償還する借入金）。
- 国・県支出金  
国庫支出金（国と地方公共団体の経費負担区分に基づき、国が地方公共団体に対して支出する負担金、委託費、特定の施策の奨励又は財政援助のための補助金等）及び県支出金（県の市町村に対する支出金）。
- 地方交付税  
地方公共団体の自主性を損なわず、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために国税の一定割合の額を国が地方公共団体に交付する税。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付される特別交付税がある。
- その他自主財源  
市税以外の、市が自らの権限で収入しうる財源。使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金等。
- 市税  
住民税、固定資産税、都市計画税等の地方税。

## 2-3-2 歳出の推移（普通会計）

- ・普通会計における歳出総額は、令和2（2020）年度から6（2024）年度にかけて382億円から466億円で推移しています。なお、平成26（2014）年度から令和元（2019）年度までの6カ年度平均は280億円で、直近の5カ年で、歳出規模が急速に拡大しています。
- ・歳出の増加の要因としては、新型コロナウイルス感染症対策に伴う歳出のほか、高齢化の進展に伴う扶助費や、物価上昇に伴う人件費などの義務的経費（支出が義務付けられている経費）の増加が挙げられます。扶助費等は今後も増加する見込みのため、今後さらに財政状況を圧迫する要因となることが想定されます。
- ・普通建設事業費等については、スポーツ施設の改修や学校施設の改築、改修等の実施に伴い、増加傾向にあります。これに対応するため、基金（貯金）や補助金・交付金を活用し、普通建設事業費等に対する財源を確保している状況です。

図 2-4 歳出状況（普通会計決算）



出所：地方財政状況調査、蒲郡市決算統計資料

### 【歳出に関わる語句の説明】

- 繰出金  
普通会計と公営事業会計との間又は特別会計相互間において支出される経費。また、基金に対する支出のうち、定額の資金を運用するためのものも繰出金に含まれる。なお、法非適用の公営企業に対する繰出も含まれる。
- 補助金・積立金ほか  
補助費（他の地方公共団体や国、法人等に対する支出）や積立金、投資及び出資金、貸付金。
- 物件費・維持費  
物件費（臨時職員の人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の地方公共団体が支出する消費的（支出の効果が単年度又は極めて短期的なもの）な費用の総称）、及び維持補修費（公共施設等の管理に必要な費用）。
- 公債費  
地方公共団体が発行した地方債の元利償還等に要する経費（地方自治体の借入金の返済にかかる経費）。
- 扶助費  
社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者等に対する支援に要する経費。児童手当・医療費助成、生活保護費、介護保険給付費等。
- 人件費  
議員報酬、職員給与、その他報酬の額。
- 普通建設事業費等  
普通建設事業費（公共施設等の整備を行う際の経費）や、災害復旧事業費、失業対策事業費。

### 2-3-3 公共施設に係る経費の推移（普通会計）

- ・普通会計施設の維持や整備に係る経費（整備や改修のための工事費や修繕費、工事のための設計業務委託料等）を、支出データから拾い上げ、下の表のとおり公共施設に係る経費をまとめました。
- ・経費の推移をみると、令和2（2020）年度から6（2024）年度にかけての5カ年度平均では、約20.0億円となっています。なお、平成26（2014）年度から令和元（2019）年度までの6カ年度平均は約11.7億円で、大幅に増加しています。
- ・この期間における大規模な事業としては、学校施設のトイレ・空調設備・照明設備等の改修、市民体育センターの改修、消防署西部出張所の移転改築、塩津地区・西浦地区の学校複合施設の整備等が挙げられます。今後も学校施設の更新や既存施設の老朽化対策など、大規模な事業が続くものと想定されます。
- ・公共施設に係る経費については、基金（貯金）や補助金・交付金の活用により必要な財源を確保しているところですが、今後想定される高齢化や生産年齢人口の減少、物価上昇を考慮すると、歳出の推移でみたように、扶助費や人件費の増加は続いていくと考えられる一方、歳入については同じような増加が見込めません。今後も安定した行財政運営を行うためには、財源の確保と並行して、公共施設に係る経費の縮減にも取り組んでいく必要があります。

図 2-5 公共施設に係る経費の推移

年度	公共施設に係る経費（千円） ※カッコ内は歳出総額に占める割合
令和2（2020）年	1,991,964（4.7%）
令和3（2021）年	2,362,566（6.2%）
令和4（2022）年	2,209,000（5.7%）
令和5（2023）年	1,545,806（3.4%）
令和6（2024）年	1,908,584（4.1%）
平均	2,003,584（4.7%）
（参考）H26～R1 平均	1,173,983（4.2%）

出所：本市支出データ

## 2-4 公共施設の保有状況

- ・令和6(2024)年度末現在、本市では、会計が独立している公営事業会計施設を含め、総施設数268、延床面積381,352㎡の公共施設を保有しています。普通会計施設では、総施設数247、延床面積291,867㎡となっています。
- ・施設数としては運動・公園施設や消防・防災施設が多くなっていますが、これらの施設の建築物は規模の小さいものが多く、延床面積では学校教育施設が最も多くなっています。

図 2-6 公共施設保有状況

大分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)	延床面積合計 (㎡)	
普通会計施設	庁舎等施設	庁舎・車庫	1	19,817	19,817
	公民館等施設	市民会館	1	13,233	22,146
		公民館	11	8,913	
	生涯学習施設	博物館等	2	5,661	7,667
		図書館	1	2,006	
	運動・公園施設	スポーツ施設等	21	15,261	16,578
		公園	36	1,131	
		児童遊園地等	25	186	
	学校教育施設	小学校	13	77,627	140,973
		中学校	7	55,237	
		専門学校	1	4,418	
		その他(学校教育)	1	3,692	
	児童福祉施設	保育園	15	14,868	18,354
		児童館	7	3,486	
	保健・福祉施設	福祉センター等	8	16,671	16,671
	衛生施設	ごみ処理施設等	4	11,587	11,587
	公営住宅施設	公営住宅	5	21,305	21,305
	観光施設	観光施設	17	4,330	4,330
	消防・防災施設	消防署	3	6,425	8,388
		消防団器具庫等	24	1,428	
防災資機材庫等		31	535		
その他施設	駅周辺施設	7	830	4,051	
	その他	4	2,193		
	臨時・不使用施設	2	1,028		
普通会計施設合計		247	291,867		
公営事業会計施設	病院施設	1	29,199	29,199	
	ボートレース施設	1	47,355	47,355	
	水道施設	15	2,219	2,219	
	下水道施設	4	10,712	10,712	
	公営事業会計施設合計		21	89,486	
全施設合計		268	381,352		

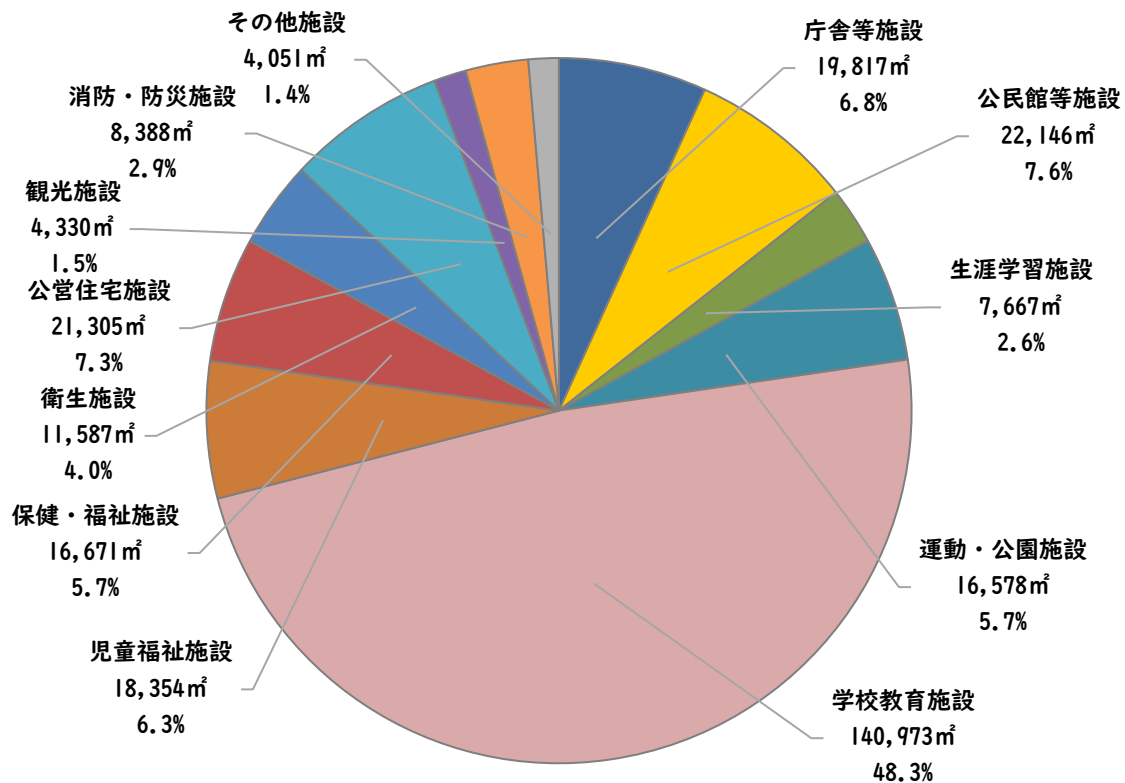
※面積については、小数点以下を四捨五入しています。

※公園や児童遊園地等については、公衆便所や倉庫などの建築物が対象で、建築物がない施設については、施設数として計上していません。

## 2-4-1 用途別保有状況

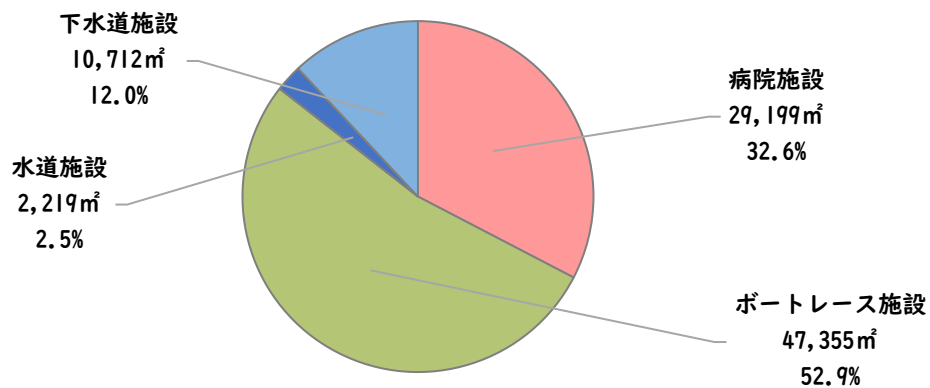
- ・普通会計施設における用途別延床面積の内訳を見ると、学校教育施設が 140,973m<sup>2</sup> で全体の 48.3% を占めており、学校教育施設だけで普通会計施設全体の半数近くの床面積を占めています。
- ・学校教育施設に次いで多いのは、公民館等施設が 22,146 m<sup>2</sup> で全体の 7.6%、公営住宅施設が 21,305 m<sup>2</sup> で全体の 7.3% となっています。

図 2-7 施設用途別の建物延床面積の内訳（普通会計施設）



出所：蒲郡市公共施設一覧

図 2-8 （参考）施設用途別の建物延床面積の内訳（公営事業会計施設）



出所：蒲郡市公共施設一覧

## 2-4-2 築年別整備状況

- 普通会計施設の築年別整備状況を見ると、昭和49(1974)年度までに建設された建物が42.5%、昭和50(1975)年度から昭和59(1984)年度までに建設された建物が26.6%を占め、築40年以上の建物が全体の69.1%を占めています。
- 築40年以上の建物が高い割合を占める背景には、この時期に学校教育施設(小・中学校)の建物が多く建設されてきたこと、昭和48(1973)年度に市民会館、昭和54(1979)年度に市役所本庁舎(新館等)が建設されたことが挙げられます。学校教育施設については82.9%が築40年を超えています。
- 築30年以上の建物は全体の81.3%を占めており、これらの建物は今後、老朽化による大規模修繕や建替えにより多くのコストがかかることが想定されます。

図 2-9 築年別整備状況(延床面積)(普通会計施設)

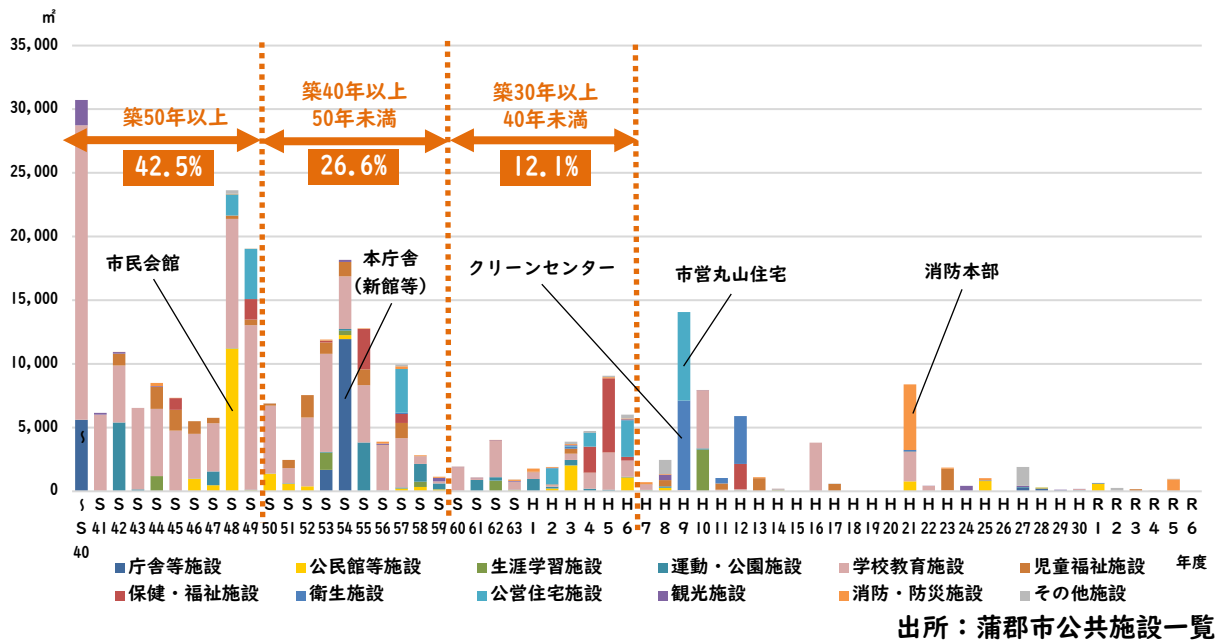
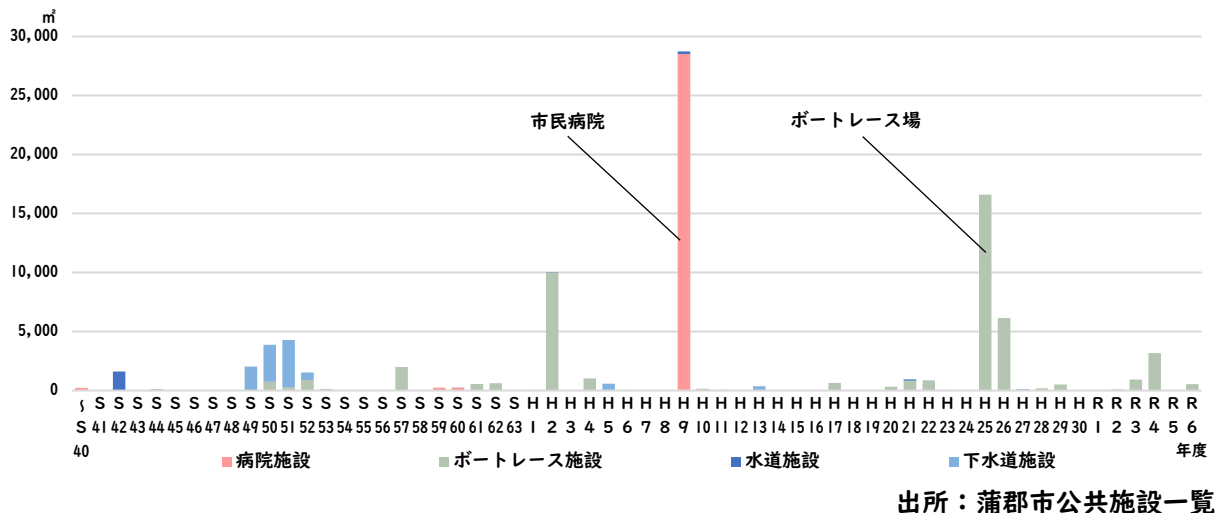


図 2-10 (参考) 築年別整備状況(延床面積)(公営事業会計施設)

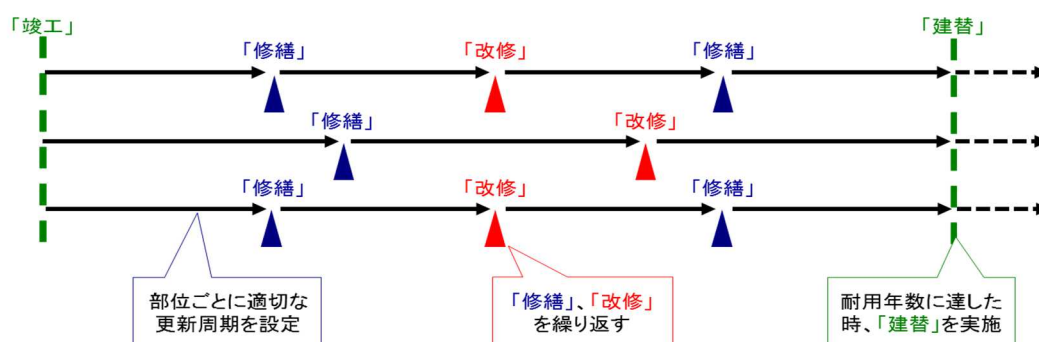


## 2-5 将来の維持更新費用

本市の公共建築物を、既存のまま維持する場合に必要な将来の修繕・改修・建替費用を試算します。推計にあたり、修繕、改修、建替の定義は以下のとおりとします。将来の維持更新費用シミュレーションでは、修繕・改修・建替を設定した周期ごとに実施すると仮定して、費用を算出します。

図 2-11 修繕・改修・建替の定義

	定義
修繕	比較的軽微な工事。屋根や壁の塗り替え、設備のオーバーホールなど、部材・部品の交換を必要としないものを指す。
改修	部材・部品の交換を必要とするものを指し、大規模改修などが該当する。
建替	新たな施設に建替える。



### ① 対象施設

本推計の対象施設は普通会計施設のうち、臨時・不使用施設を除く施設としますが、参考までに公営事業会計施設についても同様に算出した費用を掲載しています。

### ② 耐用年数・設定単価

標準的な改修周期、建替周期は、それぞれ30年、60年と設定しました。あわせて、標準的なシナリオと比較するため、建物を長持ちさせる「長寿命化」を図るシナリオも設定しました。長寿命化を図るシナリオでは、(一社)日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」において、鉄筋コンクリート造の主要な建物の目標耐用年数は50～80年とされていることから、建替周期を80年と設定しました。

建替単価は、建物用途ごとに設定しました。また修繕・改修単価は、部位ごとに個別に設定し、各部位・設備の数量は、施設用途、延床面積、階数から推計し算出しました。

図 2-12 長寿命化のイメージ

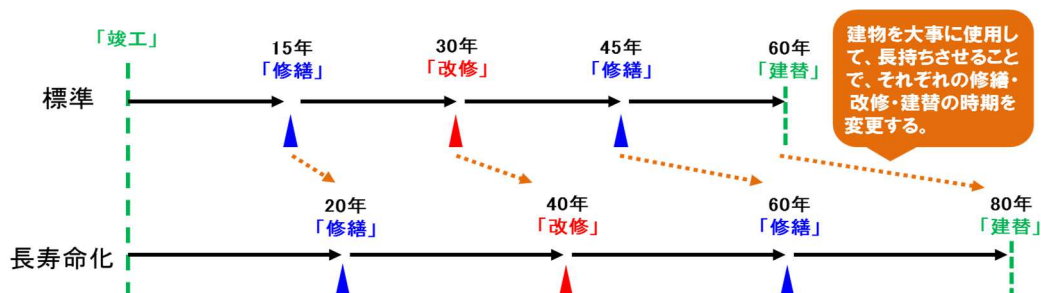


図 2-13 建物用途ごとの建替単価

建物用途	建替単価	出所
小規模事務庁舎（公民館、児童館等）	482,100 円	※1
中規模事務庁舎（生きがいセンター、竹島水族館等）	476,200 円	※1
大規模事務庁舎（本庁舎、保健医療センター等）	456,900 円	※1
学校校舎（小中学校・専門学校の校舎）	359,700 円	※1
学校体育館（小中学校・看護専門学校の体育館）	387,300 円	※1
中層住宅（8階未満の市営住宅等）	334,000 円	※1
高層住宅（8階以上の市営住宅）	340,300 円	※1
文化ホール（市民会館のホール棟・東ホール棟）	639,400 円	※2
室内競技場（市民体育センターの競技場）	606,500 円	※2
公衆トイレ（公衆トイレ）	907,800 円	※2
倉庫（倉庫、車庫等）	234,800 円	※2

※「出所※1」の建替単価は「建築物のライフサイクルコスト」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）に掲載された単価、「出所※2」の建替単価は前回の白書で設定した単価（本市及び近隣自治体の類似施設の新築工事における工事単価の平均値）をもとに、それぞれ昨今の建築物価の上昇率を加味して算出しています。

### ③ 将来の維持更新費用シミュレーション（シナリオの設定）

各シナリオの概要は、以下のとおりです。

シナリオ1は、建物の標準的な耐用年数を踏まえ、修繕周期 15 年、改修周期 30 年、建替周期 60 年と周期を設定する標準的なシナリオです。

シナリオ2は、標準的なシナリオと比較するために、長寿命化を前提とし、修繕周期 20 年、改修周期 40 年、建替周期 80 年と周期を設定するシナリオです。

なお、シナリオ1において、既に築 60 年を超えている建物については、シミュレーションの初年度に建替するものと仮定してシナリオを設定しました。また、両シナリオとも、造成にかかる費用や、省エネルギーなどの環境対策に関する費用はシミュレーションに含まれていません。

図 2-14 標準的なシナリオ1における周期設定

メニュー	周期	考え方
修繕	15 年	メーカーが推奨する各部位・設備の推奨する周期を参考とし、設定。ただし、メーカーが推奨する年数は 10 年程度となっているものも多いものの、10 年ごとに修繕を行うことは費用面から現実的でない判断し、ここでは 15 年と設定。
改修	30 年	建物の耐用年数に到達する 60 年間の間に一度、大規模改修を行うものと設定。
建替	60 年	建物の標準的な耐用年数として、60 年と設定。

図 2-15 長寿命化を前提としたシナリオ2における周期設定

メニュー	周期	考え方
修繕	20 年	推奨される周期より間隔を長く設定したもの。既存の部位・設備をなるべく大事に活用することで間隔を延ばすことを想定したシナリオ。
改修	40 年	建物の耐用年数に到達する 80 年間の間に一度、大規模改修を行うものと設定。
建替	80 年	長寿命化を図り、80 年間供用すると設定。

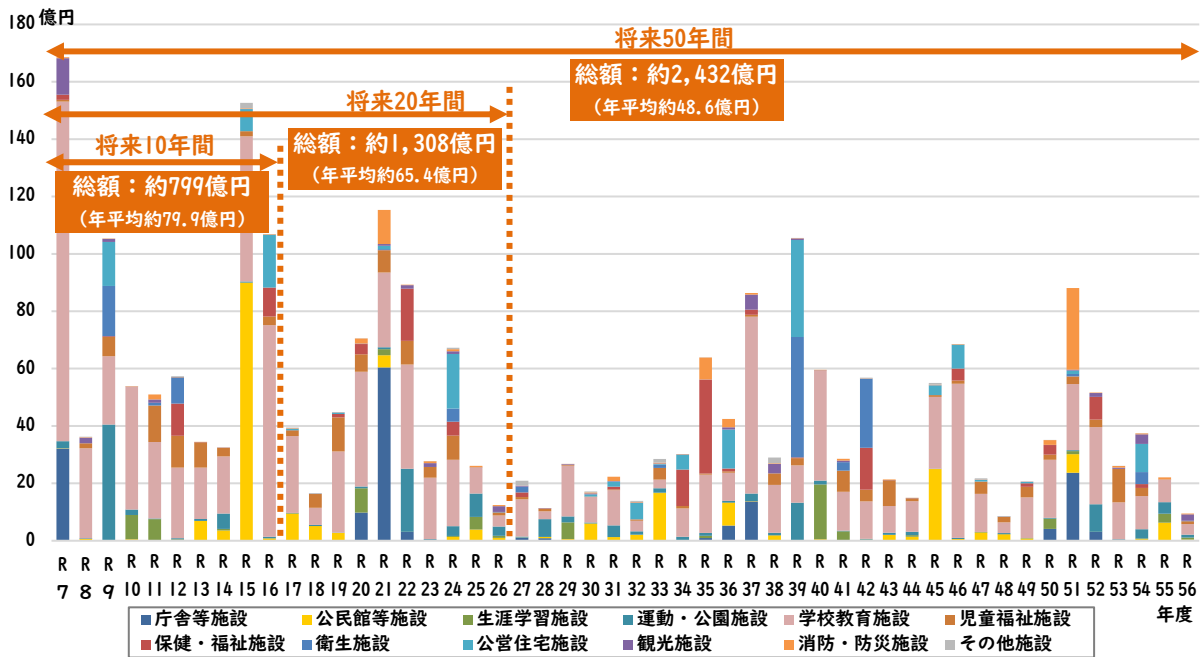
#### ④ シミュレーション結果

##### 【標準的なシナリオ1におけるライフサイクルコスト算出結果】

11、12 ページの設定に基づいた、建替周期 60 年における普通会計施設（臨時・不使用施設を除く）のライフサイクルコストは、将来 50 年間では 1 年あたり平均約 48.6 億円、将来 10 年間では約 79.9 億円、将来 20 年間では約 65.4 億円と推計されています。1 年で 100 億円を超える年も散見される状況です。

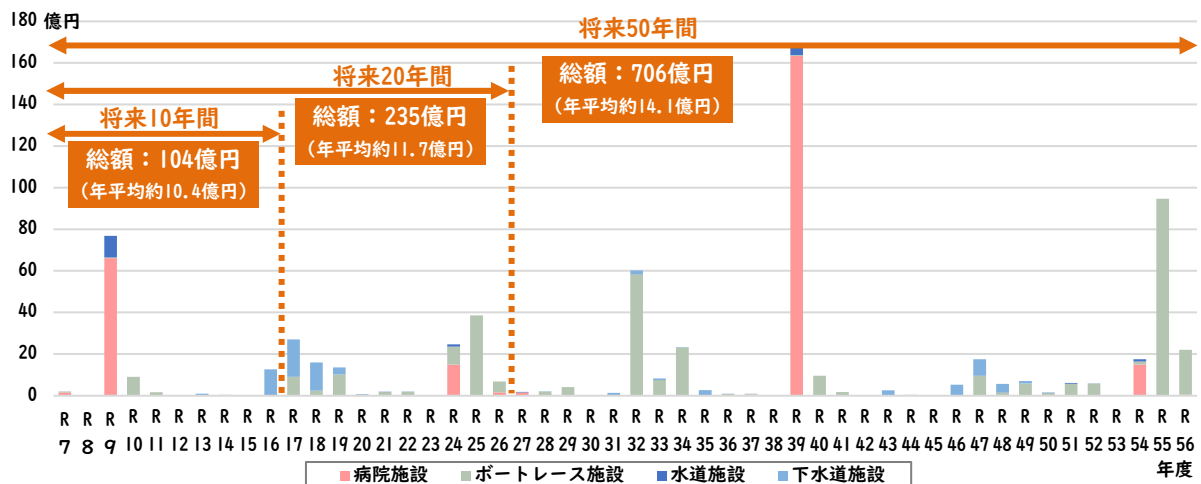
将来 50 年間における 1 年あたり平均費用は最近 5 カ年度における公共施設に係る経費の年度平均（約 20 億円）を大きく上回る結果となっています。

図 2-16 標準的なシナリオにおける将来費用（普通会計施設）



※上のシミュレーションは、今ある公共建築物を既存のまま維持する場合に必要な費用の試算のため、現在事業を実施又は今後実施を予定している施設再編の効果は、加味していません。なお、現在事業を実施している学校複合施設の整備や、大塚地区の保育園の再編事業、図書館やホールを複合化する「がまごおり『みらいキャンパス』」などでは、更新後の延床面積の減少に伴い、ライフサイクルコストも縮減が見込まれます。

図 2-17 (参考) 標準的なシナリオにおける将来費用（公営事業会計施設）



【長寿命化を前提としたシナリオ2におけるライフサイクルコスト算出結果】

11・12 ページの設定に基づいた、建替周期 80 年における普通会計施設（臨時・不使用施設を除く）のライフサイクルコストは、将来 50 年間では 1 年あたり平均約 34.6 億円、将来 10 年間では平均約 15 億円、将来 20 年間では約 21.1 億円と推計されています。仮に既存の施設を全て長寿命化すると、標準的なシナリオ1と比較して、将来 50 年間で 1 年あたり約 14 億円の費用削減が可能となる試算です。

ただし、このような長寿命化を図った場合においても、将来 50 年間における 1 年あたり平均費用は最近 5 ヶ年度における公共施設に係る経費の年度平均（約 20 億円）を大きく上回る結果となっています。

図 2-18 長寿命化を前提としたシナリオにおける将来費用（普通会計施設）

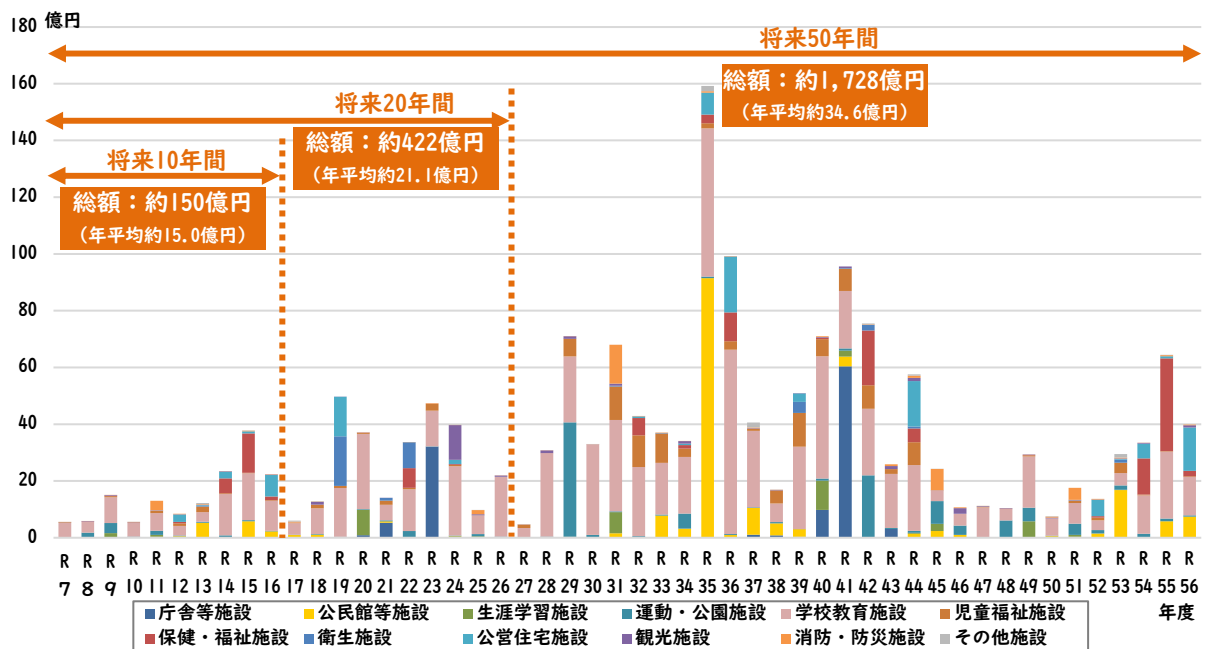
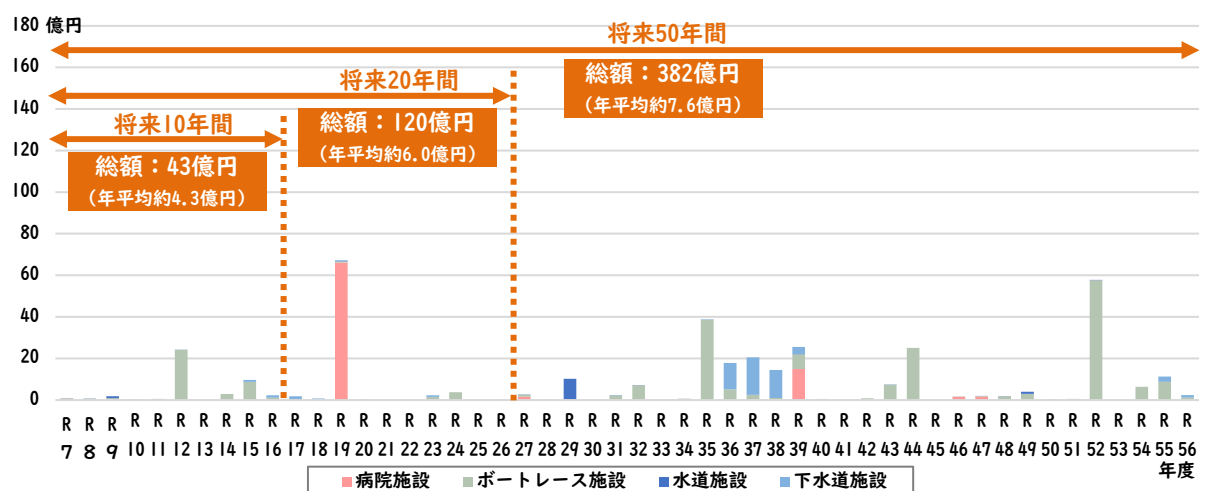


図 2-19 (参考)長寿命化を前提としたシナリオにおける将来費用(公営事業会計施設)



## 2-6 公共施設整備状況比較

全国や他の自治体との比較により、本市の公共施設の整備状況を把握します。なお、病院施設やボートレース施設等の公営事業会計施設については、自治体によって施設の有無など状況が大きく異なり、人口規模等を踏まえた整備状況の比較には適さないため、本節では、統計上の比較が可能な普通会計施設を対象に整備状況の比較を行います。

### 2-6-1 全国における整備状況の比較

- ・本市の人口1人あたりの公共施設面積（3.66 m<sup>2</sup>/人）は、全国平均（3.86 m<sup>2</sup>/人）をやや下回っています。
- ・本市の可住地面積あたりの公共施設面積（73.4 m<sup>2</sup>/ha）は、全国平均（39.6 m<sup>2</sup>/ha）の約2倍の大きさとなっています。

図 2-20 全国の公有財産整備状況との比較

	蒲郡市	全国
人口（人）	79,538	126,146,099
総面積（ha）	5,696	37,297,150
可住地面積（ha）	3,971	12,294,898
公共施設面積（m <sup>2</sup> ）	291,389	486,832,705
人口1人あたり公共施設面積（m <sup>2</sup> /人）	3.66	3.86
可住地面積あたりの公共施設面積（m <sup>2</sup> /ha）	73.4	39.6
人口1人あたり庁舎面積（m <sup>2</sup> ）	0.203	0.149
人口1人あたり公営住宅面積（m <sup>2</sup> ）	0.268	0.740
人口1人あたり小中学校等面積（m <sup>2</sup> ）	1.671	1.363

※人口は令和2（2020）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は令和5（2023）年の値を掲載しています。

※公共施設面積、庁舎面積、公営住宅面積、小中学校等面積は、全国との比較が可能な令和5（2023）年度末の値を掲載しています。

※小中学校等面積には、小学校、中学校のほか、義務教育学校の面積を含んでいます。

※本市の庁舎面積は駐車場棟や車庫を除いています。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調

## 2-6-2 愛知県内の市との整備状況の比較

・本市の人口1人あたりの公共施設面積（3.66 m<sup>2</sup>/人）は県内の市でも8番目に大きく、県内の市の平均（3.53 m<sup>2</sup>/人）を上回っています。

図 2-21 県内 38 市（1人あたり公共施設面積順）との比較

順位	市名	公共施設面積 (m <sup>2</sup> )	人口 (人)	1人あたり公共施設 面積 (m <sup>2</sup> /人)
1	田原市	375,341	59,360	6.32
2	新城市	276,537	44,355	6.23
3	名古屋市	10,182,022	2,332,176	4.37
4	豊田市	1,793,827	422,330	4.25
5	常滑市	235,992	58,710	4.02
6	弥富市	162,672	43,025	3.78
7	刈谷市	574,946	153,834	3.74
8	蒲郡市	291,389	79,538	3.66
9	愛西市	221,569	60,829	3.64
10	みよし市	223,509	61,952	3.61
11	豊橋市	1,264,621	371,920	3.40
12	豊川市	627,445	184,661	3.40
13	津島市	202,069	60,942	3.32
14	碧南市	238,948	72,458	3.30
15	半田市	385,265	117,884	3.27
16	知多市	274,043	84,364	3.25
17	西尾市	536,368	169,046	3.17
18	あま市	258,625	86,126	3.00
19	稲沢市	402,177	134,751	2.98
20	岡崎市	1,144,648	384,654	2.98
21	安城市	555,928	187,990	2.96
22	小牧市	434,831	148,831	2.92
23	東海市	326,134	113,787	2.87
24	清須市	191,795	67,352	2.85
25	一宮市	1,068,158	380,073	2.81
26	長久手市	165,867	60,162	2.76
27	大府市	247,134	93,123	2.65
28	犬山市	191,126	73,090	2.61
29	瀬戸市	316,260	127,792	2.47
30	高浜市	110,714	46,106	2.40
31	豊明市	160,407	69,295	2.31
32	春日井市	713,285	308,681	2.31
33	尾張旭市	191,654	83,144	2.31
34	北名古屋市	196,627	86,385	2.28
35	江南市	222,353	98,255	2.26
36	知立市	157,299	72,193	2.18
37	日進市	199,288	91,520	2.18
38	岩倉市	104,315	47,983	2.17

※公共施設面積は、他の自治体との比較が可能な令和5（2023）年度末の値を掲載しています。

※人口は令和2（2020）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

出所：国勢調査、公共施設状況調

### 2-6-3 東三河5市との整備状況の比較

- ・東三河5市で比較すると、本市の人口1人あたりの公共施設面積 (3.66 m<sup>2</sup>/人) は、豊橋市、豊川市よりも高い水準となっています。田原市、新城市は本市よりも高い水準となっていますが、これらの市はいわゆる「平成の大合併」で市町村合併を行っており、旧自治体毎に施設が整備されていたことなどから、公共施設面積が大きくなっています。
- ・可住地面積あたりの公共施設面積を比較すると、本市 (73.4 m<sup>2</sup>/ha) は東三河5市の中で最も多くなっています。本市は可住地面積が最も狭く、コンパクトな可住地の中により多くの公共施設が配置されていることが、可住地面積あたりの保有量が多い理由となっています。

図 2-22 東三河5市の公共施設整備状況

	蒲郡市	豊橋市	豊川市	田原市	新城市
人口 (人)	79,538	371,920	184,661	59,360	44,355
総面積 (ha)	5,696	26,200	16,114	19,111	49,923
可住地面積 (ha)	3,971	21,980	10,328	13,774	8,555
公共施設面積 (m <sup>2</sup> )	291,389	1,264,621	627,445	375,341	276,537
人口1人あたり 公共施設面積 (m <sup>2</sup> /人)	3.66	3.40	3.40	6.32	6.23
可住地面積あたり 公共施設面積 (m <sup>2</sup> /ha)	73.4	57.5	60.8	27.2	32.3
庁舎面積 (m <sup>2</sup> )	16,135	60,221	14,703	25,975	10,045
公営住宅面積 (m <sup>2</sup> )	21,304	269,169	82,421	59,536	20,684
小中学校等面積 (m <sup>2</sup> )	132,940	462,720	246,741	105,240	114,804

※人口は令和2(2020)年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は令和5(2023)年の値を掲載しています。

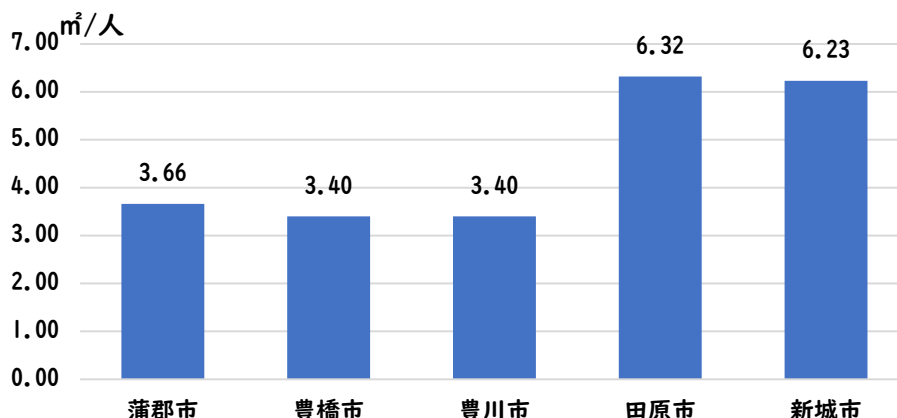
※公共施設面積、庁舎面積、公営住宅面積、小中学校面積は、全国との比較が可能な令和5(2023)年度末の値を掲載しています。

※小中学校等面積には、小学校、中学校のほか、義務教育学校の面積を含んでいます。

※本市の庁舎面積には車庫の面積を含みません。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調

図 2-23 人口1人あたりの公共施設面積の比較



出所：国勢調査、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

## 2-6-4 類似自治体との整備状況の比較

ここでは、類似自治体との比較により、本市の公共施設の整備状況を相対的に把握します。

### (1) 類似自治体の抽出

本市との比較対象として、自治体としての規模が類似する自治体を抽出します。まず、自治体としての規模を、人口・面積・財政力の3軸で評価を行いました。人口については市内に住む総人口を、面積については総面積、可住地面積を、財政力については財政力指数を用いて評価を行い、本市との差異がいずれも25%程度におさまる代表的な4市（滋賀県守山市、茨城県牛久市、愛知県知多市、奈良県大和郡山市。以下「類似4自治体」といいます。）を抽出しました。

図 2-24 蒲郡市と類似4自治体との比較

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
人口（人）	79,538	83,236	84,651	84,364	83,285
総面積（ha）	5,696	5,573	5,892	4,590	4,269
可住地面積（ha）	3,971	4,528	4,706	4,347	3,879
財政力指数	0.79	0.80	0.78	0.91	0.63

※人口は令和2（2020）年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は令和5（2023）年の値を掲載しています。

※財政力指数は令和6（2024）年度の値を掲載しています。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、地方公共団体の主要財政指標一覧

これら類似4自治体は、人口・面積・財政力の面で本市と似ているだけでなく、近隣都市へのアクセスが良いことからベッドタウンとして発展してきた一方で、湖沼・海・河川・丘陵など自然に恵まれた側面も兼ね備えていることが共通しています。加えて、いずれの自治体も平成の大合併を経ておらず、これまでに急激な規模の変化がない点も考慮して抽出しています。

図 2-25 類似4自治体の概要

滋賀県 守山市	琵琶湖や野洲川の豊かな自然に恵まれ、田園風景も残る、水や緑の自然が豊かなまちである。国道や鉄道を通じて京都・大阪方面への利便性に恵まれ、京都や大阪のベッドタウンとしての性格も有している。
茨城県 牛久市	小野川や稲荷川、牛久沼などの水辺空間や雑木林などの里山景観にも恵まれた、水と緑に囲まれたまちである。東京圏や隣接県とは鉄道や高速道路で結ばれ、東京都心へのアクセスにも恵まれており、東京圏や近隣市町村のベッドタウンとして人口が増加してきた。
愛知県 知多市	臨海部には発電所や製油所などのエネルギー産業が立地している一方、内陸部には田や畑、森林などの緑が広がっており、市民の憩いの場ともなっている。名古屋駅まで鉄道で20分圏内であり、名古屋のベッドタウンとしても発展してきた。
奈良県 大和郡山市	奈良県北部の大和平野に位置しており、大和川流域に広がる田園地帯と西部の矢田丘陵からなる自然豊かなまちである。鉄道が南北に縦断し、高速道路の整備も進んでおり、京阪神のベッドタウンとして人口が増加してきた。

出所：各自治体総合計画及びホームページ

## (2) 類似 4 自治体との公共施設整備状況比較

- ・ 本市は、類似 4 自治体と比較すると、大和郡山市に次いで 2 番目に公共施設面積が大きくなっています。人口 1 人あたりの公共施設面積や可住地面積あたりの公共施設面積を比較しても、同様の傾向にあります。
- ・ 代表的な施設用途別に見ると、庁舎、小中学校において、本市は類似 4 自治体のなかで最も延床面積が大きくなっています。公営住宅においても、大和郡山市に次いで 2 番目の大きさとなっています。

図 2-26 類似 4 自治体と蒲郡市の公共施設整備状況

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
人口 (人)	79,538	83,236	84,651	84,364	83,285
総面積 (ha)	5,696	5,573	5,892	4,590	4,269
可住地面積 (ha)	3,971	4,528	4,706	4,347	3,879
公共施設面積 (㎡)	291,389	236,990	215,375	274,043	317,189
人口 1 人あたり 公共施設面積 (㎡/人)	3.66	2.85	2.54	3.25	3.81
可住地面積あたり 公共施設面積 (㎡/ha)	73.4	52.3	45.8	63.0	81.8
庁舎面積 (㎡)	16,135	15,473	6,750	10,789	12,688
公営住宅面積 (㎡)	21,304	19,128	15,266	7,109	44,009
小中学校等面積 (㎡)	132,940	106,476	109,252	126,654	125,552

※人口は令和 2 (2020) 年国勢調査の結果をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は令和 5 (2023) 年の値を掲載しています。

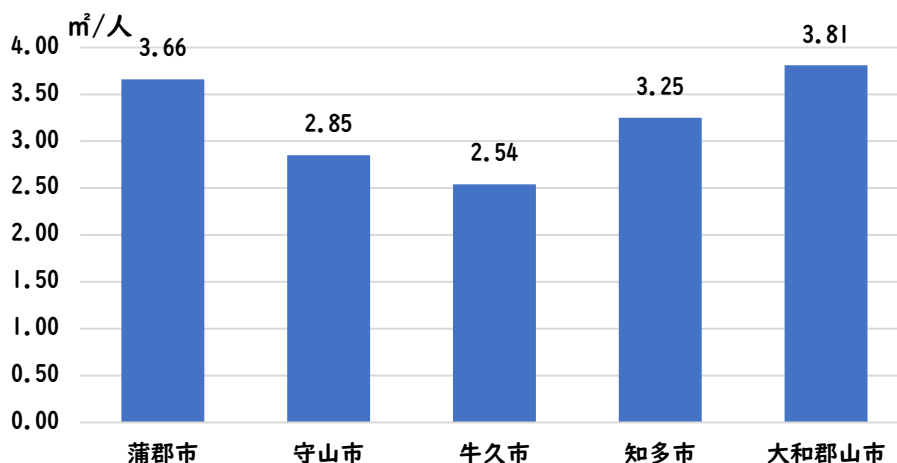
※公共施設面積、庁舎面積、公営住宅面積、小中学校面積は、全国との比較が可能な令和 5 (2023) 年度末の値を掲載しています。

※小中学校等面積には、小学校、中学校のほか、義務教育学校の面積を含んでいます。

※本市の庁舎面積には車庫の面積を含みません。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調

図 2-27 人口 1 人あたりの公共施設面積の比較



出所：国勢調査、公共施設状況調

## 第3章 施設用途ごとにみた現状と課題

本章では、本市が保有する公共施設の現況と課題を整理し、今後の整備方針を検討するための基礎資料とします。基本構成は下記のとおりとします。

本章で対象とする施設は、普通会計施設の主に延床面積100㎡以上の施設としますが、倉庫や公衆便所などの簡易な建物で構成される施設は対象から除外しています。

### (1) 配置状況

施設用途別の公共施設の配置状況を整理し、配置図で示します。

### (2) 品質・利用・管理運営経費の状況

各施設の設置目的や施設機能等に応じ、品質状況、利用状況、管理運営経費の3つの観点を基本に現状を整理します。

#### ① 品質状況

施設用途ごとに、各施設の老朽化状況を整理します。老朽化状況については、一定の基準に基づき実施した職員による調査の結果を示します。

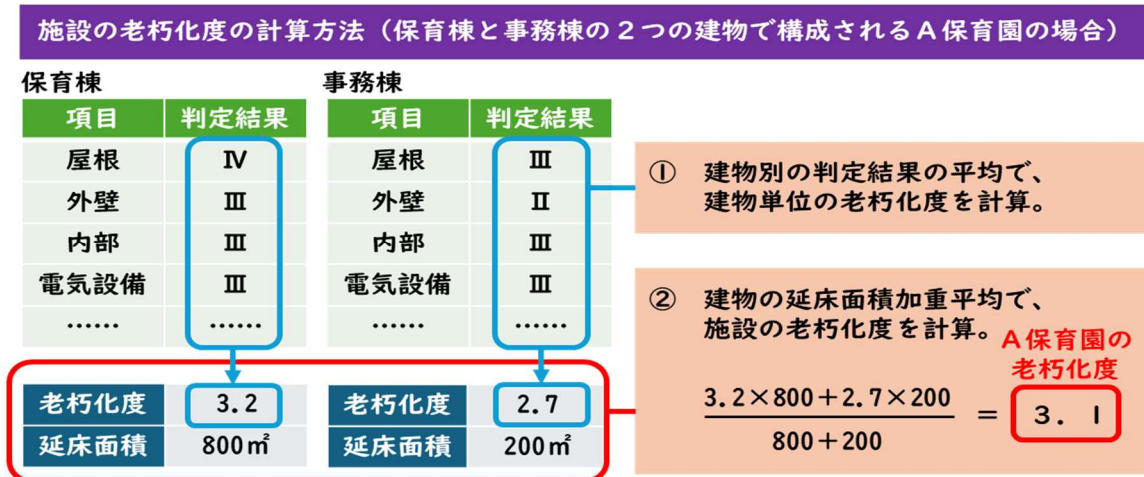
老朽化診断は、各施設の建物ごとに調査を行い、屋根、外壁、外部建具、外部雑、内部、電気設備、空調設備、衛生設備、搬送設備、その他の10項目を設定し、部位ごとに5段階での判定を実施しました。判定に当たっての考え方は、下表のとおりとしました。

図 3-1 老朽化判定の基本的考え方

判定結果	老朽化診断	対応
I	老朽化が見られない健全な状態。	特に対応の必要性はない。
II	ほぼ健全な状態。	計画的な保全を継続。状態は常時監視。
III	老朽化が進んでおり、放置すると機能低下又は寿命が早まる。	今後4～6年程度に改修が必要。
IV	老朽化が進んでおり、大きな機能低下が発生している。	今後3年以内に改修・更新が必要。
V	老朽化がかなり進んでおり、安全性を損なう可能性がある。	安全性や機能面から重大な影響を与えるおそれがあり、直ちに改修・更新が必要。

老朽化診断により判定した部位ごとの判定結果の平均値を、各建物における老朽化度としました。本白書では、施設単位で分析を行うため、複数の建物で構成される施設の老朽化度は、各建物の部位ごとの老朽化判定結果の平均値を、建物の延床面積で加重平均した値としました（図3-2参照）。

図 3-2 施設の老朽化度の計算方法



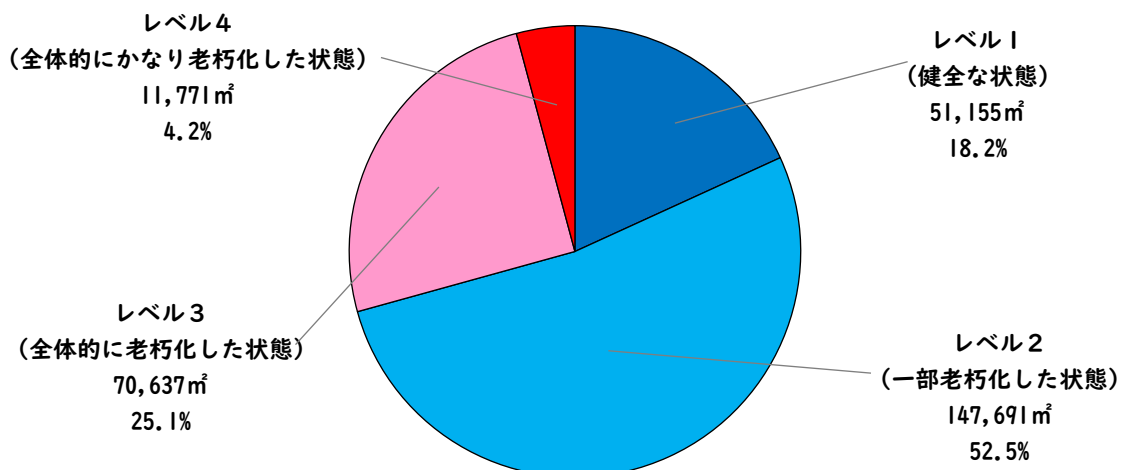
本白書に掲載される老朽化度は、一般的に次のとおり解釈できます。

図 3-3 本白書における老朽化度の解釈

老朽化度	解 釈	対 応
2 未満 (レベル1)	ほぼ健全な状態。	計画的な保全を継続。状態は常時監視。
2 以上 3 未満 (レベル2)	一部の部位・建物に老朽化が進行している箇所が存在。	老朽化箇所に対し、早急に修繕・改修を実施することが望ましい。
3 以上 4 未満 (レベル3)	施設全体において老朽化が進行している。	施設全体を改修することが望ましい。
4 以上 (レベル4)	施設全体において老朽化がかなり進行しており、老朽化箇所によっては、安全性を損なう可能性がある。	早急な改修が必要。安全性を損なう可能性がある箇所については、直ちに改修が必要。

なお、老朽化診断を行った施設（主に延床面積 50 ㎡以上の建物。全 95 施設、延床面積合計 281,254 ㎡）の老朽化状況を見ると、面積にしておよそ 3 割の施設がレベル 3 以上（施設全体において老朽化が進行している状態）となっています。

図 3-4 老朽化状況別延床面積・割合



※老朽化診断を行った建物のみを対象としているため、面積合計は施設保有面積と合致しません。

## ② 利用状況

各施設の利用状況を施設用途別に整理します。

図 3-5 利用状況を確認するための指標

施設種別 (大分類)	施設種別 (小分類)	利用状況を確認するための指標
庁舎等施設	庁舎・車庫	・1日平均利用者数/延床面積
公民館等施設	市民会館	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率(年間利用コマ数/年間利用可能コマ数)
	公民館	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率(年間利用コマ数/年間利用可能コマ数)
生涯学習施設	博物館等	・1日平均利用者数/延床面積
	図書館	・1日平均利用者数/延床面積
運動・公園施設	スポーツ施設等	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率(年間利用コマ数/年間利用可能コマ数)
	公園	—
	児童遊園地等	—
学校教育施設	小学校	・延床面積/児童数
	中学校	・延床面積/生徒数
	専門学校	・延床面積/学生数
	その他(学校教育)	・1日平均配食数
児童福祉施設	保育園	・延床面積/園児数
	児童館	・1日平均利用者数/延床面積
保健・福祉施設	福祉センター等	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率(年間利用コマ数/年間利用可能コマ数)
衛生施設	ごみ処理施設等	—
公営住宅施設	公営住宅	・入居率(入居戸数/入居可能戸数)
観光施設	観光施設	・1日平均利用者数/延床面積
消防・防災施設	消防署	—
	消防団器具庫等	—
	防災資機材庫等	—
その他施設	駅周辺施設	—
	その他	—

※利用コマ数とは、部屋・貸出箇所ごとの貸出単位です。例えば、午前・午後・夜間の3区間で貸出可能な場合は1部屋あたり1日3コマと数えます。1時間単位での貸出の場合は、9:00～17:00まで貸出可能であれば、1部屋あたり1日8コマと数えます。

利用状況を確認する施設用途については、面積あたり1日平均利用者数、貸部屋等利用率、入居率(公営住宅)、園児・児童・生徒数あたり延床面積(保育園、小学校、中学校)をグラフ化して相对比较を行います。

なお、今回利用状況を整理した期間には、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた期間が含まれているため、それ以前との利用状況を比較するため、前白書において整理した数値(平成26(2014)年度～令和元(2019)年度の平均値)も併記しています。

## ③ 管理運営経費の状況

各施設が年間にどの程度の支出があり、施設の管理運営等に要する経費が発生しているかについて整理します。

図 3-6 管理運営経費の状況を確認するための指標

費 目	内容（表の合計金額は単位未満四捨五入のため合わない場合があります）
施設に係るコスト	光熱水費、工事請負費・修繕費、土地・建物の賃借料、土地・建物以外のリース料、施設・設備管理委託料等
事業運営に係るコスト	事業委託費、事業物件費（需用費・役務費等）等
人に係るコスト	人件費（概算）

(3) ポートフォリオ分析

公共施設の状況を、①品質（老朽化状況）、②供給（利用状況）、③財務（コスト状況）の観点から分析します。この3点に着目する理由を下表のとおり整理しました。

この三つの視点は、いずれも公共施設を運営していく中で満たすべき条件です。他の施設と比較して相対的に悪い状況にある施設は、状況を改善するための方策が必要です。

図 3-7 ポートフォリオ分析の視点

視 点		分析の視点
ハード	品質（老朽化状況）	市民にとって使用しやすい機能を維持しているか
ソフト	供給（利用状況）	行政サービスを効率的に提供しているか
	財務（コスト状況）	適切な経費で施設が運営されているか

品質状況は、平均築年数・老朽化度（各建物の面積加重平均値）の観点から、供給状況は各施設の利用度の観点から、財務状況は各施設の収支の観点（市の正味の収支）から、それぞれの指標の偏差値を算出します。偏差値が低い場合は、他の施設に比べて、その施設の状況がよくないということとなります。下表に、本分析で用いる指標を整理します。

図 3-8 品質、供給、財務の視点からそれぞれの指標

指 標		指標の概要	
ハード	品質	建物の新しさを表現するための指標 ※平均築年数は、施設を構成する各建物の令和7（2025）年4月1日を基準とした経過年数（年未満切り上げ）を、施設を構成する全建物の延床面積で加重平均して計算。	
	平均築年数		
ソフト	供給	面積あたり1日あたり平均利用者数	当該施設の稼働状況を把握するための指標
		平均園児数・児童数・生徒数あたり面積	
		平均入居率	
		貸部屋等利用率	
	財務	面積あたり市負担額	当該施設の費用面からの運営状況を把握するための指標
		利用者1人あたり1日あたり市負担額	当該施設がどの程度費用面で効率的に使用されているか確認するための指標
		平均園児数・児童数・生徒数あたり市負担額	
		平均入居戸数あたり市負担額	

これらの指標から施設の特性に応じて適切なものを選択します。また、本分析に馴染まない施設用途や、対象施設数が少なく相対比較が困難な施設用途は本分析の対象外とします。

図 3-9 用途ごとの分析指標

施設種別		品質の視点		供給の視点				財務の視点			
大分類	小分類	平均 築年数	老朽化 度	面積あたり 1日あたり 平均 利用者数	平均園児 数・児童数・ 生徒数 あたり面積	平均 入居率	貸部屋等 利用率	面積あたり 市負担額	利用者 1人あたり 1日あたり 市負担額	平均園児 数・児童 数・生徒数 あたり 市負担額	平均 入居戸数 あたり 市負担額
庁舎等施設	庁舎・車庫	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）									
公民館等施設	市民会館	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）									
	公民館	○	○	○			○	○	○		
生涯学習施設	博物館等	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）									
	図書館										
運動・公園施設	スポーツ施設等	○	○	○			○	○	○		
	公園	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）									
	児童遊園地等										
学校教育施設	小学校	○	○		○			○		○	
	中学校	○	○		○			○		○	
	専門学校	ポートフォリオ分析の対象外（対象施設が少なく相対比較が困難なため）									
	その他(学校教育)										
児童福祉施設	保育園	○	○		○			○		○	
	児童館	○	○	○				○	○		
保健・福祉施設	福祉センター等	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）									
衛生施設	ごみ処理施設等	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）									
公営住宅施設	公営住宅	○	○			○		○			○
観光施設	観光施設	○	○	○				○	○		
消防・防災施設	消防署	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）									
	消防団器具庫等										
	防災資機材庫等										
その他施設	駅周辺施設	ポートフォリオ分析の対象外（本分析に馴染まない施設用途であるため）									
	その他										

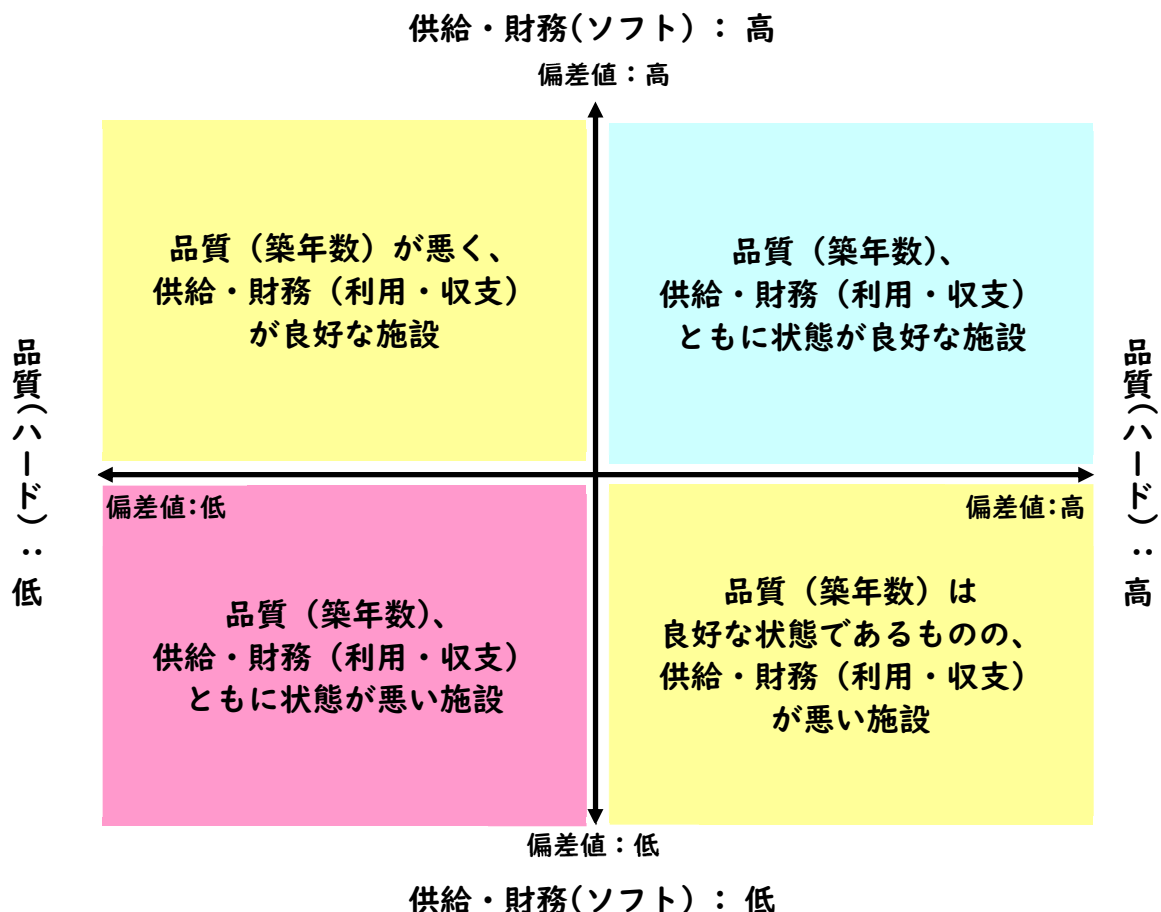
品質に係る指標は施設のハード面での状況を示す指標、供給・財務に係る指標は施設のソフト面での状況を示す指標と捉えることができます。それぞれの指標を品質（ハード）、供給・財務（ソフト）に分類し、それぞれの指標の偏差値の平均を下図のようにプロットすることで、各施設の状況を“可視化”します。

品質状況（ハード）を横軸に、供給・財務状況（ソフト）を縦軸に、偏差値 50 点を中心としたグラフに、各施設の値をプロットすると、そのプロット位置により、各施設の状況を把握することが可能です。

なお、品質状況（ハード）の指標となる偏差値は、全施設を対象として算出します。これにより、当該施設用途が全施設の中でどの程度老朽化した傾向にあるのかを把握できます。供給・財務状況（ソフト）における指標の偏差値は、施設用途ごとに偏差値を算出します。

偏差値を算出し、二軸上のグラフに各施設の値をプロットし、類似施設用途間で相対比較する手法をポートフォリオ分析といいます。

図 3-10 ポートフォリオ分析結果の解釈



### 3-1 庁舎等施設（庁舎・車庫）

- ・庁舎等施設は、市の行政事務を行うとともに、市民に必要な行政サービスを提供することを目的に設置しています。
- ・本庁舎には、行政事務を行う業務スペースのほか、公用車用の車庫などがあります。
- ・本庁舎は、建築基準法の規制に抵触している状態であることが判明したため、令和10（2028）年度までに減築工事を実施する予定です。

図 3-11 配置状況・外観写真（庁舎等施設）



本庁舎

### 3-1-1 庁舎・車庫

#### (1) 老朽化状況の把握

・本庁舎は部分的に老朽化が進んだ状態となっていますが、定期的な改修を実施しているため、築年数の割には比較的良好な状態です。

図 3-12 老朽化状況（庁舎・車庫）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←			→
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
本庁舎	19,817	S36	2.7					

※本庁舎は複数の建物で構成されていますが、建築年度は最も古い建物（本館）のものを掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

・本庁舎は利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

図 3-13 利用状況（庁舎・車庫）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
本庁舎	19,817	—	—	—	—	—	—	—

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)				
			0.0	10.0	20.0	30.0	40.0
本庁舎	—	—					

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

#### (3) コスト状況の把握

・本庁舎は市の行政機能が集中した施設であるため、コストが高くなっています。  
 ・施設に係るコストが大部分を占めています。

図 3-14 コスト状況（庁舎・車庫）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
本庁舎	116,298	19,575	16,260	0	152,134

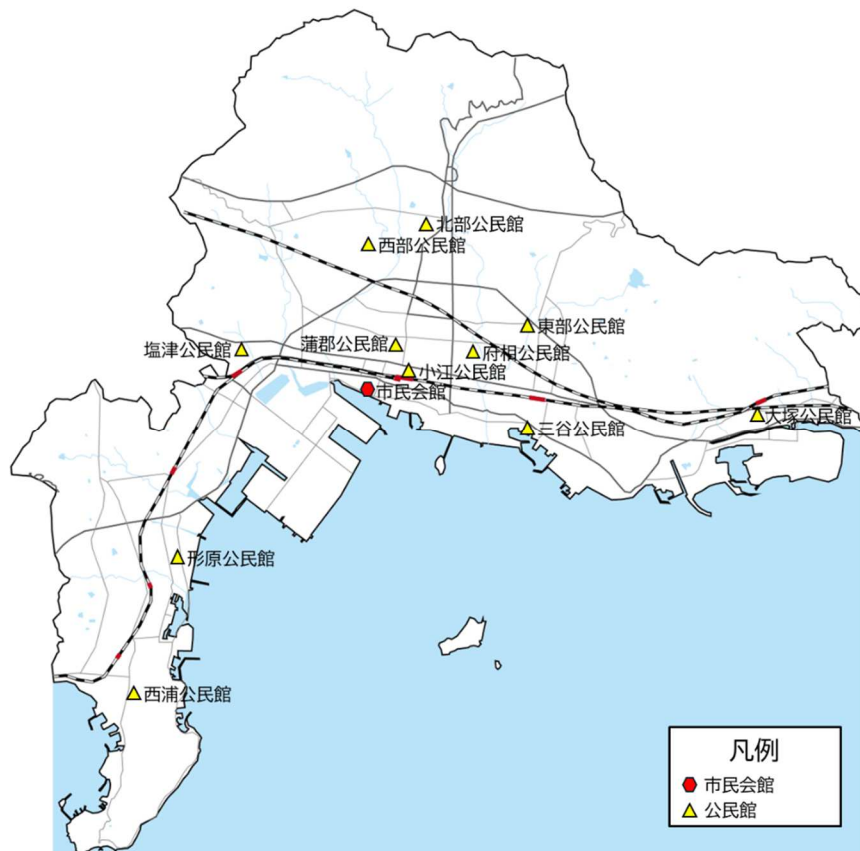
施設名称	市の支出（千円）					
	0	50,000	100,000	150,000	200,000	250,000
本庁舎						

※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### 3-2 公民館等施設（市民会館、公民館）

- ・公民館等施設には、市民会館と各地区の公民館があります。
- ・市民会館は市民の文化の向上及び福祉の増進を図るために設置され、大小様々なホールや会議室、茶室などを備えています。なお、市民会館の機能は、蒲郡駅北側に整備予定の複合施設「がまごおり『みらいキャンパス』」に移転する予定です。
- ・公民館は地域における生涯学習、学術及び文化に関する各種事業を行うほか、住民の教養の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する場として設置しています。このうち塩津公民館、西浦公民館は現在学校との複合化工事を行っており、他にも再編や複合機能化を予定している公民館があります。
- ・東部公民館、三谷公民館、大塚公民館、西浦公民館には図書館の分室が設置されています。また、東部公民館には児童クラブが設置されています。
- ・三谷公民館の建物の一部は三谷交番として県に貸出しています。

図 3-15 配置状況・外観写真（公民館等施設）



市民会館



府相公民館



形原公民館

### 3-2-1 市民会館

#### (1) 老朽化状況の把握

・老朽度が4を超えており、かなり老朽化が進んでいる状況です。

図 3-16 老朽化状況（市民会館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度					
				健全	←	→	老朽化	5.0	
				1.0	2.0	3.0	4.0		
市民会館	13,233	S48	4.1						

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

・令和5（2023）年度以降では、年間15万人前後の方に利用されていますが、令和元（2019）年度以前の水準には届いていません。

図 3-17 利用状況（市民会館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
市民会館	13,233	29,868	63,198	103,055	162,647	155,295	102,813	218,146

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
				0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
市民会館	348.8	0.026	26.1						

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

※令和5（2023）年5月までは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限を行っています。

#### (3) コスト状況の把握

・市民会館は、指定管理者制度を導入しています。  
・指定管理料以外の市の支出としては、主に施設に係るコストがかかっています。

図 3-18 コスト状況（市民会館）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
市民会館	64,369	860	0	96,445	161,675

施設名称	市の支出（千円）					
	0	50,000	100,000	150,000	200,000	250,000
市民会館						

※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### 3-2-2 公民館

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・ 築年数が新しい蒲郡公民館、府相公民館、形原公民館は、ほぼ健全な状況です。
- ・ それ以外の公民館は、築50年前後経過しており、老朽化度も3以上のものが多く、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-19 老朽化状況（公民館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0	老朽化 3.0 4.0 5.0
蒲郡公民館	806	H25	2.0		
小江公民館	677	S50	3.8		
府相公民館	595	R1	1.4		
東部公民館	695	S48	2.4		
北部公民館	551	S52	3.5		
西部公民館	418	S50	4.0		
三谷公民館	1,951	S46	3.3		
塩津公民館	554	S50	3.5		
大塚公民館	742	S47	3.0		
形原公民館	845	H21	1.8		
西浦公民館	1,078	S51	3.6		

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。  
 ※三谷公民館の延床面積には、三谷交番の面積を含んでいます。

## (2) 利用状況の把握

- ・利用者数は館によってばらつきがあり、令和5（2023）年度以降では年間約8千人～2万8千人の方に利用されています。多くの館において、令和元（2019）年度以前の水準には届いていません。
- ・貸部屋等利用率をみると、北部公民館、三谷公民館、塩津公民館、大塚公民館、西浦公民館は15%以下となっており、相対的に利用率が低い状況です。

図 3-20 利用状況（公民館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
蒲郡公民館	806	9,237	8,865	11,832	15,068	13,563	11,713	17,696
小江公民館	677	3,572	6,612	10,404	14,310	15,239	10,027	14,807
府相公民館	595	10,564	10,801	15,919	24,399	24,637	17,264	—
東部公民館	695	12,001	14,645	15,442	16,719	17,331	15,228	31,902
北部公民館	551	10,286	8,789	12,355	15,920	13,363	12,143	30,430
西部公民館	418	2,376	4,368	11,235	9,981	8,539	7,300	9,808
三谷公民館	1,951	4,451	7,358	15,810	17,586	17,482	12,537	33,161
塩津公民館	554	6,382	7,326	11,419	15,588	16,307	11,404	18,257
大塚公民館	742	14,101	13,878	18,441	20,785	18,381	17,117	30,241
形原公民館	845	4,452	7,077	11,390	14,824	18,316	11,212	26,315
西浦公民館	1,078	14,439	17,863	25,925	27,979	25,454	22,332	36,884

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
				0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
蒲郡公民館	44.7	0.055	29.1%						
小江公民館	38.2	0.056	21.8%						
府相公民館	65.9	0.111	17.4%						
東部公民館	56.3	0.081	20.9%						
北部公民館	45.1	0.082	10.4%						
西部公民館	26.9	0.064	28.1%						
三谷公民館	47.2	0.025	11.3%						
塩津公民館	42.9	0.077	13.5%						
大塚公民館	65.3	0.088	14.7%						
形原公民館	42.9	0.051	23.0%						
西浦公民館	85.4	0.079	14.5%						

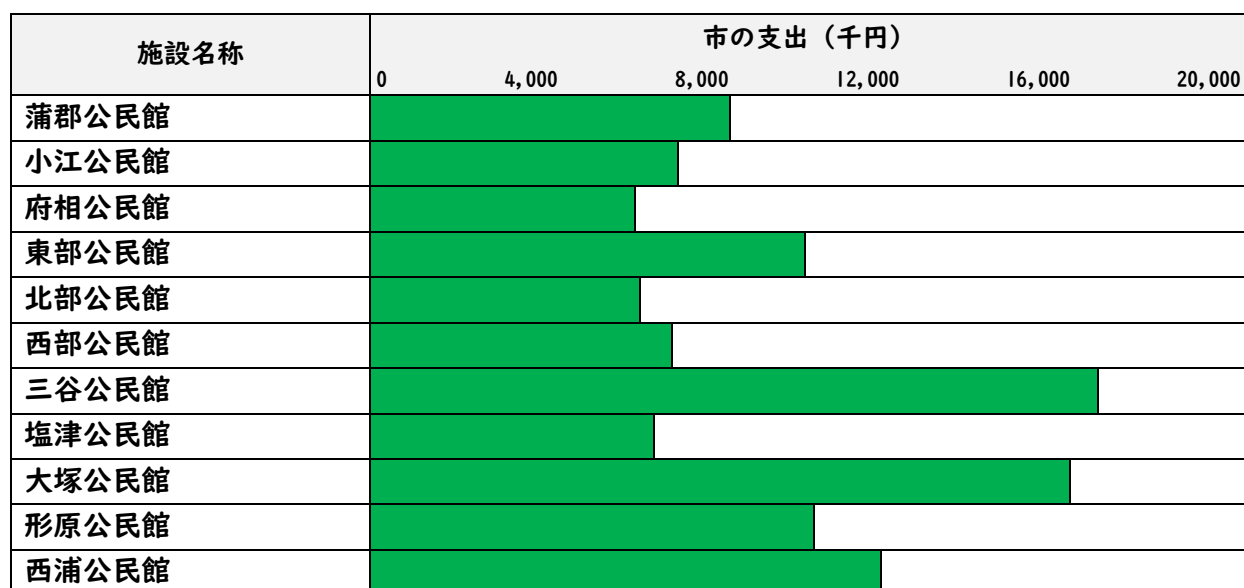
- ※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※令和5（2023）年5月までは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限を行っています。  
 ※府相公民館は一部を隣接する竹島小学校の部屋を共用しており、貸部屋等利用率は竹島小学校の部屋を含め、公民館のみの利用状況をもとに算出しています。  
 ※府相公民館は令和元（2019）年度に移転しているため、過去の利用者数は掲載していません。  
 ※三谷公民館の面積あたり利用者数については、三谷交番の面積を除外して算出しています。

### (3) コスト状況の把握

・支出項目別に見ると、指定管理料のほか、施設に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-21 コスト状況（公民館）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡公民館	563	0	0	7,774	8,338
小江公民館	1,602	0	0	5,949	7,550
府相公民館	294	400	625	4,987	6,306
東部公民館	4,629	0	0	5,725	10,354
北部公民館	722	0	0	5,744	6,466
西部公民館	2,055	0	0	5,420	7,475
三谷公民館	4,593	0	0	12,616	17,209
塩津公民館	890	0	0	6,298	7,188
大塚公民館	9,471	0	0	7,158	16,628
形原公民館	2,509	0	0	8,189	10,698
西浦公民館	4,154	0	0	7,888	12,043



※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

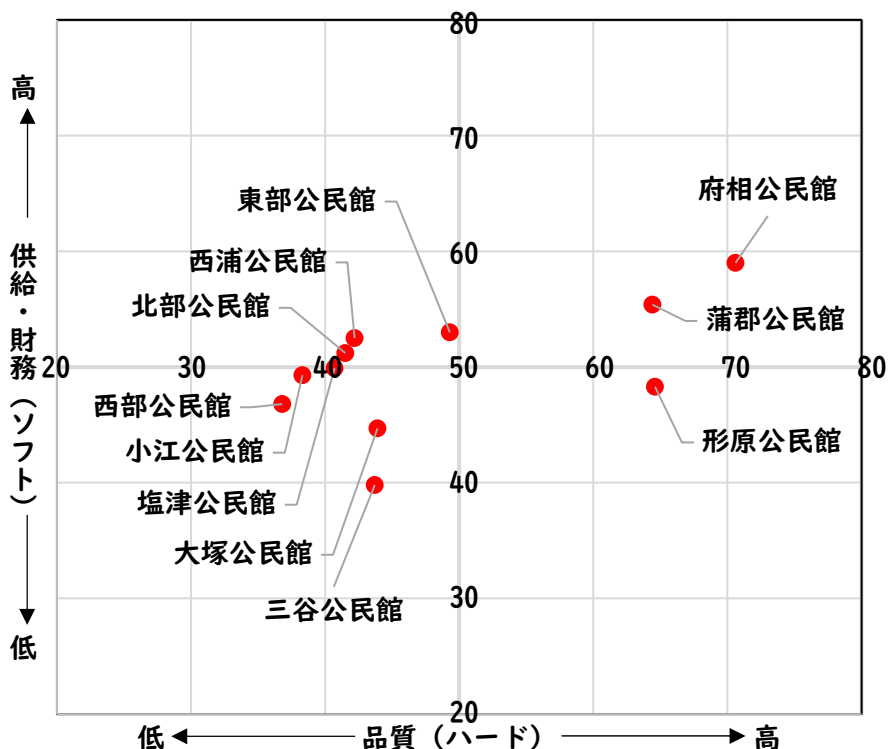
※三谷公民館のコストには、三谷交番に関する市の支出を含んでいます。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、蒲郡公民館、府相公民館、形原公民館を除いて平均偏差値が50以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・小江公民館、西部公民館、三谷公民館、塩津公民館、大塚公民館、形原公民館は、供給・財務の平均偏差値が50以下となっています。

図 3-22 ポートフォリオ分析結果（公民館）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給				財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	貸部屋等 利用率 (%)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
蒲郡公民館	806	12.0	69.7	2.0	59.1	64.4	0.055	43.3	29.1%	67.1	10,342	57.2	2.95	54.2	55.4
小江公民館	677	48.8	43.0	3.8	33.6	38.3	0.056	43.7	21.8%	55.2	11,144	55.1	4.67	43.2	49.3
府相公民館	595	6.0	74.0	1.4	67.2	70.6	0.111	68.8	17.4%	48.0	10,590	56.5	1.62	62.7	59.0
東部公民館	695	45.5	45.4	2.4	53.3	49.3	0.081	55.0	20.9%	53.7	14,886	45.3	2.39	57.8	53.0
北部公民館	551	45.8	45.2	3.5	37.9	41.5	0.082	55.5	10.4%	36.6	11,740	53.5	2.16	59.3	51.2
西部公民館	418	47.5	44.0	4.0	29.6	36.8	0.064	47.4	28.1%	65.4	17,900	37.4	5.61	37.1	46.8
三谷公民館	1,951	42.6	47.5	3.3	40.0	43.7	0.025	29.4	11.3%	38.1	8,217	62.8	6.92	28.8	39.8
塩津公民館	554	48.1	43.5	3.5	37.9	40.7	0.077	53.4	13.5%	41.7	12,953	50.4	2.99	54.0	49.9
大塚公民館	742	47.6	43.9	3.0	43.9	43.9	0.088	58.3	14.7%	43.7	22,400	25.6	3.40	51.3	44.7
形原公民館	845	15.5	67.1	1.8	62.1	64.6	0.051	41.1	23.0%	57.1	12,655	51.1	4.54	44.0	48.3
西浦公民館	1,078	41.1	48.6	3.6	35.7	42.2	0.079	54.2	14.5%	43.3	11,150	55.1	2.45	57.4	52.5



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※府相公民館は一部を隣接する竹島小学校の部屋を共用しており、貸部屋等利用率は竹島小学校の部屋を含め、公民館のみの利用状況をもとに算出しています。

※三谷公民館の面積あたり利用者数については、三谷交番の面積を除外して算出しています。

### 3-3 生涯学習施設（博物館等、図書館）

- ・本市の自然や風土、固有の歴史文化に触れることのできる生命の海科学館や博物館が沿岸部を中心に立地しています。
- ・生命の海科学館では、学習指導要領に沿ったワークショップや出前授業といった「学習プログラム」が積極的に行われています。また、小中学生向けのイベント開催等が活発に行われ、市外の子供たちの来場も多くなっています。
- ・図書館は、図書の閲覧や貸出のほか、学生室を備え中高生等の自習の場としても機能しています。本館のほか、公民館などに分室を6か所設置しています。
- ・図書館の機能は、蒲郡駅北側に整備予定の複合施設「がまごおり『みらいキャンバス』」に移転する予定です。

図 3-23 配置状況・外観写真（生涯学習施設）



生命の海科学館



博物館



図書館

### 3-3-1 博物館等

#### (1) 老朽化状況の把握

・生命の海科学館は老朽化度が3を超えており、老朽化が進んだ状態となっています。

図 3-24 老朽化状況（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
生命の海科学館	3,297	H10	3.3					
博物館	2,364	S53	2.7					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

・生命の海科学館は令和5（2023）年度以降では年間6万人前後の方に利用されており、利用者数、面積あたり1日あたり利用者数のいずれも、博物館を上回っていますが、令和元年度以前の水準には届いていません。

図 3-25 利用状況（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
生命の海科学館	3,297	21,158	35,891	44,546	56,313	60,479	43,677	84,785
博物館	2,364	11,911	21,479	32,758	31,593	34,170	26,382	32,288

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)				
			0.00	0.02	0.04	0.06	0.08
生命の海科学館	149.0	0.045					
博物館	91.2	0.039					

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

※令和5（2023）年5月までは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限を行っています。

#### (3) コスト状況の把握

・コストは生命の海科学館のほうが高く、概ね施設の利用者数に比例しています。

図 3-26 コスト状況（博物館等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
生命の海科学館	39,303	24,941	41,261	0	105,505
博物館	23,663	4,372	27,973	0	56,007

施設名称	市の支出（千円）					
	0	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000
生命の海科学館						
博物館						

※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### 3-3-2 図書館

#### (1) 老朽化状況の把握

・図書館は築 55 年を経過しています。設備の更新により、老朽化度の進行を抑えている状況です。

図 3-27 老朽化状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
図書館	2,006	S44	2.9					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

・令和 5（2023）年度以降では約 22 万人の方に利用されており、市内の公共施設でも利用者の多い施設ですが、令和元（2019）年度以前の水準までは回復していません。

図 3-28 利用状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
図書館	2,006	79,353	158,752	197,323	218,864	221,444	175,147	307,677

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)				
			0.00	0.20	0.40	0.60	0.80
図書館	650.1	0.324					

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

※令和5（2023）年5月までは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限を行っています。

#### (3) コスト状況の把握

・図書館は、指定管理者制度を導入しています。  
・支出項目別に見ると、指定管理料が大きな割合を占めています。

図 3-29 コスト状況（図書館）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
図書館	9,175	5,968	0	130,306	145,449

施設名称	市の支出（千円）					
	0	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000
図書館						

※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### 3-4 運動・公園施設（スポーツ施設等、公園、児童遊園地等）

- ・運動・公園施設は、スポーツの振興やレクリエーションを通じ、住民福祉の向上に寄与することを目的として設置しています。グラウンド、体育館、テニスコート、運動広場、公園、児童遊園地等の各種施設が整備されています。
- ・市民体育センターは、武道館や相撲場だけでなく会議室も備えたスポーツ施設となっています。
- ・文化広場には、図書館の分室が設置されています。
- ・公園、児童遊園地等や、スポーツ施設等のうち運動広場などの屋外運動施設は、配置状況のみ示します。

図 3-30 配置状況・外観写真（体育施設）



公園グラウンド



市民体育センター



文化広場

### 3-4-1 スポーツ施設等

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・公園グラウンド、市民体育センター、文化広場は大規模改修工事を実施したため、築年数に比較して良好な状態です。
- ・金平テニスコートは老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-31 老朽化状況（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全 1.0	2.0	3.0	4.0	老朽化 5.0
公園グラウンド	2,046	S47	2.0					
市民体育センター	10,124	S42	2.0					
文化広場	1,857	S58	1.9					
金平テニスコート	242	S62	3.9					
さがらの森	500	S49	2.9					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

- ・市民体育センターは令和5(2023)年度以降では年間15万人前後の利用があります。
- ・公園グラウンド、文化広場、さがらの森は、令和元(2019)年度以前の水準と同程度まで利用者数が回復しています。
- ・公園グラウンドは貸部屋等利用率が40%近くありますが、金平テニスコート、さがらの森は利用率が20%前後となっています。

図 3-32 利用状況（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
公園グラウンド	2,046	17,722	25,862	24,356	31,887	34,586	26,883	33,106
市民体育センター	10,124	53,841	85,598	94,535	139,854	155,722	105,910	181,142
文化広場	1,857	21,688	27,830	26,447	28,822	10,087	22,975	27,327
金平テニスコート	242	8,828	11,732	10,903	11,017	10,241	10,544	16,657
さがらの森	500	2,346	2,901	3,536	3,279	4,469	3,306	4,507

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)					
				0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
公園グラウンド	87.3	0.043	38.6%						
市民体育センター	294.8	0.029	29.4%						
文化広場	74.6	0.040	30.1%						
金平テニスコート	30.2	0.125	17.8%						
さがらの森	9.7	0.019	20.4%						

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2(2020)～6(2024)年度）の平均値を掲載しています。

※令和5(2023)年5月までは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限を行っています。また、文化広場は令和6(2024)年度に大規模改造工事の実施に伴う利用停止期間があります。

※面積あたり1日あたり平均利用者数は、建物の面積をもとに計算しています。

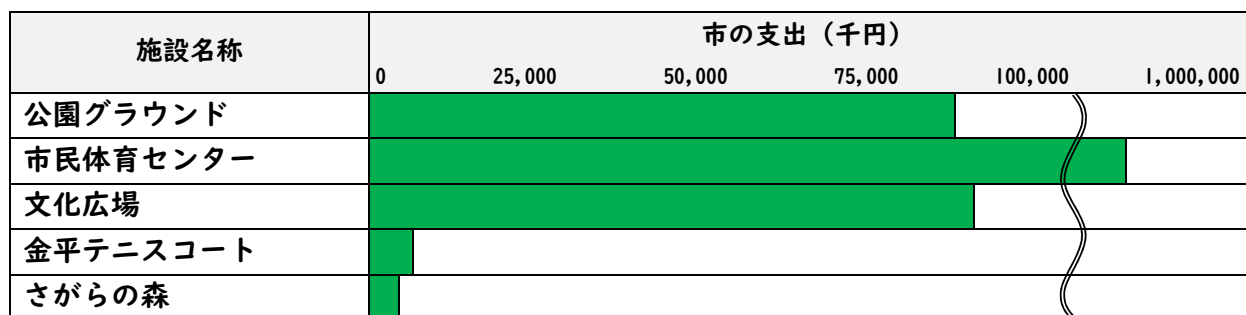
※貸部屋等利用率は競技用の部屋・スペースだけでなく、会議室等を保有している場合は会議室等も含めて計算しています。なお、会議室等を除外した競技用の部屋・スペースにおける貸部屋等利用率は、市民体育センターは37.1%、文化広場は48.6%です。

### (3) コスト状況の把握

- ・施設規模が大きい市民体育センターのコストが高くなっています。特に、指定管理料が他施設よりも高くなっています。
- ・公園グラウンド、市民体育センター、文化広場は施設の大規模な改修を行っているため、施設に係るコストが高くなっています。

図 3-33 コスト状況（スポーツ施設等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
公園グラウンド	65,514	0	0	18,402	83,916
市民体育センター	601,934	2,196	0	42,650	646,781
文化広場	78,600	0	0	11,234	89,834
金平テニスコート	3,077	0	0	3,090	6,166
さがらの森	3,301	0	0	0	3,301



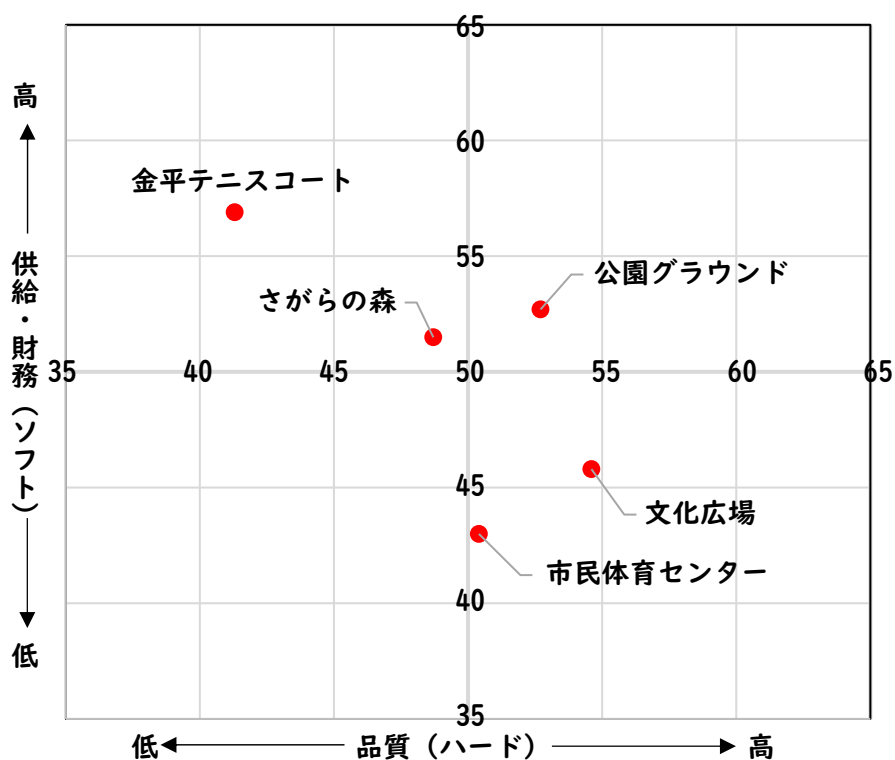
※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・金平テニスコートとさがらの森は建物の品質の平均偏差値が50以下となっており、老朽化が進んでいます。
- ・市民体育センターと文化広場は供給・財務の平均偏差値が50以下となっています。

図 3-34 ポートフォリオ分析結果（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給				財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	貸部屋等 利用率 (%)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
公園グラウンド	2,046	45.2	45.6	2.0	59.8	52.7	0.043	47.7	38.6%	65.2	40,463	47.3	12.94	50.8	52.7
市民体育センター	10,124	50.8	41.6	2.0	59.3	50.4	0.029	44.1	29.4%	52.9	62,926	36.3	25.81	38.8	43.0
文化広場	1,857	41.6	48.2	1.9	61.0	54.6	0.040	47.1	30.1%	53.8	47,337	43.9	26.05	38.5	45.8
金平テニスコート	242	38.0	50.8	3.9	31.8	41.3	0.125	69.5	17.8%	37.3	16,954	58.7	1.11	61.9	56.9
さがらの森	500	36.8	51.7	2.9	45.7	48.7	0.019	41.5	20.4%	40.7	6,598	63.8	3.03	60.1	51.5



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※面積あたり1日あたり平均利用者数、面積あたり市負担額は、建物の面積をもとに計算しています。

### 3-5 学校教育施設（小学校、中学校、専門学校、その他（学校教育））

- ・小中学校は、学校教育法で「市町村はその区域内にある学齢児童（生徒）を就学させるに必要な小（中）学校を設置しなければならない。」と定められ、小学校は、心身の発達に応じて、初等普通教育を施すことを目的とし、中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施すことを目的として設置しています。
- ・塩津小学校、西浦小学校、西浦中学校は、現在公民館等との複合化工事を行っており、他にも再編や複合機能化を予定している学校があります。
- ・三谷小学校、西浦小学校を除く小学校には、放課後に児童を預かる児童クラブが設置されています。
- ・小中学校は構造体の耐震化は全て完了しており、災害時の拠点となることが期待されます。

図 3-35 配置状況・外観写真（学校教育施設）



蒲郡南部小学校



大塚中学校



ソフィア看護専門学校

### 3-5-1 小学校

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・どの小学校も昭和 20 年代から 40 年代にかけて整備されており、本市の公共施設の中でも築年数が古い建物が多くあります。
- ・近年、各種設備の改修を進めていることから、多くの施設は築年数の割には比較的良好な状態にあります。

図 3-36 老朽化状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0	老朽化 5.0
蒲郡南部小学校	6,952	S24	1.8		
蒲郡東部小学校	5,231	S41	1.9		
蒲郡北部小学校	4,854	S27	2.4		
蒲郡西部小学校	3,756	S27	3.0		
三谷小学校	6,147	S32	2.4		
塩津小学校	7,151	S35	2.9		
大塚小学校	5,405	S31	2.5		
形原小学校	6,261	S42	1.9		
西浦小学校	6,193	S28	2.9		
形原北小学校	6,447	S41	2.3		
中央小学校	6,409	S43	2.6		
三谷東小学校	6,765	S32	2.7		
竹島小学校	6,055	S48	1.4		

※校内には複数の建物が建っていますが、建築年度は最も建築年度の古い建物（倉庫等を含む）をもとに掲載しています。蒲郡南部小学校は昭和 33（1958）年度、蒲郡東部小学校は昭和 46（1971）年度が、倉庫等を除く主な建物（校舎や体育館等）で最も古い建物の建築年度となります。

## (2) 利用状況の把握

- ・この5カ年では、塩津小学校、大塚小学校、西浦小学校、形原北小学校で児童の減少傾向がみられます。一方、蒲郡南部小学校の児童は増加傾向です。
- ・蒲郡西部小学校は、他の小学校に比べて児童1人あたり面積が広がっています。一方で、塩津小学校、形原北小学校は児童1人あたり面積が狭くなっています。

図 3-37 利用状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	児童数（人）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1 平均)
蒲郡南部小学校	6,952	349	363	372	385	386	371	326
蒲郡東部小学校	5,231	294	293	288	274	279	286	291
蒲郡北部小学校	4,854	295	300	302	291	279	293	314
蒲郡西部小学校	3,756	68	55	67	57	59	61	71
三谷小学校	6,147	197	197	206	206	210	203	230
塩津小学校	7,151	490	443	455	430	431	450	530
大塚小学校	5,405	289	275	260	245	241	262	290
形原小学校	6,261	359	362	367	354	328	354	351
西浦小学校	6,193	230	213	206	191	173	203	235
形原北小学校	6,447	476	456	436	427	403	440	547
中央小学校	6,409	291	297	287	286	283	289	310
三谷東小学校	6,765	297	279	275	277	274	280	317
竹島小学校	6,055	352	340	324	329	320	333	332

施設名称	児童1人 あたり面積 (㎡/人)	児童1人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	15.0	30.0	45.0	60.0	75.0
蒲郡南部小学校	18.7						
蒲郡東部小学校	18.3						
蒲郡北部小学校	16.5						
蒲郡西部小学校	61.4						
三谷小学校	30.3						
塩津小学校	15.9						
大塚小学校	20.6						
形原小学校	17.7						
西浦小学校	30.6						
形原北小学校	14.7						
中央小学校	22.2						
三谷東小学校	24.1						
竹島小学校	18.2						

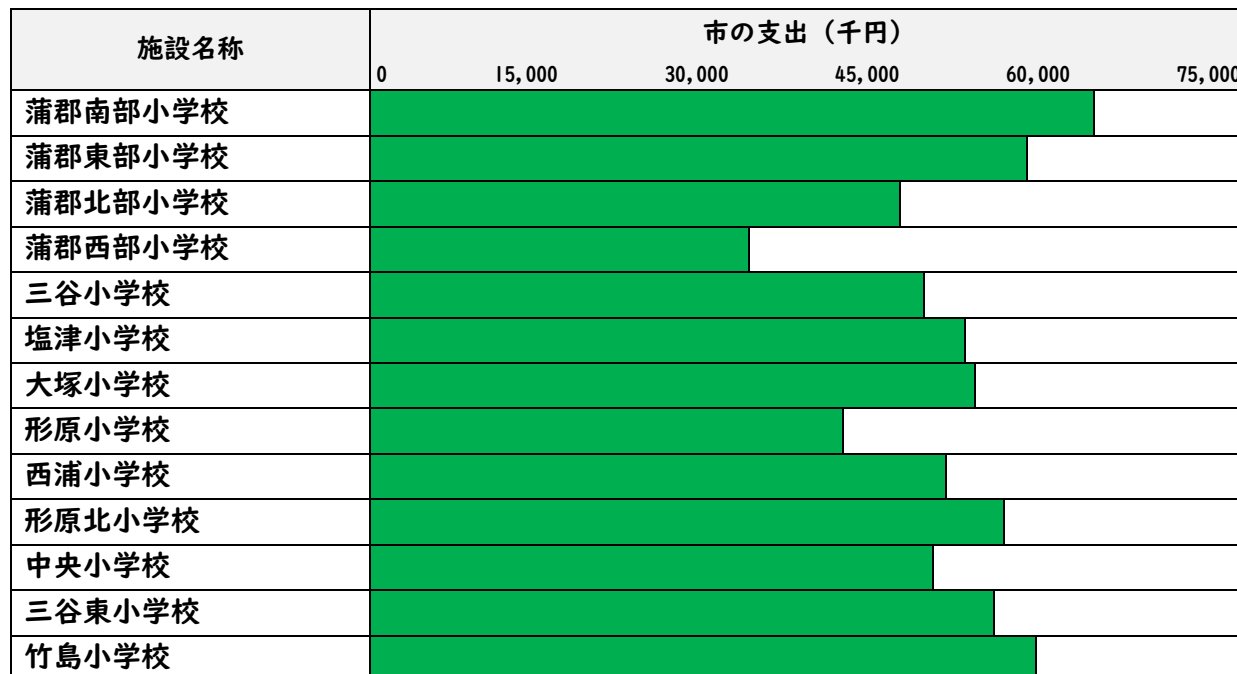
※利用状況の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### (3) コスト状況の把握

・蒲郡西部小学校のコストが、他の小学校と比較すると低くなっていますが、他の学校については大きな差はなく、コストの差は児童数の差ほど大きくはありません。

図 3-38 コスト状況（小学校）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡南部小学校	50,640	7,641	7,646	0	65,927
蒲郡東部小学校	44,879	6,947	7,646	0	59,472
蒲郡北部小学校	31,682	7,193	7,646	0	46,521
蒲郡西部小学校	21,494	5,913	7,646	0	35,052
三谷小学校	35,654	6,420	7,646	0	49,721
塩津小学校	37,219	8,423	7,646	0	53,289
大塚小学校	39,828	6,385	7,646	0	53,859
形原小学校	29,063	7,607	7,646	0	44,316
西浦小学校	38,131	6,292	7,646	0	52,069
形原北小学校	36,776	8,073	12,944	0	57,793
中央小学校	34,419	7,156	7,646	0	49,222
三谷東小学校	41,501	7,149	7,646	0	56,297
竹島小学校	44,904	7,516	7,646	0	60,067



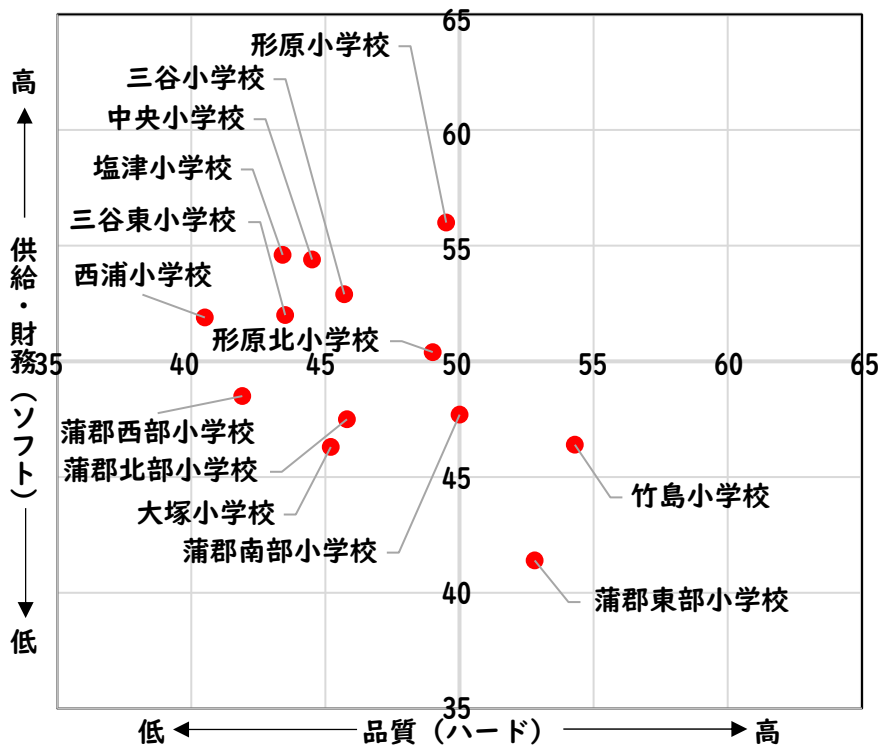
※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・ 築年数が古い建物が多いことから、蒲郡東部小学校、竹島小学校を除く小学校は、建物の品質の平均偏差値が50以下となっています。
- ・ 蒲郡東部小学校は、供給・財務の平均値が他の小学校よりも低くなっています。

図 3-39 ポートフォリオ分析結果（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		児童1人 あたり面積 (㎡/人)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	児童1人 あたり 市負担額 (円/人)	偏差値	
蒲郡南部小学校	6,952	56.1	37.7	1.8	62.2	50.0	18.7	45.8	9,471	44.7	178,108	52.8	47.7
蒲郡東部小学校	5,231	45.4	45.5	1.9	60.1	52.8	18.3	45.4	11,353	28.5	206,646	50.2	41.4
蒲郡北部小学校	4,854	55.3	38.3	2.4	53.3	45.8	16.5	43.9	9,566	43.9	157,387	54.6	47.5
蒲郡西部小学校	3,756	54.3	39.0	3.0	44.8	41.9	61.4	81.6	9,309	46.1	566,536	17.8	48.5
三谷小学校	6,147	54.8	38.7	2.4	52.8	45.7	30.3	55.4	8,074	56.7	246,450	46.6	52.9
塩津小学校	7,151	52.1	40.6	2.9	46.3	43.4	15.9	43.4	7,440	62.2	115,711	58.4	54.6
大塚小学校	5,405	54.2	39.1	2.5	51.3	45.2	20.6	47.3	9,949	40.6	199,275	50.9	46.3
形原小学校	6,261	55.5	38.2	1.9	60.9	49.5	17.7	44.9	7,064	65.4	124,305	57.6	56.0
西浦小学校	6,193	59.1	35.5	2.9	45.4	40.5	30.6	55.7	8,395	54.0	252,414	46.1	51.9
形原北小学校	6,447	49.4	42.6	2.3	55.3	49.0	14.7	42.3	8,699	51.4	125,738	57.5	50.4
中央小学校	6,409	54.7	38.8	2.6	50.2	44.5	22.2	48.7	7,591	60.9	168,322	53.7	54.4
三谷東小学校	6,765	55.8	37.9	2.7	49.0	43.5	24.1	50.3	8,310	54.7	199,002	50.9	52.0
竹島小学校	6,055	51.2	41.3	1.4	67.4	54.3	18.2	45.3	9,906	41.0	177,106	52.9	46.4



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

### 3-5-2 中学校

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・どの中学校も昭和30年代から50年代にかけて整備されています。
- ・廃止する予定の西浦中学校を除き、近年各種設備の改修を行っていることから、築年数にの割には比較的良好な状態にあります。

図 3-40 老朽化状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0	老朽化 5.0
蒲郡中学校	9,391	S35	1.9		
三谷中学校	8,032	S47	2.9		
塩津中学校	7,010	S37	2.5		
大塚中学校	7,443	S32	2.7		
形原中学校	8,716	S44	2.0		
西浦中学校	7,004	S37	3.4		
中部中学校	7,640	S52	2.6		

※校内には複数の建物が建っていますが、建築年度は最も建築年度の古い建物（倉庫等を含む）をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

- ・この5カ年では、三谷中学校、形原中学校で生徒の減少傾向がみられます。
- ・大塚中学校と西浦中学校の生徒1人あたり面積が広がっています。一方で、蒲郡中学校、形原中学校、中部中学校は、生徒1人あたり面積が狭くなっています。

図 3-41 利用状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	生徒数（人）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
蒲郡中学校	9,391	461	443	475	493	499	474	489
三谷中学校	8,032	302	296	277	260	246	276	299
塩津中学校	7,010	266	290	278	281	239	271	262
大塚中学校	7,443	143	136	138	148	150	143	162
形原中学校	8,716	442	447	451	420	416	435	490
西浦中学校	7,004	114	122	134	130	124	125	108
中部中学校	7,640	375	366	343	337	333	351	347

施設名称	生徒1人 あたり面積 (㎡/人)	生徒1人あたり面積 (㎡/人)				
		0.0	15.0	30.0	45.0	60.0
蒲郡中学校	19.8					
三谷中学校	29.1					
塩津中学校	25.9					
大塚中学校	52.0					
形原中学校	20.0					
西浦中学校	56.1					
中部中学校	21.8					

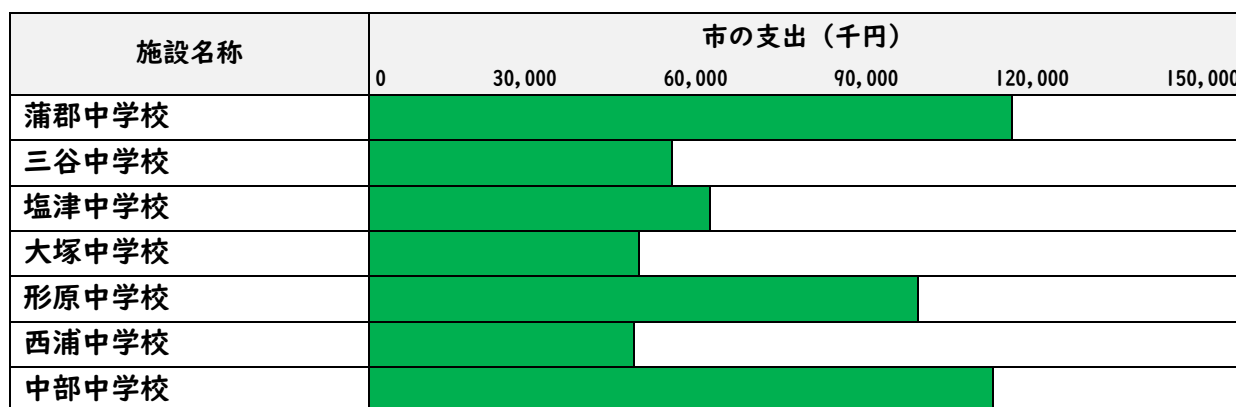
※利用状況の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### (3) コスト状況の把握

・事業運営に関するコストについては生徒数との相関が見られるものの、コストの差は生徒数の差ほど大きくはありません。

図 3-42 コスト状況（中学校）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡中学校	100,846	10,023	7,093	0	117,961
三谷中学校	43,561	7,725	7,093	0	58,379
塩津中学校	46,034	7,910	7,093	0	61,036
大塚中学校	42,448	6,929	7,093	0	56,469
形原中学校	83,697	9,218	7,093	0	100,008
西浦中学校	41,771	6,977	7,093	0	55,840
中部中学校	98,186	8,455	7,093	0	113,734



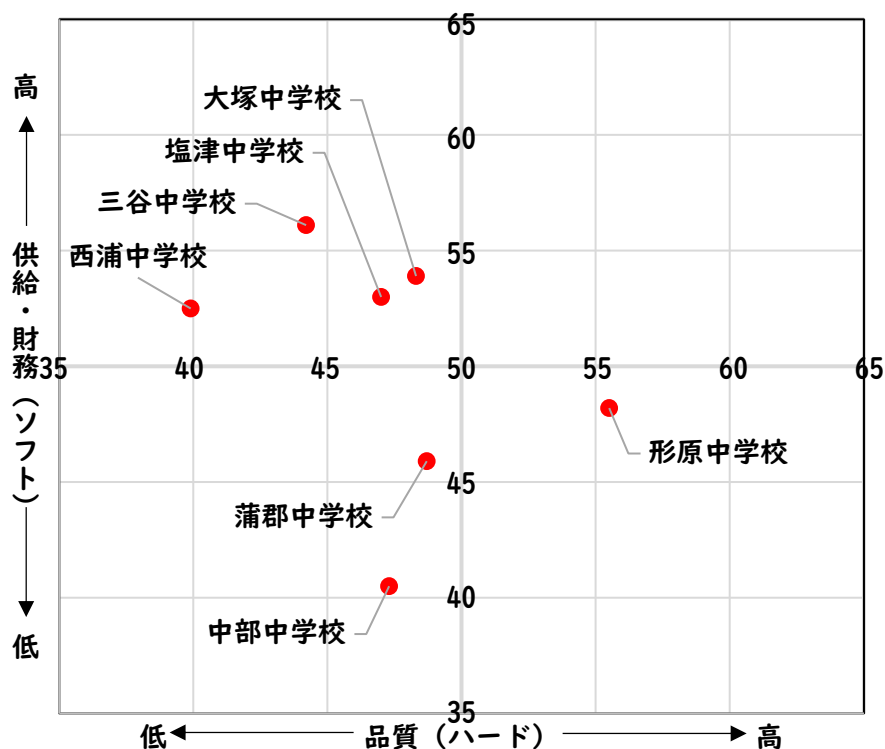
※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・ 築年数が古い建物が多いことから、形原中学校を除く中学校は、建物の品質の平均偏差値が50以下となっています。
- ・ 中部中学校は、供給・財務の平均値が他の中学校よりも低くなっています。

図 3-43 ポートフォリオ分析結果（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		生徒1人 あたり面積 (㎡/人)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	生徒1人 あたり 市負担額 (円/人)	偏差値	
蒲郡中学校	9,391	57.3	36.8	1.9	60.6	48.7	19.8	41.4	12,552	40.8	250,484	55.4	45.9
三谷中学校	8,032	50.5	41.8	2.9	46.6	44.2	29.1	47.9	7,257	60.3	210,280	60.0	56.1
塩津中学校	7,010	50.3	41.9	2.5	52.0	47.0	25.9	45.6	8,695	55.0	224,562	58.4	53.0
大塚中学校	7,443	43.1	47.1	2.7	49.4	48.3	52.0	64.0	7,576	59.1	398,398	38.6	53.9
形原中学校	8,716	36.8	51.7	2.0	59.4	55.5	20.0	41.5	11,464	44.8	226,311	58.2	48.2
西浦中学校	7,004	50.8	41.5	3.4	38.3	39.9	56.1	66.8	7,961	57.7	447,319	33.0	52.5
中部中学校	7,640	46.5	44.7	2.6	50.0	47.3	21.8	42.8	14,875	32.3	329,752	46.4	40.5



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

### 3-5-3 専門学校

#### (1) 老朽化状況の把握

・ソフィア看護専門学校は築年数が25年を超え、一部に老朽化がみられる状態です。

図 3-44 老朽化状況（専門学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
ソフィア看護専門学校	4,418	H10	2.1					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

・ソフィア看護専門学校は毎年一定人数の学生数を確保しており、安定した利用状況となっています。

図 3-45 利用状況（専門学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	学生数 (人)						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
ソフィア看護専門学校	4,418	115	110	118	119	112	115	112

施設名称	学生1人 あたり面積 (㎡/人)	学生1人あたり面積 (㎡/人)				
		0.0	10.0	20.0	30.0	40.0
ソフィア看護専門学校	38.5					

※利用状況の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

#### (3) コスト状況の把握

・支出項目別に見ると、人に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-46 コスト状況（専門学校）

施設名称	市の支出 (千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
ソフィア看護専門学校	50,288	20,905	119,560	0	190,752

施設名称	市の支出 (千円)				
	0	40,000	80,000	120,000	160,000
ソフィア看護専門学校					

※支出額の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### 3-5-4 その他（学校教育）

#### (1) 老朽化状況の把握

・学校給食センターは築年数が20年程度であり、一部に老朽化がみられる状態です。

図 3-47 老朽化状況（その他（学校教育））

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
学校給食センター	3,692	H16	2.7					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

・学校給食センターは、稼働日1日あたり約5,700食を配食しています。  
・小中学校の児童・生徒数の減少に伴い、配食数は減少する傾向にあります。

図 3-48 利用状況（その他（学校教育））

施設名称	延床面積 (㎡)	配食数（食）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
学校給食センター	3,692	1,353,488	1,360,324	1,414,496	1,381,583	1,367,145	1,375,407	1,443,801

施設名称	稼働日1日 あたり配食数 (食/日)	稼働日1日あたり配食数 (食/日)					
		0	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000
学校給食センター	5,664.8						

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
※令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う一斉休校期間があります。

#### (3) コスト状況の把握

・支出項目別に見ると、事業運営に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-49 コスト状況（その他（学校教育））

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
学校給食センター	122,765	567,811	19,160	0	709,736

施設名称	市の支出（千円）					
	0	150,000	300,000	450,000	600,000	750,000
学校給食センター						

※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

【参考：類似自治体との小中学校等の整備状況比較】

- ・第2章「2-6-4 類似自治体との整備状況の比較」で比較対象とした、滋賀県守山市、茨城県牛久市、愛知県知多市、奈良県大和郡山市と市立小中学校（義務教育学校を含む）の整備状況を比較します。
- ・本市は類似4自治体よりも学校数が多くなっています。そのため、学校1校あたりの児童生徒数は、他の自治体よりも少ない状況です。また、児童・生徒数の違いを考慮し、児童・生徒1人あたりの学校延床面積を比較すると、本市は他の自治体より多い状況であることがわかります。

図 3-50 類似4自治体との市立小中学校等の整備状況比較

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
学校数（校）	20	13	13	15	16
小学校	13	9	7	10	11
中学校	7	4	5	5	5
義務教育学校	0	0	1	0	0
児童・生徒数（人）	5,821	8,481	6,551	6,645	5,593
小学校	3,752	5,618	4,059	4,276	3,670
中学校	2,069	2,863	2,186	2,369	1,923
義務教育学校	—	—	306	—	—
うち1～6学年	—	—	201	—	—
うち7～9学年	—	—	105	—	—
延床面積（㎡）	132,940	106,476	109,252	126,654	125,552
小学校	77,703	61,070	55,761	79,245	73,159
中学校	55,237	45,406	44,778	47,409	52,393
義務教育学校	—	—	8,713	—	—

※延床面積は、全国との比較が可能な令和5（2023）年度末の値を掲載しています。学校数と児童・生徒数も、延床面積に合わせて令和5（2023）年度の値を掲載しています。

※類似自治体についての詳細は18ページをご覧ください。

出所：公共施設状況調、学校基本調査、各自治体ホームページ

図 3-51 学校1校あたりの児童・生徒数（人）

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
小学校	289	624	580	428	334
中学校	296	716	437	474	385
義務教育学校	—	—	306	—	—

出所：学校基本調査、各自治体ホームページ

図 3-52 児童・生徒1人あたりの学校延床面積（㎡/人）

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
小学校	20.7	10.9	13.7	18.5	19.9
中学校	26.7	15.9	20.5	20.0	27.2
義務教育学校	—	—	28.5	—	—

出所：公共施設状況調、学校基本調査、各自治体ホームページ

### 3-6 児童福祉施設（保育園、児童館）

- ・ 保育園は、保護者が就労等の理由により日中家庭で保育することができない場合に、保護者に代わって保育するための施設です。
- ・ 塩津保育園は現在学校との複合化工事を行っており、他にも再編や複合機能化を予定している保育園があります。
- ・ 児童館は、18歳までの児童を対象に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにするための施設として設置されています。
- ・ 塩津保育園と、かたはら児童館を除く6つの児童館には、放課後に児童を預かる児童クラブが設置されています。また、形原北保育園には西部子育て支援センターが設置されています。
- ・ おおつか児童館の一部は地域集会施設として地域に貸出しています。

図 3-53 配置状況・外観写真（児童福祉施設）



三谷西保育園



にしうら児童館



南部保育園・がまごおり児童館  
(複合施設)

### 3-6-1 保育園

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・ほとんどの保育園が昭和40年代から50年代にかけて整備され、築40年以上が経過しています。近年各種設備の改修を行っていることから、築年数の割には比較的良好な状態にあります。
- ・南部保育園は、平成23(2011)年度に建替えられたため、良好な状態を維持しています。

図 3-54 老朽化状況（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0	老朽化 3.0 4.0 5.0
東部保育園	812	S44	2.3		
北部保育園	1,283	S54	2.3		
西部保育園	663	S52	2.4		
塩津保育園	936	S44	2.7		
大塚保育園	684	S45	2.4		
府相保育園	1,112	S45	2.3		
三谷東保育園	1,229	S48	2.2		
大塚西保育園	530	S47	2.4		
三谷西保育園	1,002	S46	2.4		
形原保育園	907	S45	2.2		
中部保育園	1,308	S51	2.4		
南部保育園	1,088	H23	1.9		
形原南保育園	1,201	S55	2.5		
西浦保育園	1,188	S57	2.5		
形原北保育園	925	S42	2.4		

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

## (2) 利用状況の把握

- ・大塚西保育園、形原南保育園、形原北保育園の園児1人あたり面積が比較的広がっています。
- ・府相保育園、中部保育園、南部保育園の園児1人あたり面積は比較的狭くなっています。

図 3-55 利用状況（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	園児数(人)						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
東部保育園	812	54	68	72	74	61	66	56
北部保育園	1,283	105	109	104	114	126	112	117
西部保育園	663	44	50	41	45	42	44	46
塩津保育園	936	38	60	65	67	82	62	34
大塚保育園	684	62	65	63	60	61	62	65
府相保育園	1,112	120	127	114	98	95	111	109
三谷東保育園	1,229	122	127	124	113	104	118	117
大塚西保育園	530	22	21	22	17	15	19	27
三谷西保育園	1,002	82	90	85	77	76	82	70
形原保育園	907	96	76	77	81	92	84	80
中部保育園	1,308	152	136	137	130	123	136	138
南部保育園	1,088	149	143	133	136	127	138	144
形原南保育園	1,201	70	62	60	58	67	63	83
西浦保育園	1,188	87	87	75	78	80	81	95
形原北保育園	925	61	51	47	41	42	48	83

施設名称	園児1人 あたり面積 (㎡/人)	園児1人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
東部保育園	12.3						
北部保育園	11.5						
西部保育園	14.9						
塩津保育園	15.0						
大塚保育園	11.0						
府相保育園	10.0						
三谷東保育園	10.4						
大塚西保育園	27.3						
三谷西保育園	12.2						
形原保育園	10.7						
中部保育園	9.6						
南部保育園	7.9						
形原南保育園	18.9						
西浦保育園	14.6						
形原北保育園	19.1						

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

【参考】保育園の年齢別利用状況

- ・東部保育園、大塚保育園、大塚西保育園、形原北保育園を除く11園で、0歳児からの低年齢児保育を行っています。また、塩津保育園では令和3（2021）年度から0歳児からの低年齢児保育を開始しました。
- ・乳児棟の増築をした北部保育園、0歳児からの低年齢児保育を開始した塩津保育園では、園児数は増加傾向にあります。
- ・低年齢児保育を行っていない大塚西保育園、形原北保育園は園児数が減少傾向にあります。

図 3-56 保育園の年齢別利用状況

施設名称	園児数（人）							
	年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
東部保育園	R2	—	—	12	12	16	14	54
	R3	—	—	10	23	15	20	68
	R4	—	—	8	19	30	15	72
	R5	—	—	9	13	21	31	74
	R6	—	—	6	18	16	21	61
北部保育園	R2	3	15	12	24	27	24	105
	R3	6	12	17	21	25	28	109
	R4	6	18	16	19	20	25	104
	R5	6	15	23	28	21	21	114
	R6	6	18	23	28	29	22	126
西部保育園	R2	3	11	11	4	11	4	44
	R3	6	4	12	13	3	12	50
	R4	3	6	4	11	14	3	41
	R5	3	6	8	4	10	14	45
	R6	0	11	6	8	5	12	42
塩津保育園	R2	—	—	5	5	20	8	38
	R3	3	8	5	9	12	23	60
	R4	5	5	11	18	12	14	65
	R5	3	12	6	14	21	11	67
	R6	3	11	18	15	13	22	82
大塚保育園	R2	—	—	8	13	22	19	62
	R3	—	—	12	16	15	22	65
	R4	—	—	11	22	15	15	63
	R5	—	—	6	15	23	16	60
	R6	—	—	9	12	16	24	61
府相保育園	R2	6	12	18	29	31	24	120
	R3	5	12	23	22	33	32	127
	R4	3	16	9	30	23	33	114
	R5	3	10	16	16	30	23	98
	R6	3	12	18	17	17	28	95
三谷東保育園	R2	2	23	21	29	22	25	122
	R3	7	15	21	29	31	24	127
	R4	6	15	12	28	29	34	124
	R5	3	22	11	20	30	27	113
	R6	6	13	16	18	23	28	104

施設名称	園児数（人）							
	年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
大塚西保育園	R2	—	—	—	10	7	5	22
	R3	—	—	—	5	9	7	21
	R4	—	—	—	7	6	9	22
	R5	—	—	—	3	7	7	17
	R6	—	—	—	4	3	8	15
三谷西保育園	R2	3	14	12	19	19	15	82
	R3	6	11	17	21	15	20	90
	R4	4	10	15	18	20	18	85
	R5	3	10	14	13	19	18	77
	R6	3	12	11	17	15	18	76
形原保育園	R2	3	16	12	13	23	29	96
	R3	6	10	17	11	11	21	76
	R4	2	17	16	19	11	12	77
	R5	3	13	16	16	20	13	81
	R6	3	17	17	20	16	19	92
中部保育園	R2	3	24	27	31	25	42	152
	R3	3	21	22	33	31	26	136
	R4	6	16	22	28	33	32	137
	R5	3	22	21	24	26	34	130
	R6	6	18	24	27	22	26	123
南部保育園	R2	3	18	17	31	40	40	149
	R3	3	15	24	30	32	39	143
	R4	3	16	17	34	30	33	133
	R5	6	17	18	28	36	31	136
	R6	6	16	18	22	30	35	127
形原南保育園	R2	5	10	5	13	20	17	70
	R3	3	5	12	8	15	19	62
	R4	3	9	10	13	8	17	60
	R5	3	6	12	14	15	8	58
	R6	2	11	10	15	15	14	67
西浦保育園	R2	6	8	12	16	26	19	87
	R3	6	10	11	16	16	28	87
	R4	6	9	10	17	17	16	75
	R5	2	12	10	17	19	18	78
	R6	3	5	17	17	18	20	80
形原北保育園	R2	—	—	—	17	15	29	61
	R3	—	—	—	15	21	15	51
	R4	—	—	—	12	16	19	47
	R5	—	—	—	12	12	17	41
	R6	—	—	—	9	16	17	42
塩津北保育園 (R2 未廃止)	R2	—	—	—	4	0	8	12
	R3	—	—	—	—	—	—	—
	R4	—	—	—	—	—	—	—
	R5	—	—	—	—	—	—	—
	R6	—	—	—	—	—	—	—

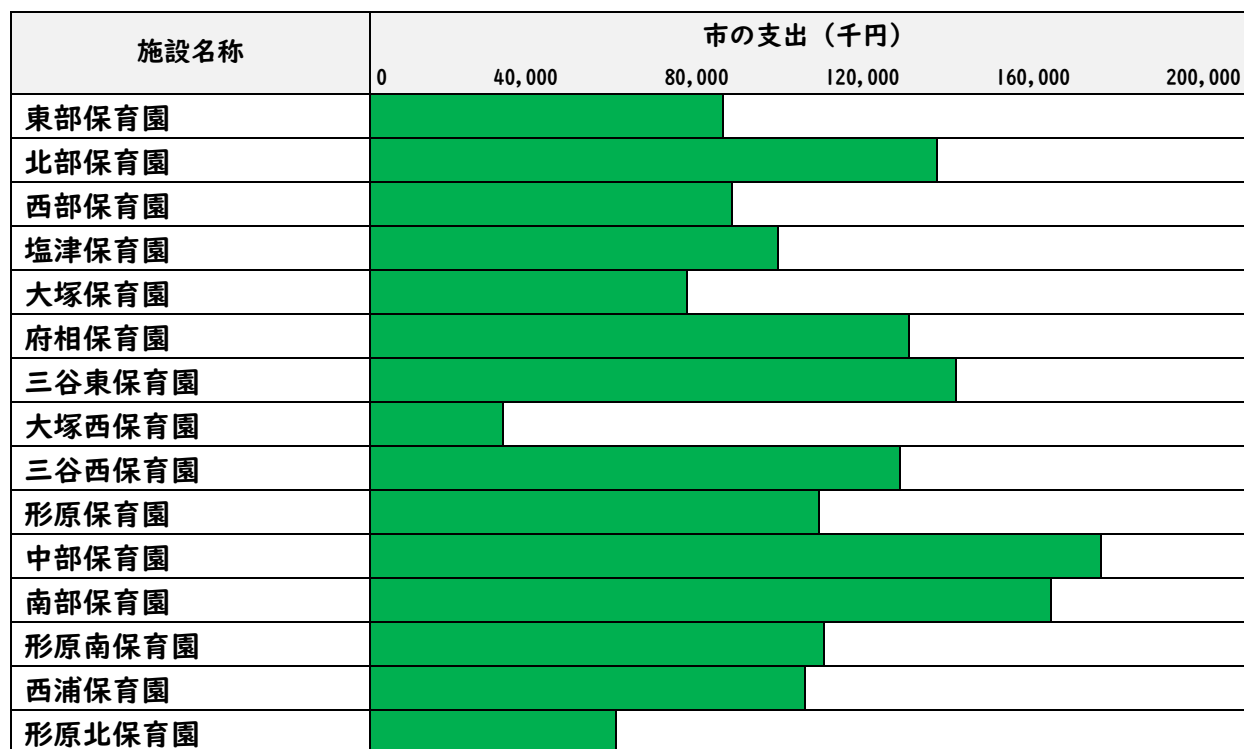
※データのない箇所は受け入れをしていない年齢です。

### (3) コスト状況の把握

- ・支出項目別に見ると、人に関するコストの割合が大きくなっています。
- ・保育園の規模に応じてコストが高くなっており、園児数の多い中部保育園、南部保育園は相対的にコストが高い状況です。

図 3-57 コスト状況（保育園）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
東部保育園	10,591	4,315	68,262	0	83,169
北部保育園	6,632	6,672	126,057	0	139,361
西部保育園	7,225	5,025	71,951	0	84,201
塩津保育園	11,154	5,635	82,292	0	99,081
大塚保育園	6,715	4,482	68,744	0	79,941
府相保育園	8,125	6,227	117,568	0	131,919
三谷東保育園	5,725	6,528	134,690	0	146,942
大塚西保育園	6,505	3,636	27,016	0	37,157
三谷西保育園	6,834	5,117	114,829	0	126,780
形原保育園	5,933	5,994	101,827	0	113,755
中部保育園	7,546	7,560	160,313	0	175,419
南部保育園	10,341	8,962	143,681	0	162,984
形原南保育園	5,793	5,363	102,675	0	113,830
西浦保育園	9,457	5,789	92,267	0	107,513
形原北保育園	5,675	4,171	51,684	0	61,531



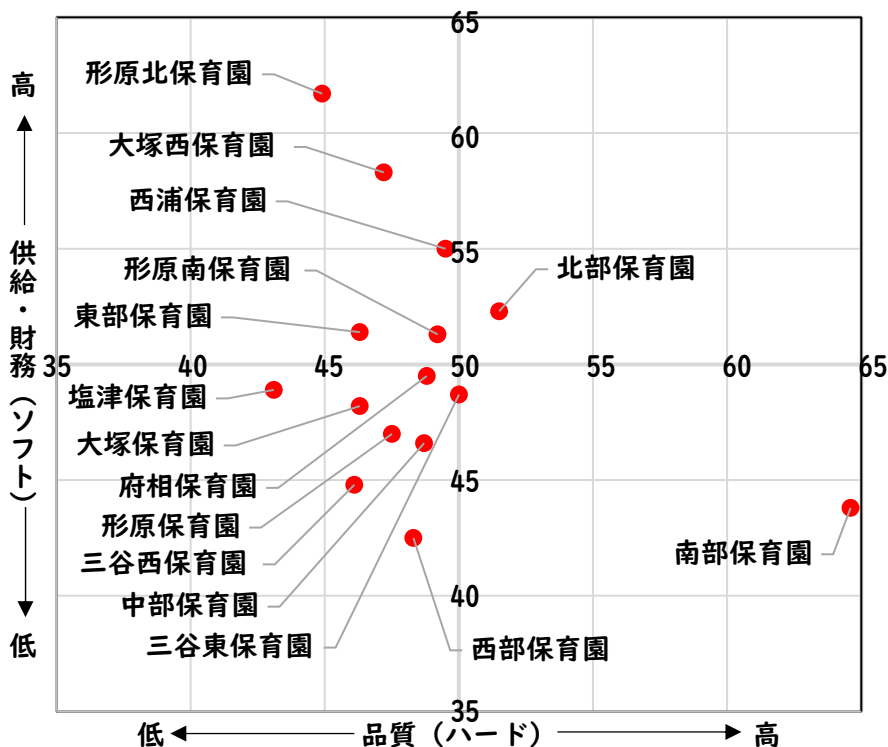
※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・築年数が古い建物が多いことから、建物の品質については、北部保育園、南部保育園を除いて平均偏差値が50以下となっています。
- ・供給・財務については、西部保育園と南部保育園の平均偏差値が低くなっています。

図 3-58 ポートフォリオ分析結果（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		園児1人 あたり面積 (㎡/人)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	園児1人 あたり 市負担額 (円/人)	偏差値	
東部保育園	812	55.3	38.3	2.3	54.4	46.3	12.3	47.1	98,675	52.4	1,238,334	54.5	51.4
北部保育園	1,283	41.3	48.5	2.3	54.5	51.5	11.5	45.4	98,348	52.6	1,125,959	58.9	52.3
西部保育園	663	47.8	43.8	2.4	52.9	48.3	14.9	52.5	119,171	41.7	1,781,694	33.3	42.5
塩津保育園	936	55.8	37.9	2.7	48.3	43.1	15.0	52.7	99,939	51.8	1,551,408	42.3	48.9
大塚保育園	684	54.0	39.3	2.4	53.4	46.3	11.0	44.3	111,953	45.5	1,231,654	54.8	48.2
府相保育園	1,112	48.3	43.4	2.3	54.3	48.8	10.0	42.3	109,526	46.7	1,113,382	59.4	49.5
三谷東保育園	1,229	48.4	43.3	2.2	56.7	50.0	10.4	43.1	111,498	45.7	1,165,523	57.4	48.7
大塚西保育園	530	51.6	41.0	2.4	53.5	47.2	27.3	78.3	68,885	68.1	1,909,734	28.3	58.3
三谷西保育園	1,002	53.9	39.3	2.4	52.9	46.1	12.2	46.9	119,072	41.7	1,463,896	45.7	44.8
形原保育園	907	54.5	38.9	2.2	56.1	47.5	10.7	43.8	116,034	43.3	1,253,806	53.9	47.0
中部保育園	1,308	48.0	43.6	2.4	53.7	48.7	9.6	41.5	120,512	41.0	1,163,312	57.4	46.6
南部保育園	1,088	14.0	68.2	1.9	61.0	64.6	7.9	37.9	135,897	32.9	1,079,382	60.7	43.8
形原南保育園	1,201	45.0	45.8	2.5	52.5	49.2	18.9	60.9	90,074	57.0	1,713,547	36.0	51.3
西浦保育園	1,188	42.8	47.4	2.5	51.6	49.5	14.6	51.8	85,663	59.3	1,256,310	53.8	55.0
形原北保育園	925	57.8	36.5	2.4	53.2	44.9	19.1	61.3	64,623	70.3	1,263,332	53.5	61.7



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

### 3-6-2 児童館

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・児童館はいずれも平成3（1991）年度以降の建設であり、比較的健全な状態を維持しています。
- ・かたはら児童館は児童館の中では最も古く、相対的に老朽化が進んでいます。

図 3-59 老朽化状況（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0	老朽化 3.0 4.0 5.0
おおつか児童館	486	H11	2.4		
みや児童館	490	H8	2.1		
がまごおり児童館	591	H23	1.9		
ちゅうぶ児童館	569	H17	1.8		
しおつ児童館	510	H13	1.9		
かたはら児童館	349	H3	2.7		
にしうら児童館	491	H13	1.9		

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。  
 ※おおつか児童館の延床面積には、地域集会施設の面積を含んでいます。

## (2) 利用状況の把握

- ・がまごおり児童館、ちゅうぶ児童館、しおつ児童館の1日あたり平均利用者数が多くなっています。
- ・おおつか児童館とにしうら児童館を除く児童館は、令和元（2019）年度以前の水準と同程度まで利用者数が回復しています。
- ・にしうら児童館は、面積あたり1日あたり平均利用者数が比較的少ない結果となっています。

図 3-60 利用状況（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
おおつか児童館	486	10,126	10,559	11,707	13,210	14,156	11,952	16,329
みや児童館	490	10,453	10,559	15,410	22,096	24,263	16,556	22,708
がまごおり児童館	591	14,508	13,326	16,453	23,391	27,859	19,107	29,471
ちゅうぶ児童館	569	10,346	13,326	19,031	21,774	29,138	18,723	31,096
しおつ児童館	510	12,664	14,706	14,706	27,257	28,310	19,529	25,467
かたはら児童館	349	6,647	7,739	11,653	18,974	20,087	13,020	21,090
にしうら児童館	491	8,208	7,849	11,045	14,608	15,637	11,469	20,490

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)					
			0.00	0.05	0.10	0.15	0.20	0.25
おおつか児童館	41.4	0.107						
みや児童館	57.5	0.117						
がまごおり児童館	66.7	0.113						
ちゅうぶ児童館	65.6	0.115						
しおつ児童館	68.5	0.134						
かたはら児童館	45.2	0.130						
にしうら児童館	39.9	0.081						

※利用状況の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

※令和5（2023）年5月までは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限を行っています。

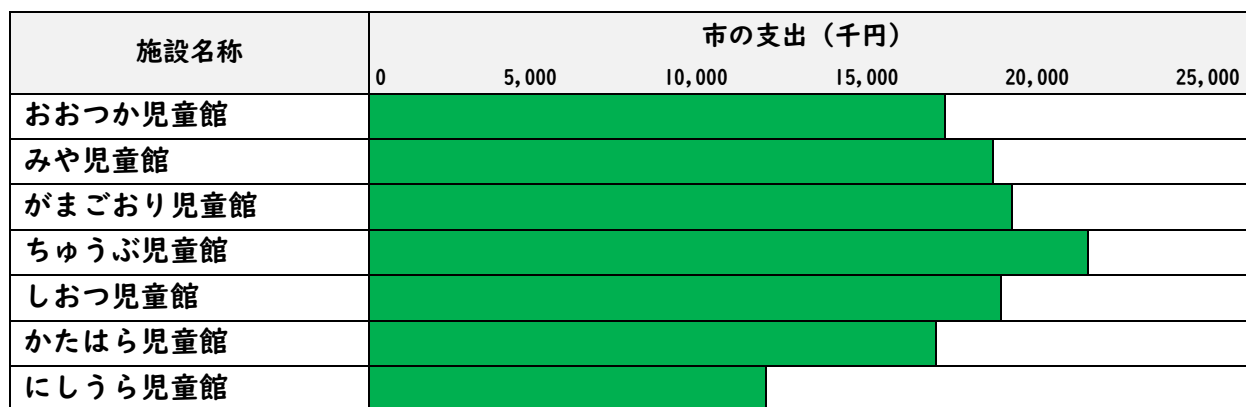
※おおつか児童館の面積あたり利用者数については、地域集会施設の面積を除外して算出しています。

### (3) コスト状況の把握

・ちゅうぶ児童館のコストが高く、にしゅうら児童館のコストが低くなっています。

図 3-61 コスト状況（児童館）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
おおつか児童館	3,383	5,684	7,900	0	16,967
みや児童館	7,784	5,644	4,860	0	18,288
がまごおり児童館	3,051	6,652	9,740	0	19,444
ちゅうぶ児童館	4,975	7,876	8,660	0	21,511
しおつ児童館	4,615	5,600	8,660	0	18,875
かたはら児童館	3,158	5,638	7,900	0	16,696
にしゅうら児童館	1,598	5,679	4,860	0	12,137



※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

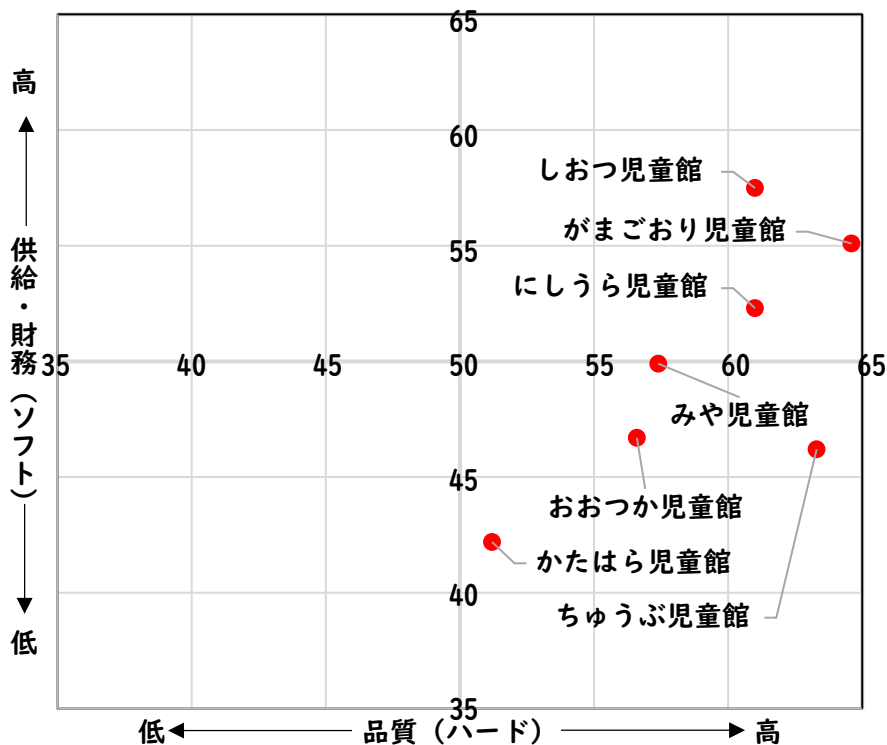
※おおつか児童館のコストには、地域集会施設に関する市の支出を含んでいます。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質の平均偏差値は、どの施設も 50 以上を維持しており、本市の公共施設の中では良好な状態を維持しています。
- ・おおつか児童館、みや児童館、ちゅうぶ児童館、かたはら児童館は、供給・財務の平均偏差値が 50 以下となっています。

図 3-62 ポートフォリオ分析結果（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
おおつか児童館	486	26.0	59.5	2.4	53.7	56.6	0.107	45.4	34,637	52.2	4.84	42.6	46.7
みや児童館	490	29.0	57.4	2.1	57.5	57.4	0.117	52.3	37,350	47.9	4.42	49.5	49.9
がまごおり児童館	591	14.0	68.2	1.9	61.0	64.6	0.113	49.3	32,901	54.9	3.69	61.2	55.1
ちゅうぶ児童館	569	20.0	63.9	1.8	62.8	63.3	0.115	50.9	37,821	47.2	4.97	40.6	46.2
しおつ児童館	510	24.0	61.0	1.9	61.0	61.0	0.134	62.7	37,011	48.5	3.70	61.1	57.5
かたはら児童館	349	34.0	53.7	2.7	48.7	51.2	0.130	59.8	47,863	31.5	5.29	35.4	42.2
にしうら児童館	491	24.0	61.0	1.9	61.0	61.0	0.081	29.6	24,661	67.8	3.79	59.6	52.3



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※おおつか児童館の面積あたり利用者数については、地域集会施設の面積を除外して算出しています。

【参考】児童クラブについて

- ・児童クラブは、保護者が就労等の理由により昼間家庭にいない児童に対し、放課後から夕方まで、遊びと生活の場を提供するものです。
- ・児童クラブは単体の施設ではなく他の施設に併設されているため、本白書の対象施設ではありませんが、子育て世帯には重要な機能であり、併設が想定される施設を検討する際には重要な要素のひとつとなるため、利用状況について示します。
- ・低学年の児童を中心に利用されており、利用児童は増加傾向にあります。ニーズの拡大に対応するため、クラブの増設を行っていますが、開設場所の確保が困難な場合も多く、小学校内に限らず、近隣の児童館、保育園、公民館などで開設しているクラブもあります。

図 3-63 児童クラブの学年別利用状況

クラブ名称 (カッコは対象学校)	利用児童数(人)							
	年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
おおつか児童館 児童クラブ (大塚小学校)	R2	17	15	—	—	—	—	32
	R3	18	13	—	—	—	—	31
	R4	15	18	11	—	—	—	44
	R5	18	12	16	—	—	—	46
	R6	16	19	—	—	—	—	35
大塚小 児童クラブ (大塚小学校)	R2	—	—	15	8	6	3	32
	R3	—	—	14	9	5	2	30
	R4	—	—	—	14	6	5	25
	R5	—	—	—	8	12	5	25
	R6	—	—	11	11	5	6	33
三谷東小 児童クラブ (三谷東小学校)	R2	19	18	14	10	2	1	64
	R3	21	20	11	9	6	0	67
	R4	12	19	11	5	1	3	51
	R5	20	13	11	0	0	0	44
	R6	13	16	11	8	4	0	52
みや児童館 児童クラブ (三谷小学校)	R2	12	19	8	2	0	0	41
	R3	8	10	16	5	1	0	40
	R4	23	9	9	6	0	0	47
	R5	13	19	10	6	3	0	51
	R6	18	8	11	8	3	1	49
蒲郡東部小 児童クラブ (蒲郡東部小学校)	R2	16	23	—	10	3	0	52
	R3	22	15	14	—	—	—	51
	R4	23	20	12	—	—	—	55
	R5	19	24	17	11	0	0	71
	R6	29	21	22	12	11	3	98
東部公民館 児童クラブ (蒲郡東部小学校)	R2	—	—	24	7	1	1	33
	R3	—	—	—	16	9	3	28
	R4	—	—	—	10	13	5	28
	R5	—	—	—	—	—	—	0
	R6	—	—	—	—	—	—	0
竹島小 児童クラブ (竹島小学校)	R2	23	21	23	8	6	0	81
	R3	17	19	13	15	2	0	66
	R4	31	18	14	8	0	1	72
	R5	32	26	19	0	0	0	77
	R6	21	34	21	10	3	0	89

クラブ名称 (カッコは対象学校)	利用児童数(人)							
	年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
がまごおり児童館 児童クラブ (蒲郡南部小学校)	R2	26	24	—	—	—	—	50
	R3	—	29	20	—	—	—	49
	R4	—	27	23	—	—	—	50
	R5	24	—	23	—	—	—	47
	R6	—	26	30	—	—	—	56
蒲郡南部小 児童クラブ (蒲郡南部小学校)	R2	—	—	24	14	4	1	43
	R3	28	—	—	11	4	0	43
	R4	35	—	—	14	1	0	50
	R5	—	32	—	15	5	0	52
	R6	34	—	—	20	5	3	62
ちゅうぶ児童館 児童クラブ (蒲郡北部小学校)	R2	—	—	23	13	3	0	39
	R3	—	—	15	13	6	0	34
	R4	—	—	21	17	10	3	51
	R5	—	—	—	21	12	7	40
	R6	26	27	—	—	—	—	53
蒲郡北部小 児童クラブ (蒲郡北部小学校)	R2	24	20	—	—	—	—	44
	R3	23	23	—	—	—	—	46
	R4	28	25	—	—	—	—	53
	R5	26	30	25	—	—	—	81
	R6	—	—	30	17	12	5	64
蒲郡西部小 児童クラブ (蒲郡西部小学校)	R2	6	11	3	4	0	0	24
	R3	3	6	9	1	0	0	19
	R4	9	4	5	9	0	0	27
	R5	1	9	4	4	6	0	24
	R6	7	1	8	2	4	4	26
中央小 児童クラブ (中央小学校)	R2	23	22	14	7	1	0	67
	R3	30	23	10	4	1	0	68
	R4	20	26	15	8	4	1	74
	R5	27	19	21	13	2	1	83
	R6	22	28	15	13	10	0	88
しおつ児童館 児童クラブ (塩津小学校)	R2	1	31	20	13	3	0	68
	R3	—	19	22	10	2	0	53
	R4	—	21	19	12	3	0	55
	R5	—	27	13	11	7	0	58
	R6	37	—	23	13	9	3	85
塩津保育園 児童クラブ (塩津小学校)	R2	23	—	—	—	—	—	23
	R3	22	—	—	—	—	—	22
	R4	28	—	—	—	—	—	28
	R5	29	—	—	—	—	—	29
	R6	—	30	—	—	—	—	30
形原北小 児童クラブ (形原北小学校)	R2	24	13	17	9	0	0	63
	R3	26	14	9	5	1	0	55
	R4	22	23	7	2	1	0	55
	R5	14	16	19	4	1	0	54
	R6	21	10	15	12	1	1	60
形原小 児童クラブ (形原小学校)	R2	17	23	17	9	3	0	69
	R3	24	15	16	7	2	0	64
	R4	22	21	12	10	5	1	71
	R5	12	23	14	9	0	0	58
	R6	12	11	23	10	8	4	68
にしうら児童館 児童クラブ (西浦小学校)	R2	11	7	12	8	6	0	44
	R3	9	8	8	6	3	2	36
	R4	13	7	5	6	4	2	37
	R5	8	13	4	2	1	3	31
	R6	11	8	14	1	2	0	36

※このほか、令和7(2025)年度から塩津小児童クラブを開設しています。  
※データの無い箇所は未開設の年度又は受け入れをしていない学年です。

### 3-7 保健・福祉施設（福祉センター等）

- ・保健・福祉施設では、高齢者向けの福祉活動や、障がい者への生活支援、自立支援や子育て支援などを行っています。
- ・勤労福祉会館、生きがいセンターには、福祉に関する機能のほか、貸館や市民活動支援、教育相談など、様々な機能を担っています。
- ・中央子育て支援センターの機能は、蒲郡駅北側に整備予定の複合施設「がまごおり『みらいキャンパス』」に移転する予定です。
- ・保健医療センターは、赤ちゃんからお年寄りまで、市民の健康づくりの拠点として、健康診査・健康相談・健康教室などを行っています。また、こども家庭センター、児童発達支援センターが併設されています。
- ・ユトリーナ蒲郡は、廃棄物焼却施設「クリーンセンター」の余熱を利用した健康増進施設で、バーデゾーンや浴室が設けられています。

図 3-64 配置状況・外観写真（保健・福祉施設）



生きがいセンター



ユトリーナ蒲郡



老人福祉センター寿楽荘

### 3-7-1 福祉センター等

#### (1) 老朽化状況の把握

・ 勤労福祉会館、養護老人ホーム、保健医療センター、ユトリーナ蒲郡は、老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。特に、ユトリーナ蒲郡は築年数に比較して老朽化度が高い施設となっています。

図 3-65 老朽化状況（福祉センター等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0	老朽化 3.0 4.0 5.0
勤労福祉会館	3,174	S55	3.0		
浜町福祉センター	709	S57	2.2		
中央子育て支援センター	99	H4	2.4		
生きがいセンター	2,176	H4	2.7		
養護老人ホーム	1,070	S45	3.1		
老人福祉センター寿楽荘	1,610	S49	2.4		
保健医療センター	5,855	H5	3.2		
ユトリーナ蒲郡	1,977	H12	3.6		

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

## (2) 利用状況の把握

- ・ユトリーナ蒲郡は、令和5（2023）年度以降では年間4万人を超える利用があります。
- ・浜町福祉センターと生きがいセンターは、利用者数の回復が進んでおらず、令和元（2019）年度以前の水準の半数程度にとどまっています。
- ・中央子育て支援センターの面積あたり1日あたりの平均利用者数が多くなっています。

図 3-66 利用状況（福祉センター等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
勤労福祉会館	3,174	—	—	—	—	—	—	—
浜町福祉センター	709	6,161	4,116	4,568	4,206	4,147	4,640	7,970
中央子育て支援センター	99	6,992	6,633	8,315	7,732	7,905	7,515	7,200
生きがいセンター	2,176	7,470	12,478	15,957	23,583	24,420	16,782	45,057
養護老人ホーム	1,070	7,237	7,807	6,949	6,174	5,330	6,699	6,149
老人福祉センター寿楽荘	1,610	9,025	14,888	21,813	26,646	29,392	20,353	39,339
保健医療センター	5,855	12,207	17,817	17,900	17,434	17,309	16,533	29,167
ユトリーナ蒲郡	1,977	11,499	31,391	34,744	41,577	44,922	32,827	38,153

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)				
				0.00	0.10	0.20	0.30	0.40
勤労福祉会館	—	—	28.4	—				
浜町福祉センター	18.1	0.026	—					
中央子育て支援センター	31.4	0.317	—					
生きがいセンター	53.5	0.025	38.2					
養護老人ホーム	18.4	0.017	—					
老人福祉センター寿楽荘	93.9	0.058	—					
保健医療センター	45.3	0.008	—					
ユトリーナ蒲郡	126.2	0.064	—					

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

※令和5（2023）年5月までは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限を行っています。

※勤労福祉会館は利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

※勤労福祉会館の貸部屋等利用率は研修室や会議室、和室、談話室の利用率を、生きがいセンターの貸部屋等利用率は学習室やホールの利用率を掲載しています。

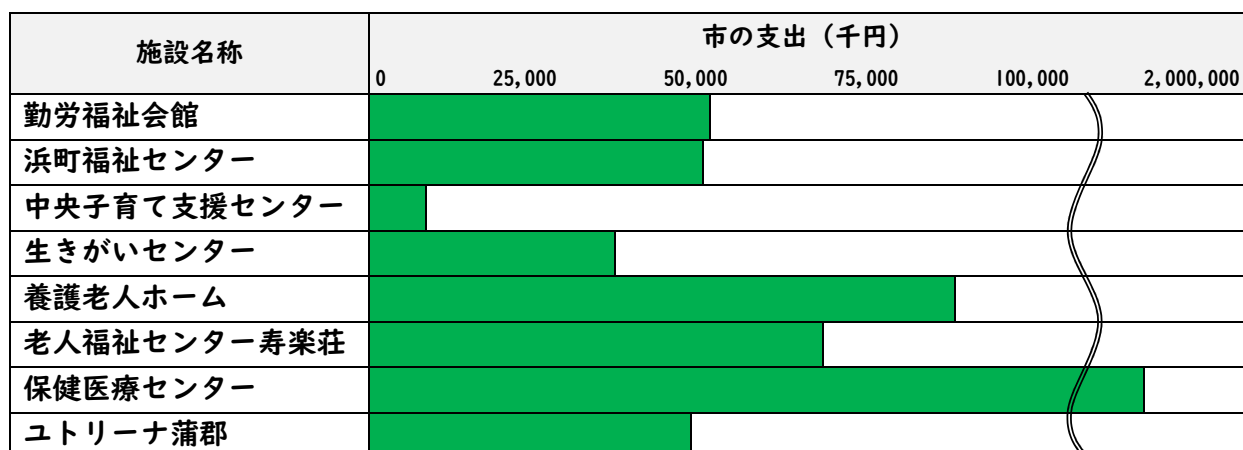
※養護老人ホームの利用者数は、入居者の延べ人数を掲載しています。なお、5年間の平均入居率は、70.6%です。

### (3) コスト状況の把握

- ・保健医療センターのコストが高くなっています。支出項目別に見ると、事業運営に係るコストの割合が大きくなっています。
- ・指定管理者制度を導入している勤労福祉会館、生きがいセンター、養護老人ホーム、老人福祉センター寿楽荘、ユトリーナ蒲郡については、指定管理料の割合が大きくなっています。

図 3-67 コスト状況（福祉センター等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
勤労福祉会館	23,277	0	0	27,380	50,657
浜町福祉センター	5,300	44,896	0	0	50,196
中央子育て支援センター	1,049	337	9,018	0	10,405
生きがいセンター	13,191	0	0	19,968	33,159
養護老人ホーム	5,426	0	0	77,825	83,250
老人福祉センター寿楽荘	13,504	17	0	53,854	67,376
保健医療センター	70,030	1,021,410	273,047	0	1,364,487
ユトリーナ蒲郡	14,974	0	0	34,146	49,121



※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### 3-8 衛生施設（ごみ処理施設等）

- ・クリーンセンター及び隣接するリサイクルプラザでは、可燃ごみの焼却や、ごみの分別や再資源化を行っています。なお、クリーンセンターでごみを焼却する際に発生する余熱は、クリーンセンター、リサイクルプラザのほか、ユトリーナ蒲郡の熱源としても活用されています。
- ・2か所の最終処分場は、廃棄物を埋立処分する施設です。なお、一色不燃物最終処分場は不燃物の埋立は終了しており、隣接地に新最終処分場を整備する予定です。

図 3-68 配置状況・外観写真（衛生施設）



クリーンセンター



リサイクルプラザ



一般廃棄物最終処分場

### 3-8-1 ごみ処理施設等

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・クリーンセンターを除く施設は、老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。
- ・クリーンセンターも、築年数が25年を超え、老朽化が進みつつあります。

図 3-69 老朽化状況（ごみ処理施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
クリーンセンター	7,139	H9	2.8					
リサイクルプラザ	3,265	H11	3.3					
一色不燃物最終処分場	266	S57	3.2					
一般廃棄物最終処分場	918	H12	3.0					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) コスト状況の把握

- ・延床面積の大きいクリーンセンター、リサイクルプラザのコストが高くなっています。
- ・クリーンセンターは施設の大規模な改修を行っているため、施設に係るコストが高くなっています。

図 3-70 コスト状況（ごみ処理施設等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
クリーンセンター	1,165,533	328,575	31,808	0	1,525,915
リサイクルプラザ	100,474	167,947	53,258	0	321,679
一色不燃物最終処分場	24,234	2,301	11,050	0	37,585
一般廃棄物最終処分場	32,550	570	1,950	0	35,070

施設名称	市の支出（千円）					
	0	400,000	800,000	1,200,000	1,600,000	2,000,000
クリーンセンター						
リサイクルプラザ						
一色不燃物最終処分場						
一般廃棄物最終処分場						

※支出額の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### 3-9 公営住宅施設（公営住宅）

- ・公営住宅施設は、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を供給することを目的としています。
- ・この5年間で4か所の団地を廃止しており、現在5か所の団地で計300戸の住戸を管理しています。
- ・市営丸山住宅内の10戸はシルバーハウジング（高齢者の生活に配慮した構造、設備等を備えた住戸）となっています。

図 3-71 配置状況・外観写真（公営住宅施設）



市営丸山住宅



市営白山住宅



市営力川住宅

### 3-9-1 公営住宅

#### (1) 老朽化状況の把握

・市営北浜住宅を除く住宅は、老朽化度が3以上となっており、老朽化が進んでいます。

図 3-72 老朽化状況（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←			→
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
市営丸山住宅	6,951	H9	3.0					
市営大塚住宅	5,231	S48	3.1					
市営白山住宅	5,112	H2	3.0					
市営力川住宅	589	S49	3.3					
市営北浜住宅	3,423	S57	2.8					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

・いずれの住宅も入居率は90%前後となっており、ほぼ満室となっています。

図 3-73 利用状況（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	入居率 (%)						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
市営丸山住宅	6,951	92.5	96.3	88.8	87.5	91.3	91.3	98.3
市営大塚住宅	5,231	90.6	90.6	91.7	89.6	90.6	90.6	96.9
市営白山住宅	5,112	93.8	92.2	85.9	82.8	84.4	87.8	98.7
市営力川住宅	589	91.7	91.7	100.0	83.3	91.7	91.7	100.0
市営北浜住宅	3,423	85.4	89.6	91.7	93.8	87.5	89.6	95.1

施設名称	入居率 (%)					
	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
市営丸山住宅						
市営大塚住宅						
市営白山住宅						
市営力川住宅						
市営北浜住宅						

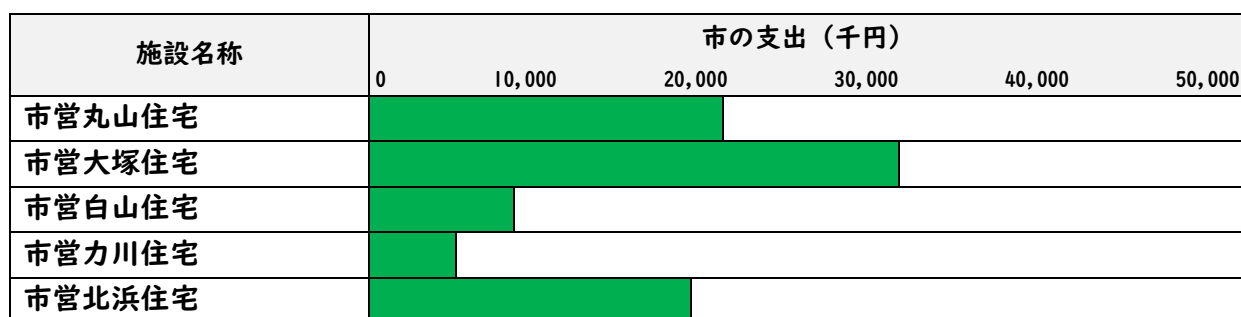
※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### (3) コスト状況の把握

・市営大塚住宅のコストが高くなっています。支出項目別に見ると、施設に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-74 コスト状況（公営住宅等）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
市営丸山住宅	19,580	0	1,706	0	21,286
市営大塚住宅	29,508	0	1,706	0	31,214
市営白山住宅	8,194	0	1,706	0	9,900
市営力川住宅	3,517	0	1,706	0	5,223
市営北浜住宅	18,163	0	1,706	0	19,869



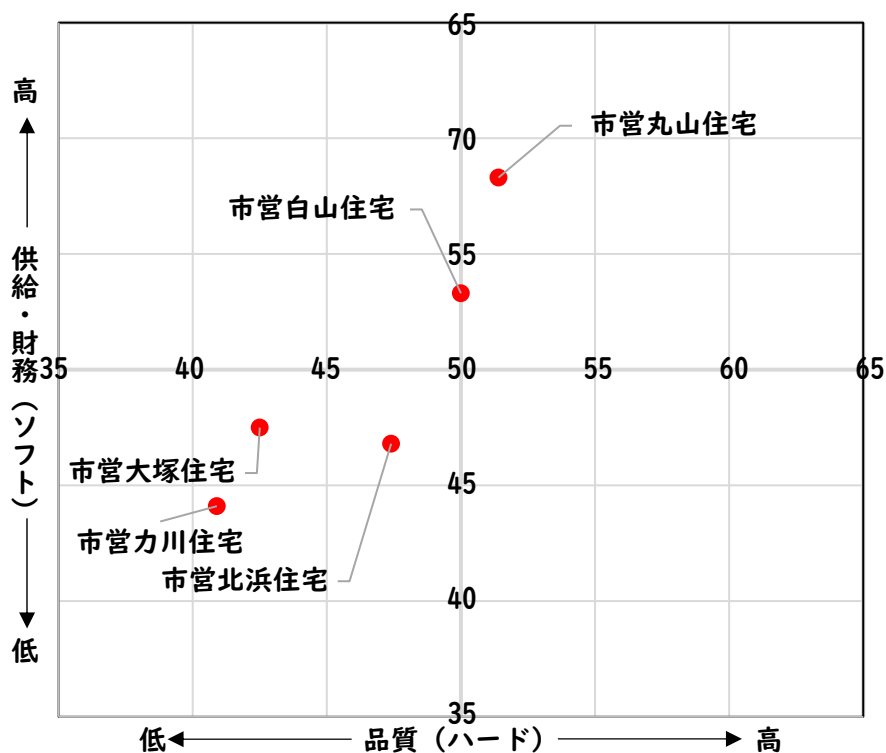
※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、市営丸山住宅以外は、平均偏差値が50以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・市営大塚住宅、市営力川住宅、市営北浜住宅は、供給・財務の平均偏差値が低くなっています。

図 3-75 ポートフォリオ分析結果（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		平均入居率 (%)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	平均入居 戸数あたり 市負担額 (円/戸)	偏差値	
市営丸山住宅	6,951	28.0	58.1	3.0	44.7	51.4	91.3%	57.7	-697	58.5	-66,951	58.6	58.3
市営大塚住宅	5,231	50.6	41.7	3.1	43.2	42.5	90.6%	53.2	3,083	45.0	185,667	44.3	47.5
市営白山住宅	5,112	32.3	55.0	3.0	44.9	50.0	87.8%	32.8	-1,903	62.8	-170,386	64.4	53.3
市営力川住宅	589	51.0	41.4	3.3	40.4	40.9	91.7%	60.7	5,998	34.6	312,575	37.1	44.1
市営北浜住宅	3,423	43.0	47.2	2.8	47.6	47.4	89.6%	45.6	1,978	49.0	160,463	45.7	46.8



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

### 3-10 観光施設（観光施設）

- ・観光施設は、本市の魅力や文化を伝え、観光地としての魅力を高めるとともに、市民の交流を生み出すことを目的として、海洋資源を活用した水族館、文豪に愛された歴史を活かした海辺の文学記念館、観光交流拠点となるナビテラスなどを設置しています。
- ・市の玄関口である蒲郡駅周辺や各地区の温泉など、観光客の来訪の多い場所を中心に配置しています。
- ・小規模な休憩所や観光用の公衆便所などは配置状況のみ示します。

図 3-76 配置状況・外観写真（観光施設）



竹島水族館  
(市所有部分)



海辺の文学記念館



ナビテラス

### 3-10-1 観光施設

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・竹島水族館、西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。
- ・ナビテラスは築年数がまだ浅く、老朽化度も低く健全な状態となっています。

図 3-77 老朽化状況（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
海賓館マリンセンターハウス	278	H8	2.9					
竹島水族館	1,996	S37	3.6					
海辺の文学記念館	347	S59	2.4					
ナビテラス	429	H24	1.3					
西浦温泉レストハウス	140	S41	3.4					
竹島レストハウス	128	S42	3.1					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。  
海辺の文学記念館で最も古い建物は屋外のトイレと休憩所であり、記念館は平成8(1996)年度に建築されています。  
※竹島水族館の増築部分は本市の所有ではないため、延床面積や老朽化度には反映していません。

#### (2) 利用状況の把握

- ・竹島水族館の利用者数が最も多く、面積あたり1日あたりの平均利用者数（本市所有部分の面積をもとに算出）も他の施設と比較して多い状況です。

図 3-78 利用状況（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数（人）						
		R2	R3	R4	R5	R6	5年平均	(~R1平均)
海賓館マリンセンターハウス	278	10,687	11,000	10,854	11,000	11,000	10,908	18,052
竹島水族館	1,996	169,785	210,141	308,838	259,388	482,184	286,067	365,563
海辺の文学記念館	347	11,409	14,465	16,636	27,218	28,599	19,665	16,269
ナビテラス	429	10,028	14,743	25,434	26,478	32,188	21,774	35,497
西浦温泉レストハウス	140	—	—	—	—	—	—	—
竹島レストハウス	128	—	—	—	—	—	—	—

施設名称	1日あたり 平均利用者数 (人/日)	面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)				
			0.00	0.10	0.20	0.30	0.40
海賓館マリンセンターハウス	34.9	0.126					
竹島水族館	934.2	0.468					
海辺の文学記念館	56.3	0.157					
ナビテラス	62.5	0.146					
西浦温泉レストハウス	—	—	—				
竹島レストハウス	—	—	—				

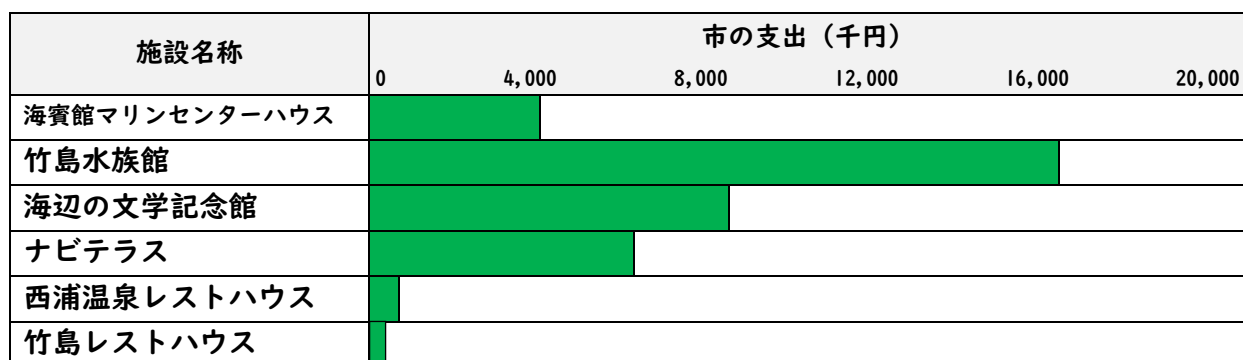
※利用状況の値は5ヵ年度（令和2(2020)～6(2024)年度）の平均値を掲載しています。  
※令和5(2023)年5月までは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限を行っています。  
※西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

### (3) コスト状況の把握

- ・他の施設と比較すると、竹島水族館のコストが大きくなっています。支出項目別では、施設に係るコストと指定管理料となっていますが、指定管理料を負担しているのは令和3(2021)年度までで、直近では施設に係るコストのみがかかっています。
- ・指定管理者制度を導入している竹島水族館と海辺の文学記念館を除く施設については、施設に係るコストのみがかかっています。

図 3-79 コスト状況（観光施設）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
海賓館マリンセンターハウス	4,033	0	0	0	4,033
竹島水族館	7,572	0	0	8,800	16,372
海辺の文学記念館	1,134	0	0	7,460	8,594
ナビテラス	6,416	0	0	0	6,416
西浦温泉レストハウス	219	0	0	0	219
竹島レストハウス	102	0	0	0	102



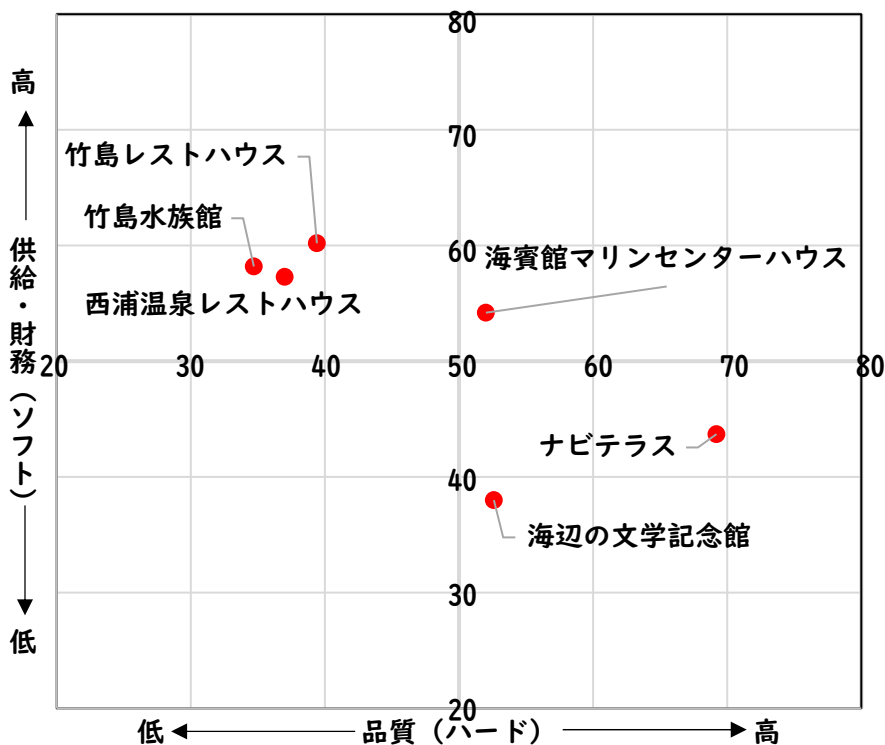
※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、竹島水族館、西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは平均偏差値が40以下となっており、本市の公共施設の中でも特に老朽化が進んでいる状況です。
- ・供給・財務については、海辺の文学記念館とナビテラスの平均偏差値が低くなっています。

図 3-80 ポートフォリオ分析結果（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり 1日あたり 平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり 1日あたり 市負担額 (円/人・日)	偏差値	
海賓館マリンセンターハウス	278	29.0	57.4	2.9	46.6	52.0	0.126	43.0	896	58.0	0.07	61.6	54.2
竹島水族館	1,996	62.4	33.1	3.6	36.2	34.7	0.468	67.3	8,186	49.8	0.29	57.6	58.2
海辺の文学記念館	347	36.0	52.3	2.4	52.9	52.6	0.157	45.3	23,986	32.0	1.38	36.9	38.0
ナビテラス	429	13.0	69.0	1.3	69.5	69.2	0.146	44.4	14,470	42.7	1.01	43.9	43.7
西浦温泉レストハウス	140	59.0	35.6	3.4	38.3	37.0	—	—	1,570	57.3	—	—	57.3
竹島レストハウス	128	58.0	36.4	3.1	42.5	39.4	—	—	-1,005	60.2	—	—	60.2

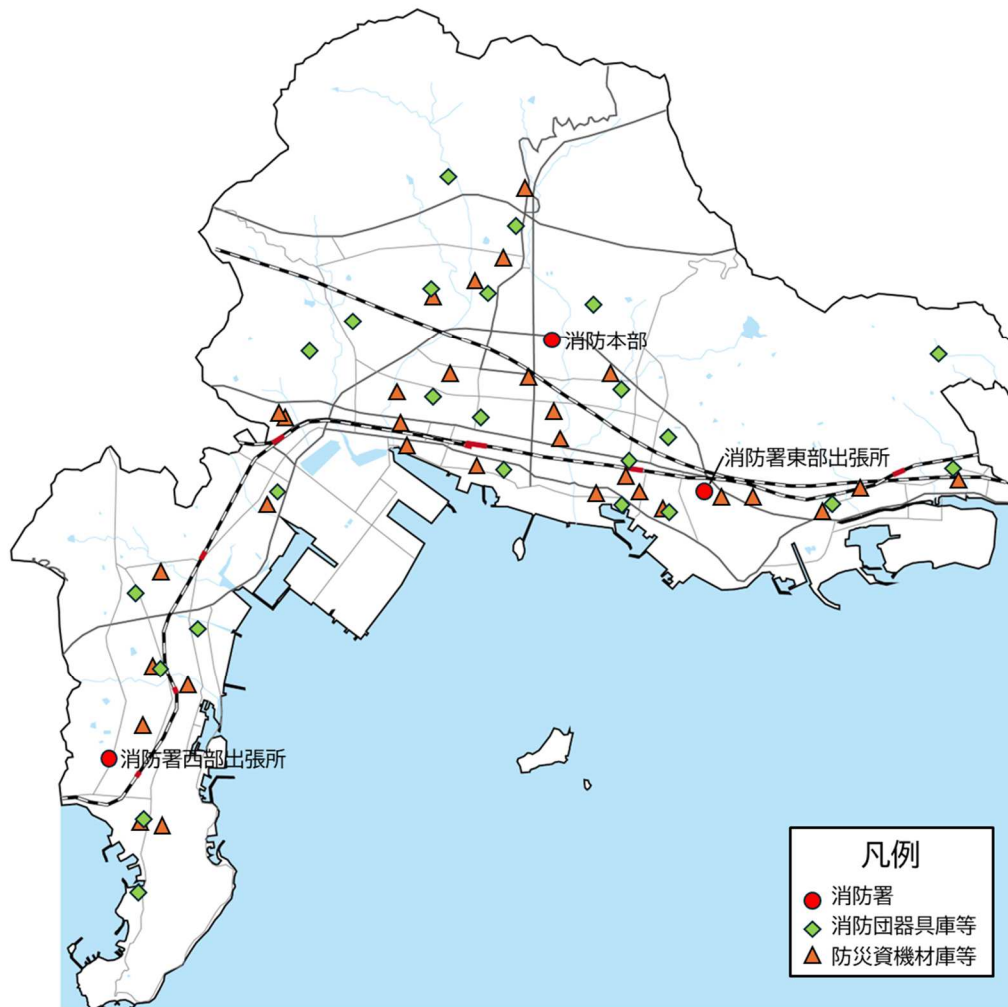


- ※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。
- ※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。
- ※竹島水族館の増築部分は本市の所有ではないため、偏差値に反映していません。
- ※西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは利用者数の正確な情報が把握できないため、利用者数に関する項目の偏差値は算出していません。

### 3-11 消防・防災施設（消防署、消防団器具庫等、防災資機材庫等）

- ・消防・防災施設は、火災や自然災害から市民等を守ることを目的とした消防活動の拠点施設として設置しています。
- ・消防の中核機能を担う消防本部、地域の消防活動の拠点となる消防署東部出張所、消防署西部出張所の2か所の出張所のほか、市内各地に消防団器具庫等や防災資機材庫等が配置されています。
- ・消防団器具庫等や防災資機材庫等は配置状況のみ示します。

図 3-81 配置状況・外観写真（消防・防災施設）



消防本部



消防署東部出張所



消防署西部出張所

### 3-11-1 消防署

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・消防本部は築年数が15年程度であり、健全な状態を維持しています。
- ・消防署西部出張所は令和5（2023）年度に移転、建替えをしたため、健全な状態です。

図 3-82 老朽化状況（消防署）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
消防本部	5,061	H21	1.6					
消防署東部出張所	439	S44	2.5					
消防署西部出張所	924	R5	1.0					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) コスト状況の把握

- ・消防本部は、本部機能を担う施設であるため、コストが高くなっています。
- ・支出項目別に見ると、いずれの施設も人に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-83 コスト状況（消防署）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
消防本部	82,241	0	445,680	0	527,921
消防署東部出張所	1,814	0	78,000	0	79,814
消防署西部出張所	2,231	0	149,240	0	151,471

施設名称	市の支出（千円）					
	0	150,000	300,000	450,000	600,000	750,000
消防本部						
消防署東部出張所						
消防署西部出張所						

※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

### 3-12 その他施設（駅周辺施設、その他）

- ・その他施設として、鉄道駅周辺の駐車場や公衆便所、交通安全教育センター、蒲郡乗船センター、市営共同艇庫などを保有しています。
- ・駐車場（自動車用、自転車用）は、鉄道駅周辺の違法駐車問題を防ぐため、駅に隣接して設置しています。
- ・市営共同艇庫は、大学生のヨット活動のための施設で、大学に貸出しています。
- ・駅周辺の駐車場や公衆便所などは配置状況のみ示します。

図 3-84 配置状況・外観写真（その他施設）



交通安全教育センター



蒲郡乗船センター



市営共同艇庫

### 3-12-1 その他

#### (1) 老朽化状況の把握

・交通安全教育センターと蒲郡乗船センターは、老朽化度が4以上となっており、本市の施設のなかでも老朽化が著しい施設です。

図 3-85 老朽化状況（その他）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	← 老朽化度 →			老朽化
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
交通安全教育センター	276	S48	4.0					
蒲郡乗船センター	185	H3	5.0					
市営共同艇庫	1,712	H27	1.8					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) コスト状況の把握

・いずれの施設も、大きなコストはかかっていません。

図 3-86 コスト状況（その他）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
交通安全教育センター	0	0	0	0	0
蒲郡乗船センター	117	0	0	0	117
市営共同艇庫	566	55	0	0	621

施設名称	市の支出（千円）					
	0	200	400	600	800	1,000
交通安全教育センター						
蒲郡乗船センター						
市営共同艇庫						

※支出額の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

## 第4章 地区別にみた公共施設の現状

### 4-1 地区の定義

本章では、地区別に公共施設の現状を整理します。各地区の範囲は、下図のとおり合併時の旧町村区分に基づいて定義します。

図 4-1 各地区の範囲



地区名	旧町村	地区の範囲
大塚地区	旧大塚村	相楽町・大塚町・海陽町
三谷地区	旧三谷町	三谷町・三谷北通
蒲郡南地区	旧蒲郡町 (蒲郡中学校区)	平田町・豊岡町・五井町・府相町・新井形町・掘込町・ 新井町・八百富町・神明町・本町・上本町・元町・ 丸山町・竹島町・松原町・港町の全域 水竹町・蒲郡町・中央本町のうち、蒲郡中学校区
蒲郡北地区	旧蒲郡町 (中部中学校区)	清田町・坂本町・神ノ郷町・宝町・御幸町・宮成町・ 緑町・旭町・栄町の全域 水竹町・蒲郡町・中央本町のうち、中部中学校区
塩津地区	旧塩津村	柏原町・竹谷町・西迫町・拾石町・鹿島町・浜町
形原地区	旧形原町	一色町・金平町・形原町
西浦地区	旧西浦町	西浦町

#### 4-2 各地区の人口構成と公共施設保有量

##### 【人口】

- ・総人口は蒲郡南地区が16,853人と最も多くなっています。続いて形原地区が14,814人、三谷地区が12,689人となっています。
- ・西浦地区は年少人口割合が約10%である一方、老年人口割合が約38%となっており、他の地区と比較して少子化・高齢化が顕著となっています。

##### 【公共施設保有面積】

- ・本章では、普通会計施設を対象とし、主に地区内の住民により利用される施設（公民館、公園、保育園、小中学校等）を「地区利用型施設」、全市の住民により利用される施設や一般の住民の利用が想定されない施設、臨時・不使用施設（庁舎、図書館、観光施設、消防署等）を「全市利用型施設」として分析します。
- ・地区利用型施設の人口1人あたり保有面積は1.46～3.10㎡/人で、西浦地区と大塚地区が大きくなっています。全市利用型施設の人口1人あたり保有面積は0.52～3.84㎡/人で、蒲郡北地区と大塚地区が大きくなっています。

図 4-2 地区別にみた人口・人口構成・公共施設保有面積の比較

地区	総人口 (人)	年齢階層別人口 (人)			年齢階層別人口の割合 (%)			公共施設保有面積 (㎡)			人口1人あたり保有面積 (㎡/人)		
		年少人口	生産年齢人口	高齢者人口	年少人口	生産年齢人口	高齢者人口	地区利用型施設	全市利用型施設	全施設	地区利用型施設	全市利用型施設	全施設
大塚	6,254	866	3,684	1,704	13.8%	58.9%	27.2%	15,400	18,584	33,984	2.46	2.97	5.43
三谷	12,689	1,405	7,358	3,926	11.1%	58.0%	30.9%	25,882	6,572	32,453	2.04	0.52	2.56
蒲郡南	16,853	2,152	9,882	4,819	12.8%	58.6%	28.6%	34,172	27,499	61,671	2.03	1.63	3.66
蒲郡北	12,679	1,615	7,465	3,599	12.7%	58.9%	28.4%	27,807	48,669	76,475	2.19	3.84	6.03
塩津	11,094	1,271	6,752	3,071	11.5%	60.9%	27.7%	16,248	6,852	23,099	1.46	0.62	2.08
形原	14,814	1,788	8,513	4,513	12.1%	57.5%	30.5%	26,095	8,199	34,294	1.76	0.55	2.32
西浦	5,155	497	2,691	1,967	9.6%	52.2%	38.2%	15,967	13,922	29,889	3.10	2.70	5.80

※人口は令和2(2020)年国勢調査の結果(年齢不詳按分済)をもとに掲載しています。

※年少人口は15歳未満の人口、生産年齢人口は15歳以上65歳未満の人口、高齢者人口は65歳以上の人口を表しています。

※人口の割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※公共施設保有面積は、小数点以下を四捨五入しています。

出所：国勢調査、蒲郡市公共施設一覧

### 4-3 大塚地区の現状

#### (1) 地区の特色

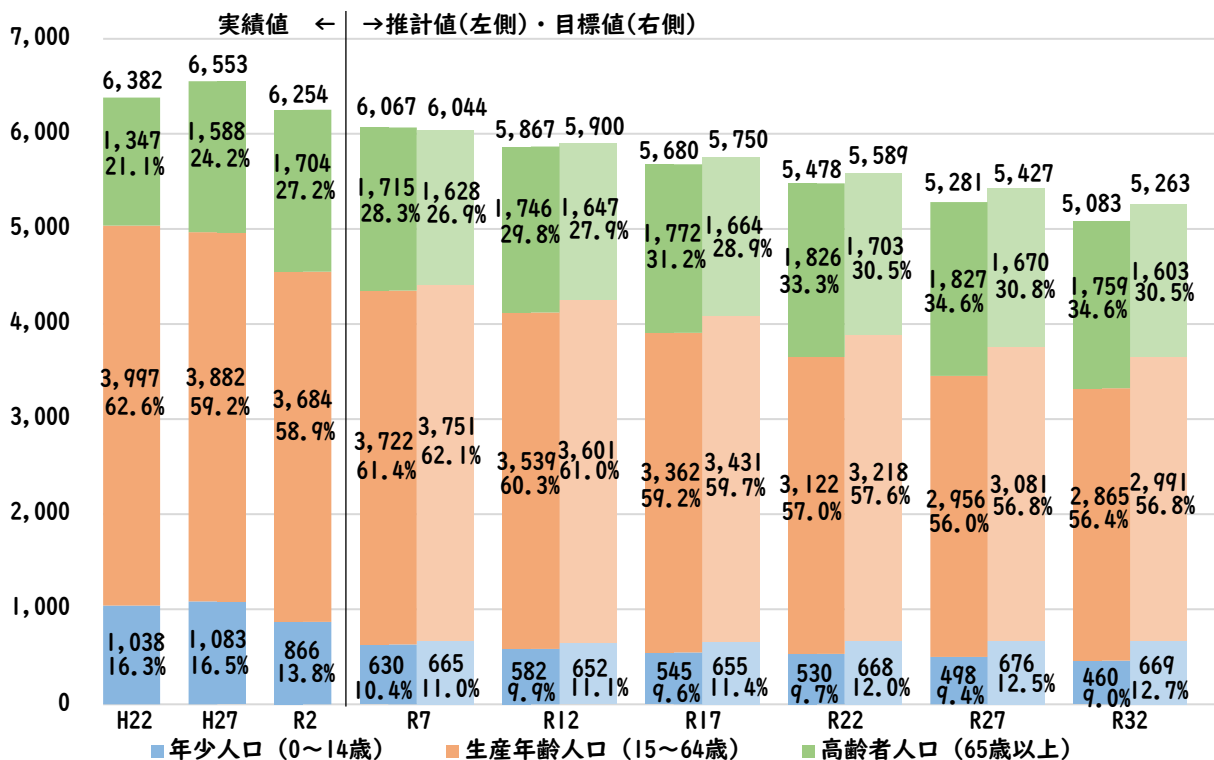
大塚地区は市の東端部に位置し、三河大塚駅を中心に市街地が形成されています。地区北部には自然豊かな里山が残されており、キャンプやハイキングなどのレクリエーションの場としても活用されています。地区南部の臨海部には、ラグナシア、フェスティバルマーケット、マリーナ、ヨットハーバーなど、県内有数の観光施設が立地しています。

人口は6,254人と7地区中2番目に少なく、市全体の約7.9%を占めています。

#### (2) 人口の推移と見込

- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、地区内の人口は、令和2(2020)年の6,254人が令和32(2050)年には5,083人と、約19%減少する見込みです。
- ・年少人口は、令和2(2020)年の866人(13.8%)が令和32(2050)年には460人(9.0%)となる見込みです。市全体の動向よりも早いペースで年少人口の減少が進む見込みです。

図 4-3 人口の推移・将来人口の見込（大塚地区）



※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。  
 ※令和7(2025)年以降のデータについては、推計値(左側)と目標値(右側)を併記しています。  
 ※推計値は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所が令和2(2020)年国勢調査をもとに令和5(2023)年12月に公表)をもとに作成しています。  
 ※目標値は「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」(平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定)をもとに作成しています。  
 ※実績値には海陽学園の生徒等が含まれています。推計値と目標値は、海陽学園の生徒等を含んだ実績値をもとに作成しています。

出所：国勢調査、日本の地域別将来推計人口、蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

### (3) 公共施設の配置状況

・合計 33,984 m<sup>2</sup>の公共施設が整備されており、海岸から東海道本線にかけての沿岸部に多くの施設が立地しています。

図 4-4 公共施設の配置状況（大塚地区）



※小規模な施設は配置図に示していません。

#### (4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・大塚公民館、養護老人ホーム、一般廃棄物最終処分場、市営丸山住宅、市営大塚住宅の老朽化が進行しています。
- ・地区内の小学校、中学校、保育園、公民館はいずれも避難所に指定されています。

図 4-5 公共施設一覧（大塚地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度	老朽化度	避難所指定			災害の危険区域				
							指定	指定緊急	地域	津波浸水	高潮浸水	河川浸水	雨水浸水	土砂災害
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,405	S31	2.5	○	○	—	—	—	—	—	—
		中学校	大塚中学校	7,443	S32	2.7	○	○	—	—	—	—	—	—
	児童福祉施設	保育園	大塚保育園	684	S45	2.4	○	—	—	—	—	—	—	—
			大塚西保育園	530	S47	2.4	○	—	—	—	—	—	—	—
	公民館等施設	公民館	大塚公民館	742	S47	3.0	—	—	○	—	—	—	—	警戒
			公園	橘丘里山緑地	15	H22	対象外	—	—	—	—	—	—	—
	運動・公園施設	児童遊園地等	東大塚児童遊園地	2	S57	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
			産子山児童遊び場	2	S57	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
			スポーツ施設等	海陽さくらパーク	90	H8	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~0.3
	全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	500	S49	2.9	—	—	—	—	—	—	—
犬ログラウンド				3	S60	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
海陽多目的広場				154	H27	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~3.0	—
保健・福祉施設		福祉センター等	養護老人ホーム	1,070	S45	3.1	—	—	—	—	—	—	—	—
			老人福祉センター寿楽荘	1,610	S49	2.4	—	—	—	—	—	—	—	警戒
衛生施設		ごみ処理施設等	一般廃棄物最終処分場	918	H12	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—
			公営住宅施設	公営住宅	市営丸山住宅	6,951	H9	3.0	—	—	—	—	—	—
市営大塚住宅		5,231			S48	3.1	—	—	—	—	~0.5	—	—	—
消防・防災施設		消防団器具庫等	消防団1-1器具庫	60	H3	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
			消防団1-2器具庫	85	H23	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
	消防団1-3器具庫		60	S63	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
	防災資機材庫等	大塚水防倉庫	40	S50	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
		大塚小大震災対策用器具格納庫	7	S57	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他施設	駅周辺施設	大塚駅第1自転車駐車場	145	S57	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
		三河大塚駅前公衆便所	32	H17	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	市営共同艇庫	1,712	H27	1.8	—	—	—	—	~3.0	—	—	—	

データ掲載上の条件（他の地区についても同様です。）

- ・建築物がない施設や、臨時・不使用施設は掲載していません。
- ・複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。
- ・老朽化度は、倉庫や公衆便所などを除く施設において、床面積 50 m<sup>2</sup>以上の建物を対象に算出しています。
- ・避難所指定のうち、「指定」は指定避難所（被災者が避難生活をする場所）、「指定緊急」は指定緊急避難場所（地震の際の一時避難場所）、「地域」は地域避難所（風水害の際の一時避難場所）を指します。
- ・災害の危険区域については、施設の敷地にかかっている最大のものを表示しています。
- ・災害の危険区域のうち「津波浸水」は、津波災害警戒区域における基準水位（「~0.3」は~0.3m、「~1.0」は0.3~1.0m、「~2.0」は1.0~2.0m）を示しています。
- ・災害の危険区域のうち「高潮浸水」は、高潮浸水想定区域における最大浸水深（「~0.5」は~0.5m、「~3.0」は0.5~3.0m、「~5.0」は3.0~5.0m）を示しています。
- ・災害の危険区域のうち「河川浸水」は、対象河川（本市では紫川、西田川（力川）、落合川、拾石川が対象）が氾濫した場合の洪水浸水想定区域における想定水深（「~0.3」は~0.3m、「~0.5」は0.3~0.5m、「~1.0」は0.5~1.0m、「~3.0」は1.0~3.0m）を示しています。
- ・災害の危険区域のうち「雨水浸水」は、雨水出水浸水想定区域における想定水深（「~0.3」は~0.3m、「~0.5」は0.3~0.5m、「~1.0」は0.5~1.0m、「~3.0」は1.0~3.0m）を示しています。
- ・災害の危険区域のうち「土砂災害」は、土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を示しています。
- ・老朽化度 3.0 以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では大塚公民館において、会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率が15%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では3つのスポーツ施設等において、施設の貸出しを行っています。このうち、犬ログラウンドの貸部屋等利用率は10%を下回っています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約2.59億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約41.4千円となっています。

図 4-6 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（大塚地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	大塚公民館	集会室、会議室、小会議室、和室、控室、調理室
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	キャンプサイト
			犬ログラウンド	グラウンド
			海陽多目的広場	多目的広場

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	大塚公民館	14.7						
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	20.4						
			犬ログラウンド	7.6						
			海陽多目的広場	64.4						

※貸部屋等利用率の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※さがらの森、犬ログラウンド、海陽多目的広場は、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンド等です。

図 4-7 公共施設の利用状況の把握（大塚地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	延床面積(㎡)	利用者数			平均園児・児童・生徒数(人)	平均入居率(%)	貸部屋等利用率(%)
					5年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/㎡・日)			
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,405	—	—	—	262	—	—
		中学校	大塚中学校	7,443	—	—	—	143	—	—
	児童福祉施設	保育園	大塚保育園	684	—	—	—	62	—	—
			大塚西保育園	530	—	—	—	19	—	—
	公民館等施設	公民館	おおつか児童館	486	11,952	41.4	0.107	—	—	—
			大塚公民館	742	17,117	65.3	0.088	—	—	14.7
	運動・公園施設	公園	橘丘里山緑地	15	—	—	—	—	—	—
			児童遊園地等	東大塚児童遊園地	2	—	—	—	—	—
産子山児童遊び場				2	—	—	—	—	—	—
スポーツ施設等	海陽さくらパーク	90	—	—	—	—	—	—		
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	500	3306	9.7	0.019	—	—	20.4
			犬ログラウンド	3	427	1.2	0.464	—	—	7.6
			海陽多目的広場	154	14,813	70.1	0.454	—	—	64.4
	保健・福祉施設	福祉センター等	養護老人ホーム	1,070	6,699	18.4	0.017	—	70.6	—
			老人福祉センター寿楽荘	1,610	20,353	93.9	0.058	—	—	—
	衛生施設	ごみ処理施設等	一般廃棄物最終処分場	918	—	—	—	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営丸山住宅	6,951	—	—	—	—	91.3	—
			市営大塚住宅	5,231	—	—	—	—	90.6	—
	消防・防災施設	消防団器具庫等	消防団1-1器具庫	60	—	—	—	—	—	—
			消防団1-2器具庫	85	—	—	—	—	—	—
			消防団1-3器具庫	60	—	—	—	—	—	—
		防災資機材庫等	大塚水防倉庫	40	—	—	—	—	—	—
			大塚小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
	大塚西保育園大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—		
	その他施設	駅周辺施設	大塚駅第1自転車駐車場	145	—	—	—	—	—	—
三河大塚駅前公衆便所			32	—	—	—	—	—	—	
その他		市営共同艇庫	1,712	—	—	—	—	—	—	

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※さがらの森、犬ログラウンド、海陽多目的広場の利用者数は、グラウンド等のデータです。

図 4-8 公共施設のコスト状況の把握（大塚地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,405	39,828	6,385	7,646	0	85	53,774	9,949
		中学校	大塚中学校	7,443	42,448	6,929	7,093	0	85	56,384	7,576
	児童福祉施設	保育園	大塚保育園	684	6,715	4,482	68,744	0	3,415	76,526	111,953
			大塚西保育園	530	6,505	3,636	27,016	0	673	36,484	68,885
		児童館	おおつか児童館	486	3,383	5,684	7,900	0	120	16,847	34,637
	公民館等施設	公民館	大塚公民館	742	9,471	0	0	7,158	0	16,628	22,400
	運動・公園施設	公園	橘丘里山緑地	15	71	0	0	0	0	71	4,584
			東大塚児童遊園地	2	509	0	0	0	0	509	219,397
			産子山児童遊園地	2	110	0	0	0	0	110	47,241
			スポーツ施設等	海陽さくらパーク	90	1,889	0	0	0	0	1,889
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	さがらの森	500	3,301	0	0	0	0	3,301	6,598
			犬ログラウンド	3	54	0	0	730	5	779	295,000
			海陽多目的広場	154	20,005	0	0	0	847	19,158	124,161
	保健・福祉施設	福祉センター等	養護老人ホーム	1,070	5,426	0	0	77,825	10,394	72,857	68,083
			老人福祉センター寿楽荘	1,610	13,504	17	0	53,854	41	67,334	41,821
	衛生施設	ごみ処理施設等	一般廃棄物最終処分場	918	32,550	570	1,950	0	0	35,070	38,219
	公営住宅施設	公営住宅	市営丸山住宅	6,951	19,580	0	1,706	0	26,133	-4,847	-679
			市営大塚住宅	5,231	29,508	0	1,706	0	15,089	16,124	3,083
	消防・防災施設	消防団器具庫等	消防団1-1器具庫	60	15	0	0	0	0	15	255
			消防団1-2器具庫	85	106	0	0	0	0	106	1,252
消防団1-3器具庫			60	29	0	0	0	0	29	481	
防災資機材庫等		大塚水防倉庫	40	3	0	0	0	0	3	75	
	大塚小大震火災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0		
	大塚西保育園大震火災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0		
その他施設	駅周辺施設	大塚駅第1自転車駐車場	145	768	0	0	0	0	768	5,294	
		三河大塚駅前公衆便所	32	1,162	0	0	0	0	1,162	36,883	
	その他	市営共同艇庫	1,712	566	55	0	0	7,210	-6,589	-3,849	

※コスト状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

#### 4-4 三谷地区の現状

##### (1) 地区の特色

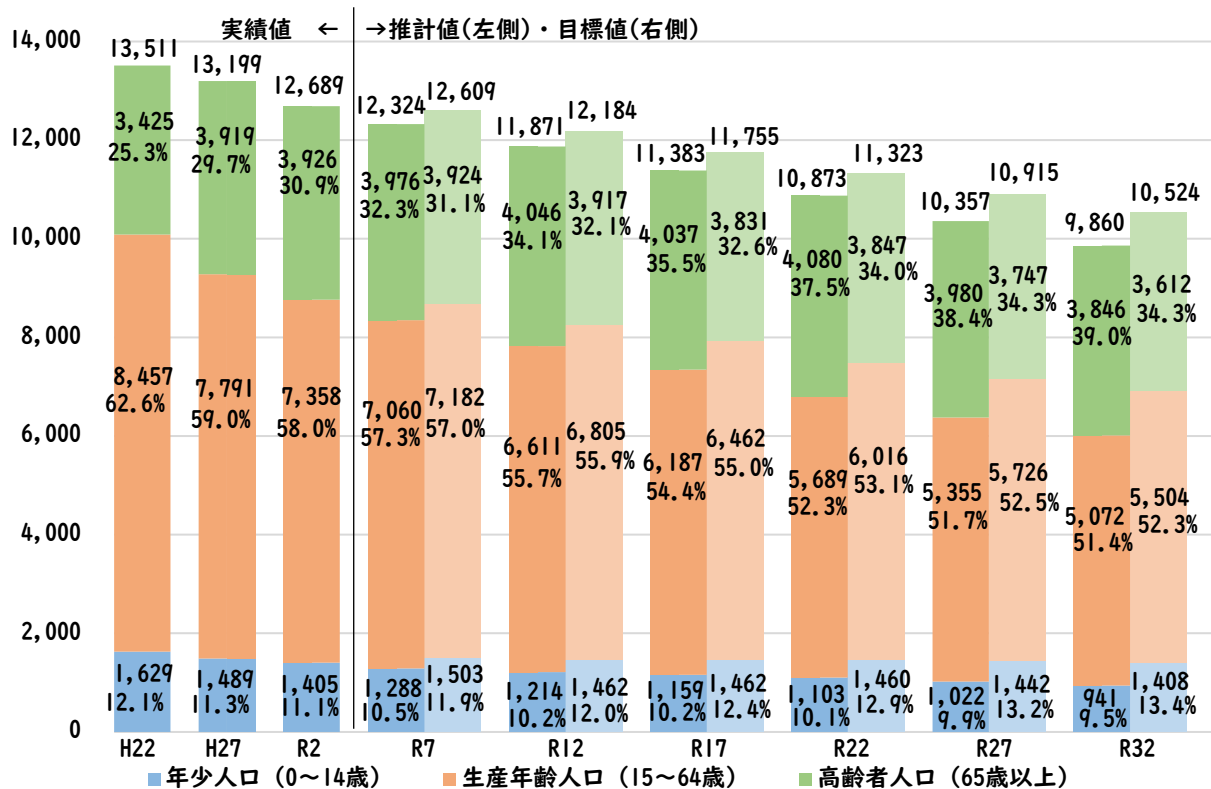
三谷地区は市の中東部に位置し、三河三谷駅を中心に西に隣接する蒲郡南地区と連続した市街地を形成しています。市街地の多くは住宅地ですが、東に隣接する大塚地区との間には山林が広がっています。地区南部の海岸沿いには三谷温泉が立地しており、また夏季は海水浴場が開設される三河大島は三谷地区に属しており、観光地としての機能も有しています。

人口は12,689人と7地区中3番目で、市全体の約16.0%を占めています。

##### (2) 人口の推移と見込

- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、地区内の人口は、令和2(2020)年の12,689人が令和32(2050)年には9,860人と、約22%減少する見込みです。
- ・年少人口は、令和2(2020)年の1,405人(11.1%)が令和32(2050)年には941人(9.5%)となる見込みです。市全体の動向とほぼ同じように年少人口の減少が進む見込みです。

図 4-9 人口の推移・将来人口の見込 (三谷地区)

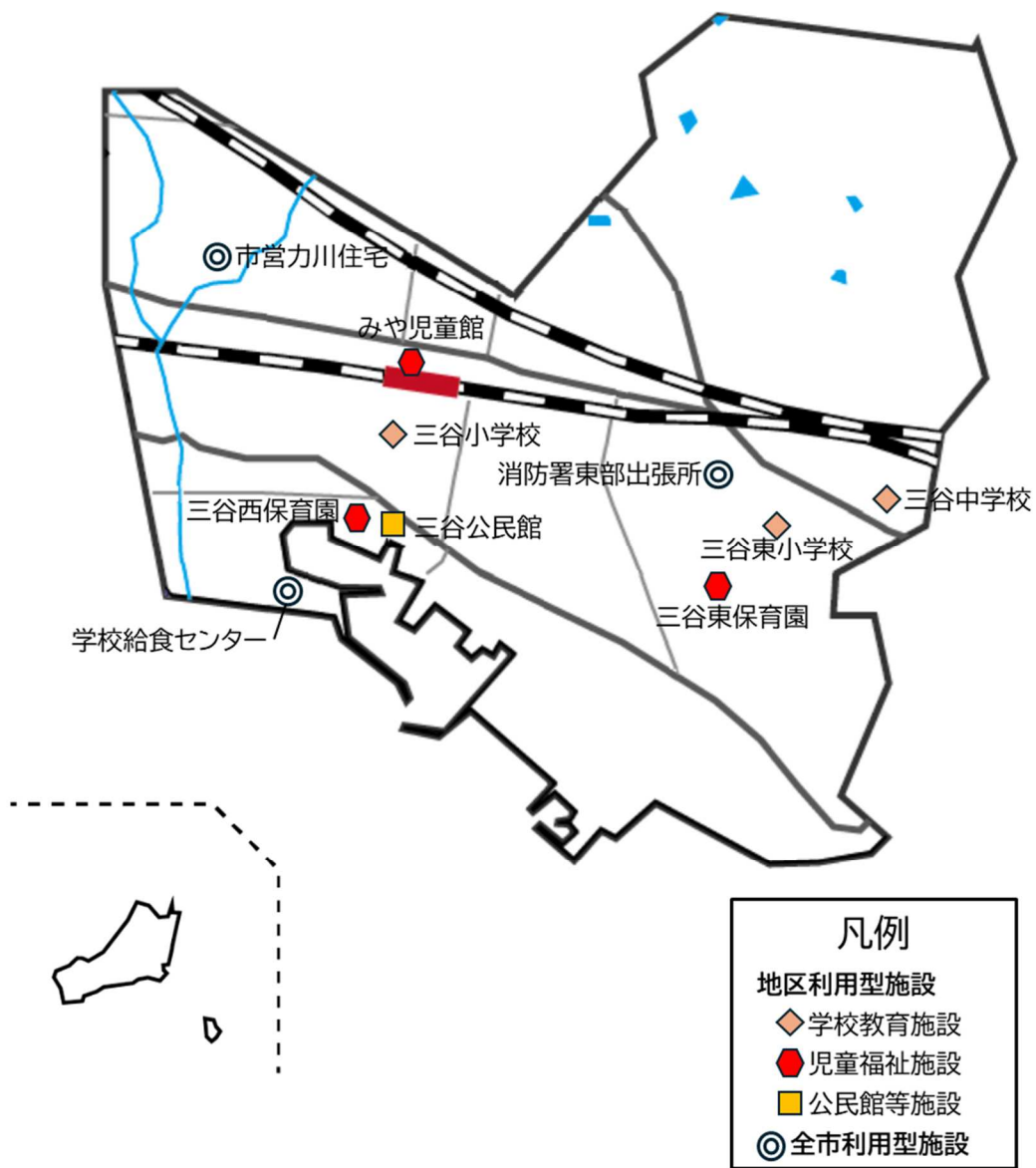


※実績値は各年の国勢調査の結果(年齢不詳按分済)をもとに作成しています。  
 ※令和7(2025)年以降のデータについては、推計値(左側)と目標値(右側)を併記しています。  
 ※推計値は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所が令和2(2020)年国勢調査をもとに令和5(2023)年12月に公表)をもとに作成しています。  
 ※目標値は「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」(平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定)をもとに作成しています。  
 出所：国勢調査、日本の地域別将来推計人口、蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

### (3) 公共施設の配置状況

・合計 32,453 ㎡の公共施設が整備されており、三河三谷駅周辺や東海道本線の沿線を中心に公共施設が立地しています。

図 4-10 公共施設の配置状況（三谷地区）



※小規模な施設は配置図に示していません。

#### (4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・三谷公民館、市営力川住宅の老朽化が進行しています。
- ・三谷小学校、三谷東小学校、三谷中学校、三谷東保育園、みや児童館は避難所に指定されています。
- ・三谷西保育園、三谷公民館、学校給食センターは津波の浸水が想定される区域に位置しています。
- ・三谷東小学校、三谷中学校の敷地には、土砂災害特別警戒区域に指定されている部分があります。

図 4-11 公共施設一覧（三谷地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域				
							指定	指定 緊急	地域	津波 浸水	高潮 浸水	河川 浸水	雨水 浸水	土砂 災害
地区 利用 型 施設	学校教育施設	小学校	三谷小学校	6,147	S32	2.4	○	○	○	—	~3.0	—	—	—
			三谷東小学校	6,765	S32	2.7	○	○	—	—	—	—	—	特別
		中学校	三谷中学校	8,032	S47	2.9	○	○	—	—	—	—	—	特別
	児童福祉施設	保育園	三谷東保育園	1,229	S48	2.2	○	—	—	—	—	—	—	—
			三谷西保育園	1,002	S46	2.4	—	—	—	~1.0	~5.0	~1.0	~0.5	—
	児童館	みや児童館	490	H8	2.1	—	—	○	—	—	—	—	—	—
	公民館等施設	公民館	三谷公民館	1,951	S46	3.3	—	—	—	~1.0	~5.0	~3.0	~0.5	—
	運動・公園施設	公園	若宮公園	146	S43	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~0.5	警戒
			星越公園	6	S59	対象外	—	○	—	—	—	—	—	警戒
			須田公園	9	S43	対象外	—	○	—	—	~3.0	~1.0	~0.5	—
			向山公園	17	S45	対象外	—	○	—	—	—	~0.5	—	—
			矢田公園	9	S43	対象外	—	○	—	—	—	—	~0.3	—
			弥生公園	10	S34	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—
			天伯公園	10	S46	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—
寺戸公園			19	S46	対象外	—	○	—	—	—	—	~0.5	—	
丸戸公園			6	S59	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—	
半ノ木公園			10	S51	対象外	—	○	—	—	—	~1.0	—	—	
西田川公園			20	S62	対象外	—	○	—	—	—	~3.0	~0.3	—	
児童遊園地等	黒別当児童遊園地	2	S46	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—		
	みどりヶ丘児童遊び場	2	S45	対象外	—	—	—	~0.3	~3.0	~1.0	~1.0	—		
運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	25	S40	対象外	—	—	—	~0.3	~3.0	~1.0	~0.3	—	
学校教育施設	その他(学校給食)	学校給食センター	3,692	H16	2.7	—	—	—	~1.0	~3.0	~0.5	~0.3	—	
公営住宅施設	公営住宅	市営力川住宅	589	S49	3.3	—	—	—	—	—	—	—	—	
観光施設	観光施設	三谷温泉園地	246	S56	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	—	警戒	
		三河大島海水浴場	152	S61	対象外	—	—	—	~1.0	—	—	—	警戒	
		七舗公衆便所	20	H30	対象外	—	—	—	—	~0.5	—	—	—	
		砥神山エコトイレ	11	H22	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
消防・防災施設	消防署	消防署東部出張所	439	S44	2.5	—	—	—	—	—	—	~0.5	—	
		消防団器具庫等	消防団2-1器具庫	28	S59	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
			消防団2-2器具庫	57	H1	対象外	—	—	—	~1.0	~5.0	~1.0	~0.5	—
	防災資機材庫等	消防団2-3器具庫	41	H8	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
		三谷防災倉庫	110	S56	対象外	—	—	—	—	—	—	—	警戒	
		三谷西防災倉庫	23	S57	対象外	—	—	—	~1.0	~5.0	~3.0	~1.0	—	
		三谷大震災火災対策用器具格納庫	7	S57	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
		三谷小大震災火災対策用器具格納庫	7	S61	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
三谷中大震災火災対策用器具格納庫	7	H3	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—			
三谷秋葉神社大震災火災対策用器具格納庫	6	H8	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—			
その他施設	駅周辺施設	三谷駅北自転車駐車場	594	H8	対象外	—	—	—	—	—	—	~0.5	—	
		三谷駅南公共駐車場	2	H8	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	

※データ掲載上の条件は 87 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では三谷公民館において、会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は10%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では三谷グラウンドにおいて、グラウンドの貸出しを行っています。貸部屋等利用率は20%を下回っています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約4.77億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約37.6千円となっています。

図 4-12 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（三谷地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	三谷公民館	大会議室、第1集会室、第2集会室、第3集会室、第4集会室、第5集会室、第6集会室、和室、調理室
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	グラウンドA、グラウンドB

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	三谷公民館	11.3						
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	18.0						

※貸部屋等利用率の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※三谷グラウンドは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンドです。

図 4-13 公共施設の利用状況の把握（三谷地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	延床面積(m <sup>2</sup> )	利用者数			平均園児・児童・生徒数(人)	平均入居率(%)	貸部屋等利用率(%)
					5年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m <sup>2</sup> ・日)			
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	三谷小学校	6,147	—	—	—	203	—	—
			三谷東小学校	6,765	—	—	—	280	—	—
		中学校	三谷中学校	8,032	—	—	—	276	—	—
	児童福祉施設	保育園	三谷東保育園	1,229	—	—	—	118	—	—
			三谷西保育園	1,002	—	—	—	82	—	—
	公民館等施設	児童館	みや児童館	490	16,556	57.5	0.117	—	—	—
			三谷公民館	1,951	12,537	47.2	0.025	—	—	11.3
	運動・公園施設	公園	若宮公園	146	—	—	—	—	—	—
			星越公園	6	—	—	—	—	—	—
			須田公園	9	—	—	—	—	—	—
			向山公園	17	—	—	—	—	—	—
			矢田公園	9	—	—	—	—	—	—
			弥生公園	10	—	—	—	—	—	—
			天伯公園	10	—	—	—	—	—	—
寺戸公園			19	—	—	—	—	—	—	
丸戸公園			6	—	—	—	—	—	—	
半ノ木公園			10	—	—	—	—	—	—	
児童遊園地等	黒別当児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—		
	みどりヶ丘児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—		
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	三谷グラウンド	25	5,619	16.1	0.636	—	—	18.0
	学校教育施設	その他(学校給食)	学校給食センター	3,692	1,375,407	5,664.8	1.534	—	—	—
	公営住宅施設	公営住宅	市営力川住宅	589	—	—	—	—	91.7	—
	観光施設	観光施設	三谷温泉園地	246	—	—	—	—	—	—
			三河大島海水浴場	152	7,084	297.7	1,960	—	—	—
			七舗公衆便所	20	—	—	—	—	—	—
			砥神山エコトイレ	11	—	—	—	—	—	—
			消防署	消防署東部出張所	439	—	—	—	—	—
	消防・防災施設	消防団器具庫等	消防団2-1器具庫	28	—	—	—	—	—	—
			消防団2-2器具庫	57	—	—	—	—	—	—
			消防団2-3器具庫	41	—	—	—	—	—	—
		防災資機材庫等	三谷防災倉庫	110	—	—	—	—	—	—
			三谷西防災倉庫	23	—	—	—	—	—	—
			三谷大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			三谷小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
	三谷中大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—		
	三谷秋葉神社大震災対策用器具格納庫	6	—	—	—	—	—	—		
その他施設	駅周辺施設	三谷駅北自転車駐車場	594	—	—	—	—	—	—	
		三谷駅南公共駐車場	2	—	—	—	—	—	—	

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※三谷グラウンドの利用者数は、グラウンドのデータです。  
 ※学校給食センターの利用者数は、配食数を示しています。

図 4-14 公共施設のコスト状況の把握（三谷地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	
					施設に係るコスト (千円)	事業運営に係るコスト (千円)	人に係るコスト (千円)	指定管理料 (千円)				
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	三谷小学校	6,147	35,654	6,420	7,646	0	85	49,636	8,074	
			三谷東小学校	6,765	41,501	7,149	7,646	0	85	56,212	8,310	
		中学校	三谷中学校	8,032	43,561	7,725	7,093	0	85	58,294	7,257	
	児童福祉施設	保育園	三谷東保育園	1,229	5,725	6,528	134,690	0	9,879	137,063	111,498	
			三谷西保育園	1,002	6,834	5,117	114,829	0	7,437	119,343	119,072	
		児童館	みや児童館	490	7,784	5,644	4,860	0	0	18,288	37,350	
	公民館等施設	公民館	三谷公民館	1,951	4,593	0	0	12,616	1,178	16,031	8,217	
	運動・公園施設	公園	若宮公園	146	2,693	0	0	6,470	0	9,163	62,779	
			星越公園	6	396	0	0	0	0	396	68,310	
			須田公園	9	3,068	0	0	0	0	3,068	340,933	
			向山公園	17	4,996	0	0	0	0	4,996	290,128	
			矢田公園	9	305	0	0	0	0	305	33,844	
			弥生公園	10	332	0	0	0	0	332	32,911	
			天伯公園	10	412	0	0	0	0	412	43,235	
			寺戸公園	19	773	0	0	0	0	773	40,397	
			丸戸公園	6	623	0	0	0	0	623	107,414	
			半ノ木公園	10	300	0	0	0	0	300	31,471	
			西田川公園	20	1,876	0	0	0	0	1,876	95,588	
			児童遊園地等	黒別当児童遊園地	2	96	0	0	0	0	96	41,207
				みどりヶ丘児童遊び場	2	101	0	0	0	0	101	43,362
運動・公園施設			スポーツ施設等	三谷グラウンド	25	104	0	0	1,864	186	1,782	70,336
学校教育施設	その他(学校給食)	学校給食センター	3,692	122,765	567,811	19,160	0	223,693	486,043	131,644		
公営住宅施設	公営住宅	市営カ川住宅	589	3,517	0	1,706	0	1,693	3,530	5,998		
観光施設	観光施設	三谷温泉園地	246	873	0	0	0	0	873	3,555		
		三河大島海水浴場	152	12,166	0	0	0	287	11,879	78,210		
		七舗公衆便所	20	216	0	0	0	0	216	10,608		
		砥神山エコトイレ	11	0	0	0	0	0	0	0		
消防・防災施設	消防署	消防署東部出張所	439	1,814	0	78,000	0	0	79,814	181,614		
		消防団器具庫等	消防団2-1器具庫	28	12	0	0	0	0	12	450	
			消防団2-2器具庫	57	27	0	0	0	0	27	465	
	消防団2-3器具庫		41	5	0	0	0	8	-3	-73		
	防災資機材庫等	三谷防災倉庫	110	6	0	0	0	0	6	58		
		三谷西防災倉庫	23	2	0	0	0	10	-8	-353		
		三谷大震災火災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0		
		三谷小大震災火災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0		
	その他施設	駅周辺施設	三谷駅北自転車駐車場	594	487	0	0	0	1	486	819	
			三谷駅南公共駐車場	2	2,901	0	0	0	0	2,901	1,343,241	

※コスト状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

※三谷西防災倉庫は令和5（2023）年度に供用開始したため、令和6（2024）年度の数値を掲載しています。

## 4-5 蒲郡南地区の現状

### (1) 地区の特色

蒲郡南地区は市の中南部に位置し、市の玄関口である蒲郡駅を含む地区です。地区北部は農地や山林が広がり、自然豊かな環境が広がっています。地区南部の海岸沿いには竹島や水族館、文学記念館などの観光地や観光施設が集中しており、本市の観光の中心地となっています。

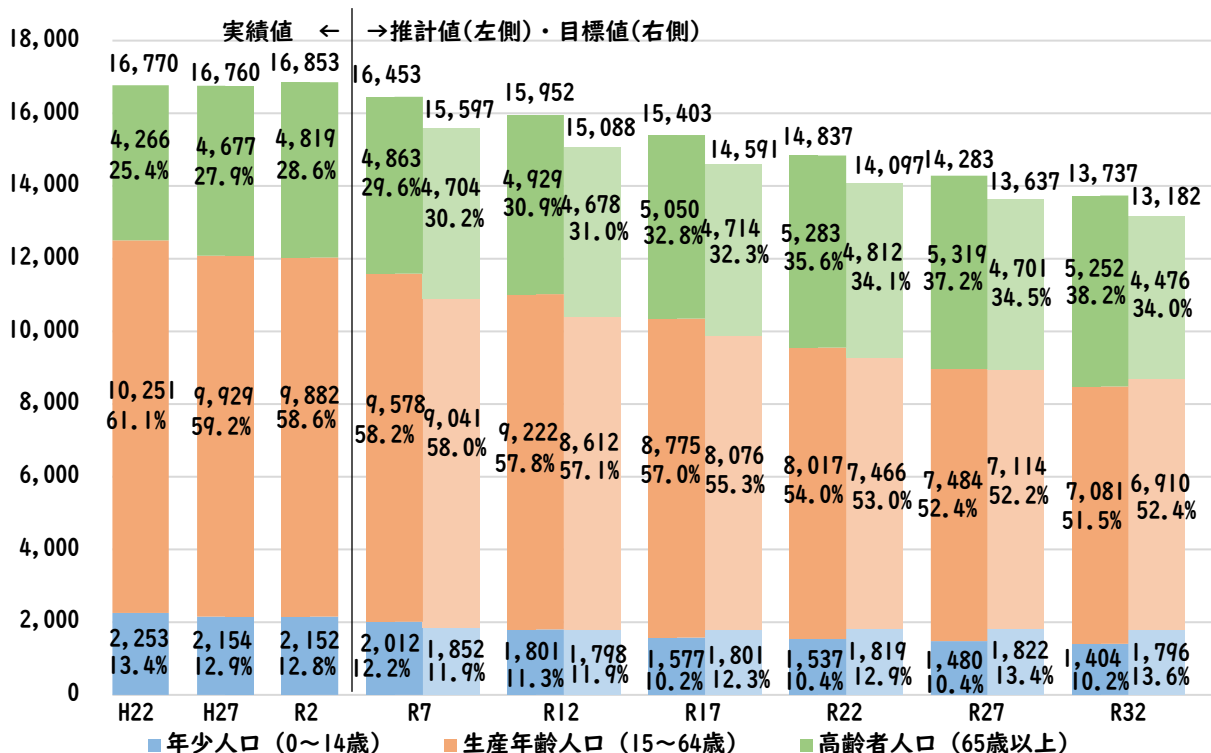
また、蒲郡市都市計画マスタープランにおいては、蒲郡駅周辺を中心拠点として位置付け、基幹的な都市機能の集積を図ることを目指しています。

人口は16,853人と7地区の中で最も多く、市全体の約21.2%を占めています。

### (2) 人口の推移と見込

- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、地区内の人口は、令和2(2020)年の16,853人が令和32(2050)年には13,737人と、約18%減少する見込みです。
- ・年少人口は、令和2(2020)年の2,152人(12.8%)が令和32(2050)年には1,404人(10.2%)となる見込みです。市全体よりは年少人口の割合が多い傾向が続きますが、今後30年間で年少人口は約35%減少する見込みです。

図 4-15 人口の推移・将来人口の見込（蒲郡南地区）



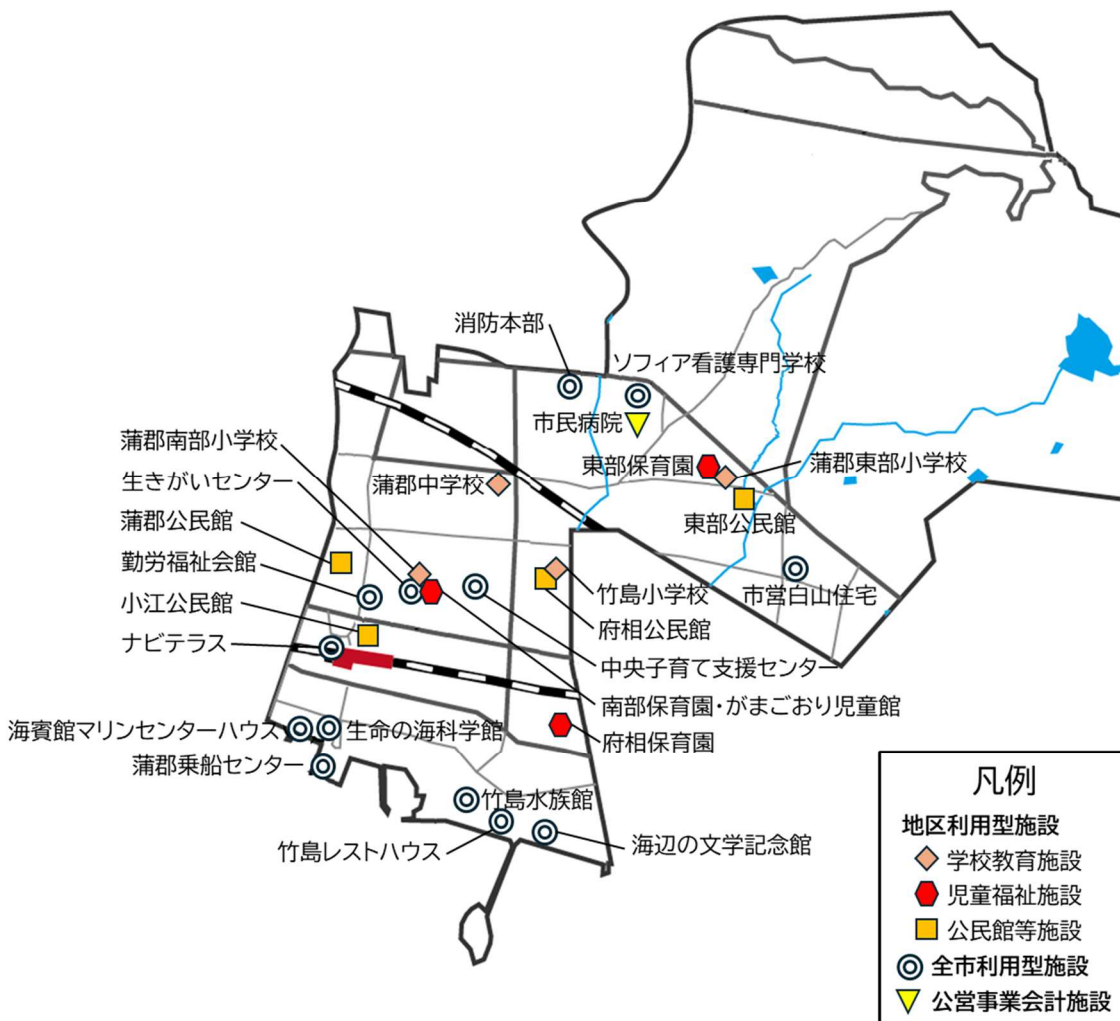
※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。  
 ※令和7(2025)年以降のデータについては、推計値(左側)と目標値(右側)を併記しています。  
 ※推計値は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」（国立社会保障・人口問題研究所が令和2(2020)年国勢調査をもとに令和5(2023)年12月に公表）をもとに作成しています。  
 ※目標値は「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定）をもとに作成しています。

出所：国勢調査、日本の地域別将来推計人口、蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

### (3) 公共施設の配置状況

- ・合計 61,671 m<sup>2</sup>の公共施設が整備されています。地区南部の平地部は蒲郡市の中心部に位置していることから、観光施設や公民館、保育園、小中学校などの多くの施設が集まっています。
- ・地区利用型施設の保有面積は7地区の中で最も多くなっています。

図 4-16 公共施設の配置状況（蒲郡南地区）



※小規模な施設は配置図に示していません。

(4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・小江公民館、生命の海科学館、勤労福祉会館、市営白山住宅、竹島水族館、竹島レストハウス、蒲郡乗船センターの老朽化が進行しています。
- ・蒲郡南部小学校、蒲郡東部小学校、竹島小学校、蒲郡中学校、東部保育園、南部保育園、蒲郡公民館、小江公民館、東部公民館、勤労福祉会館は避難所に指定されています。
- ・生命の海科学館、海賓館マリンセンターハウス、蒲郡乗船センターは津波の浸水が想定される区域に位置しています。

図 4-17 公共施設一覧（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度	老朽化度	避難所指定			災害の危険区域				
							指定	指定緊急	地域	津波浸水	高潮浸水	河川浸水	雨水浸水	土砂災害
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	蒲郡南部小学校	6,952	S24	1.8	○	○	—	—	—	—	—	—
			蒲郡東部小学校	5,231	S41	1.9	○	○	—	—	—	—	—	—
			竹島小学校	6,055	S48	1.4	○	○	—	—	—	~1.0	~0.3	—
		中学校	蒲郡中学校	9,391	S35	1.9	○	○	—	—	—	—	—	—
	児童福祉施設	保育園	東部保育園	812	S44	2.3	○	—	—	—	—	—	—	—
			府相保育園	1,112	S45	2.3	—	—	—	—	~5.0	~3.0	~1.0	—
			南部保育園	1,088	H23	1.9	○	—	—	—	—	—	—	—
	児童館	がまごおり児童館	591	H23	1.9	—	—	—	—	—	—	—	—	
	公民館等施設	公民館	蒲郡公民館	806	H25	2.0	—	—	○	—	—	—	—	—
			小江公民館	677	S50	3.8	—	—	○	—	—	—	—	—
			府相公民館	595	R1	1.4	—	—	—	—	—	~0.3	—	—
	運動・公園施設	公園	御馬公園	9	S55	対象外	—	○	—	—	~3.0	~1.0	—	—
			府相公園	5	H3	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—
			榎田公園	9	S56	対象外	—	○	—	—	~3.0	—	~0.3	—
			八百富公園	23	H3	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—
			本町公園	11	H23	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—
			新井公園	50	H6	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—
			五反田公園	8	H28	対象外	—	○	—	—	—	~1.0	—	—
			とよおか湖公園	42	H13	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
			児童遊園地等	豊岡児童遊園地	2	H5	対象外	—	—	—	—	—	~0.3	—
豊岡北児童遊園地				3	H8	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
平田児童遊園地		2		S50	対象外	—	—	—	—	—	~1.0	~1.0	—	
本町児童遊び場		3	S56	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—		
全市利用型施設		生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	3,297	H10	3.3	—	—	—	~1.0	~3.0	~1.0	~1.0
	学校教育施設	専門学校	ソフィア看護専門学校	4,418	H10	2.1	—	—	—	—	—	—	~0.3	—
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	3,174	S55	3.0	○	—	—	—	—	—	—	—
			生きがいセンター	2,176	H4	2.7	—	—	—	—	—	—	—	—
	中央子育て支援センター	199	H4	2.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	公営住宅施設	公営住宅	市営白山住宅	5,112	H2	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	観光施設	観光施設	ナビテラス	429	H24	1.3	—	—	—	—	~3.0	—	~0.3	—
			竹島水族館	1,996	S37	3.6	—	—	—	—	~3.0	—	~1.0	—
			海辺の文学記念館	358	S59	2.4	—	—	—	—	~3.0	—	—	警戒
			海賓館マリンセンターハウス	278	H8	2.9	—	—	—	~1.0	~3.0	—	—	—
			竹島レストハウス	128	S42	3.1	—	—	—	—	~3.0	—	—	—
			竹島園地	265	S54	対象外	—	—	—	~1.0	~3.0	—	~1.0	—
			水族館前円形公衆便所	46	S38	対象外	—	—	—	—	~3.0	~0.3	~1.0	—
			みなとオアシストイレ	26	H29	対象外	—	—	—	~1.0	~3.0	~0.3	~0.5	—
	竹島島内公衆便所	9	S53	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—		
	消防・防災施設	消防署	消防本部	5,061	H21	1.6	—	—	—	—	—	~0.5	~0.5	—
			消防団3-1器具庫	80	H13	対象外	—	—	—	—	~3.0	~1.0	~1.0	—
消防団器具庫等		消防団3-3器具庫	80	H7	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
		消防団4-1器具庫	60	H6	対象外	—	—	—	—	—	~0.3	—	—	
		消防団4-2器具庫	60	H2	対象外	—	—	—	—	—	—	~0.3	—	
		消防団4-3器具庫	22	R4	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
防災資機材庫等		蒲郡水防倉庫	86	H5	対象外	—	—	—	~1.0	~3.0	~0.5	~0.5	—	
		東部小大震災対策用器具格納庫	7	S58	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
	竹島小大震災対策用器具格納庫	7	S59	対象外	—	—	—	—	—	~1.0	~0.5	—		
	蒲郡中大震災対策用器具格納庫	7	S63	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—		
西田川大震災対策用器具格納庫	7	H3	対象外	—	—	—	—	—	~3.0	~3.0	—			
その他	その他	蒲郡駅前公共駐車場	5	H14	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~0.5	—	
		蒲郡乗船センター	185	H3	5.0	—	—	—	~2.0	~5.0	~1.0	~0.5	—	
府相町観光倉庫	20	S50	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

※データ掲載上の条件は 87 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では公民館で会議室等の貸出しを行っています。蒲郡公民館を除く公民館の貸部屋等利用率は20%程度となっています。
- ・全市利用型施設では、勤労福祉会館、生きがいセンターでホールや会議室等の貸出しを行っています。なお、生命の海科学館は令和6（2024）年度末で部屋等の貸出しを終了しており、それまでの貸部屋等利用率を掲載しています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約7.15億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約42.4千円となっています。

図 4-18 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途（大分類）	施設用途（小分類）	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	蒲郡公民館	多目的ホール1、多目的ホール2、多目的ホール3、研修室、和室（西）、和室（東）、調理室
			小江公民館	集会室、大会議室、会議室、小会議室、和室、料理実習室
			府相公民館	交流プラザ、ホール1、ホール2、会議室1、会議室2、会議室3、和室1、和室2、調理室、図工室
			東部公民館	研修室、大会議室、小会議室、南研修室、和室、料理室
全市利用型施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	メディアホール、情報研修室 ※令和6（2024）年度に貸出し終了
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	大研修室、小研修室、第2会議室、第3会議室、第4会議室、視聴覚室、談話室、和室
			生きがいセンター	ホール、201会議室、202会議室、301会議室、401会議室、402会議室

利用種別	施設用途（大分類）	施設用途（小分類）	施設名称	貸部屋等利用率（%）	貸部屋等利用率（%）				
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	蒲郡公民館	29.1					
			小江公民館	21.8					
			府相公民館	17.4					
			東部公民館	20.9					
全市利用型施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	14.9					
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	28.4					
			生きがいセンター	38.2					

※貸部屋等利用率の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※府相公民館の会議室2、会議室3、調理室、図工室は、隣接する竹島小学校の部屋を共用しており、利用率は公民館のみの利用状況をもとに算出しています。

図 4-19 公共施設の利用状況の把握（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	利用者数			平均園児・ 児童・生徒 数 (人)	平均 入居率 (%)	貸部屋等 利用率 (%)	
					5年平均 (人)	1日あたり 平均 (人/日)	面積あたり 1日あたり平均 (人/㎡・日)				
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	蒲郡南部小学校	6,952	—	—	—	371	—	—	
			蒲郡東部小学校	5,231	—	—	—	286	—	—	
			竹島小学校	6,055	—	—	—	333	—	—	
	児童福祉施設	中学校	蒲郡中学校	9,391	—	—	—	474	—	—	
			保育園	東部保育園	812	—	—	—	66	—	—
				府相保育園	1,112	—	—	—	111	—	—
	南部保育園	1,088		—	—	—	138	—	—		
	公民館等施設	児童館	がまごおり児童館	591	19,107	66.7	0.113	—	—	—	
			公民館	蒲郡公民館	806	11,713	44.7	0.055	—	—	29.1
				小江公民館	677	10,027	38.2	0.056	—	—	21.8
				府相公民館	595	17,264	65.9	0.111	—	—	17.4
	東部公民館	695		15,228	56.3	0.081	—	—	20.9		
	運動・公園施設	公園	御馬公園	9	—	—	—	—	—	—	
			府相公園	5	—	—	—	—	—	—	
			榎田公園	9	—	—	—	—	—	—	
			八百富公園	23	—	—	—	—	—	—	
			本町公園	11	—	—	—	—	—	—	
			新井公園	50	—	—	—	—	—	—	
五反田公園			8	—	—	—	—	—	—		
とよおか湖公園		42	—	—	—	—	—	—			
児童遊園地等		豊岡児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—		
		豊岡北児童遊園地	3	—	—	—	—	—	—		
	平田児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—			
		本町児童遊び場	3	—	—	—	—	—			
全市 利用型 施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	3,297	43,677	149.0	0.045	—	—	14.9	
	学校教育施設	専門学校	ソフィア看護専門学校	4,418	—	—	—	115	—	—	
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	3,174	—	—	—	—	—	28.4	
			生きがいセンター	2,176	16,782	53.5	0.025	—	—	38.2	
			中央子育て支援センター	99	7,515	31.4	0.317	—	—	—	
	公営住宅施設	公営住宅	市営白山住宅	5,112	—	—	—	—	87.8	—	
	観光施設	観光施設	ナビテラス	429	21,774	62.5	0.146	—	—	—	
			竹島水族館	1,996	286,067	934.2	0.468	—	—	—	
			海辺の文学記念館	358	19,665	56.3	0.157	—	—	—	
			海賓館マリンセンターハウス	278	10,908	34.9	0.126	—	—	—	
			竹島レストハウス	128	—	—	—	—	—	—	
			竹島園地	265	—	—	—	—	—	—	
			水族館前円形公衆便所	46	—	—	—	—	—	—	
			みなとオアシストイレ	26	—	—	—	—	—	—	
	竹島島内公衆便所	9	—	—	—	—	—	—			
	消防・防災施設	消防署	消防本部	5,061	—	—	—	—	—	—	
			消防団器具庫等	消防団3-1器具庫	80	—	—	—	—	—	—
				消防団3-3器具庫	80	—	—	—	—	—	—
消防団4-1器具庫		60		—	—	—	—	—	—		
防災資機材庫等		消防団4-2器具庫	60	—	—	—	—	—	—		
		消防団4-3器具庫	22	—	—	—	—	—	—		
		蒲郡水防倉庫	86	—	—	—	—	—	—		
		東部小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—		
その他	駅周辺施設	竹島小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—		
		蒲郡中大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—		
		西田川大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—		
その他	その他	蒲郡駅南公共駐車場	5	—	—	—	—	—	—		
		蒲郡乗船センター	185	—	—	—	—	—	—		
		府相町観光倉庫	20	—	—	—	—	—	—		

※利用状況の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

図 4-20 公共施設のコスト状況の把握（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)				
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	蒲郡南部小学校	6,952	50,640	7,641	7,646	0	84	65,842	9,471	
			蒲郡東部小学校	5,231	44,879	6,947	7,646	0	85	59,387	11,353	
			竹島小学校	6,055	44,904	7,516	7,646	0	85	59,981	9,906	
	児童福祉施設	保育園	東部保育園	812	10,591	4,315	68,262	0	3,046	80,122	98,675	
			府相保育園	1,112	8,125	6,227	117,568	0	10,092	121,827	109,526	
			南部保育園	1,088	10,341	8,962	143,681	0	15,104	147,880	135,897	
	公民館等施設	公民館	がまごおり児童館	591	3,051	6,652	9,740	0	0	19,444	32,901	
			蒲郡公民館	806	563	0	0	7,774	2	8,336	10,342	
			小江公民館	677	1,602	0	0	5,949	2	7,548	11,144	
			府相公民館	595	294	400	625	4,987	4	6,302	10,590	
	運動・公園施設	公園	東部公民館	695	4,629	0	0	5,725	1	10,353	14,886	
			御馬公園	9	314	0	0	0	0	314	36,073	
			府相公園	5	307	0	0	0	0	307	62,525	
			榎田公園	9	414	0	0	0	0	414	47,609	
			八百富公園	23	611	0	0	0	0	611	26,766	
			本町公園	11	385	0	0	0	0	385	34,968	
			新井公園	50	685	0	0	0	0	685	13,723	
		児童遊園地等	五反田公園	8	444	0	0	0	0	444	54,195	
			とよおか湖公園	42	142	0	0	6,470	0	6,612	158,938	
			豊岡児童遊園地	2	78	0	0	0	0	78	34,087	
			豊岡北児童遊園地	3	90	0	0	0	0	90	29,003	
			平田児童遊園地	2	216	0	0	0	0	216	128,810	
			本町児童遊び場	3	85	0	0	0	0	85	29,653	
	全市 利用型 施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	3,297	39,303	24,941	41,261	0	9,365	96,140	29,161
		学校教育施設	専門学校	ソフィア看護専門学校	4,418	50,288	20,905	119,560	0	19,765	170,987	38,706
		保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	3,174	23,277	0	0	27,380	338	50,319	15,852
				生きがいセンター	2,176	13,191	0	0	19,968	1,317	31,842	14,630
中央子育て支援センター				99	1,049	337	9,018	0	0	10,405	105,101	
公営住宅施設		公営住宅	市営白山住宅	5,112	8,194	0	1,706	0	19,628	-9,728	-1,903	
観光施設		観光施設	ナビテラス	429	6,416	0	0	0	202	6,214	14,470	
			竹島水族館	1,996	7,572	0	0	8,800	29	16,342	8,186	
			海辺の文学記念館	358	1,134	0	0	7,460	4	8,590	23,986	
			海賓館マリンセンターハウス	278	4,033	0	0	0	3,784	249	896	
			竹島レストハウス	128	102	0	0	0	231	-129	-1,005	
			竹島園地	265	596	0	0	2,705	15,454	-12,153	-45,792	
			水族館前円形公衆便所	46	306	0	0	0	0	306	6,608	
			みなとオアシストイレ	26	899	0	0	0	0	899	34,371	
			竹島島内公衆便所	9	71	0	0	0	0	71	7,591	
消防・防災施設		消防署	消防本部	5,061	82,241	0	445,680	0	0	527,921	104,304	
			消防団器具庫等	消防団3-1器具庫	80	53	0	0	0	0	53	665
				消防団3-3器具庫	80	55	0	0	0	0	55	685
				消防団4-1器具庫	60	49	0	0	0	0	49	810
				消防団4-2器具庫	60	44	0	0	0	0	44	721
		防災資機材庫等	消防団4-3器具庫	22	813	0	0	0	0	813	37,005	
			蒲郡水防倉庫	86	8	0	0	0	0	8	98	
			東部小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0	
			竹島小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0	
			蒲郡中大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0	
その他		その他	西田川大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0	
			駅周辺施設	蒲郡駅南公共駐車場	5	3,853	0	0	0	0	3,853	826,781
	蒲郡乗船センター		185	117	0	0	0	0	108	586		
府相町観光倉庫	20	3	0	0	0	0	3	171				

※コスト状況の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

## 4-6 蒲郡北地区の現状

### (1) 地区の特色

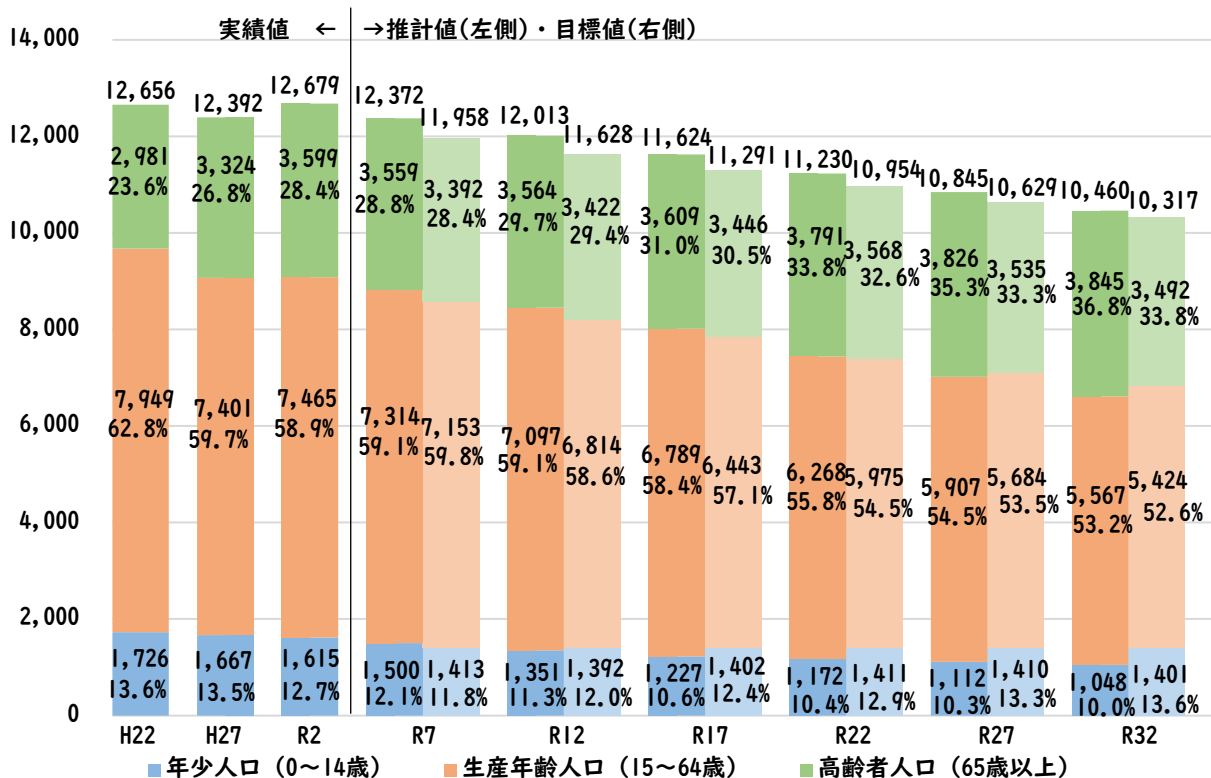
蒲郡北地区は市の中北部に位置し、東に隣接する蒲郡南地区と連続した市街地を形成しています。地区南部には市役所や市民会館、図書館、市民体育センターなど、本市の基幹的な都市機能が集中しています。地区北部は農地や山林が広がり、豊かな自然環境が特色となっています。さらに、令和7（2025）年3月に全線開通した国道23号蒲郡バイパスのインターチェンジが所在しており、自動車交通の利便性が高い地区です。

人口は12,679人と7地区の中で4番目に多く、市全体の約15.9%を占めています。

### (2) 人口の推移と見込

- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、地区内の人口は、令和2（2020）年の12,679人が令和32（2050）年には10,460人と、約18%減少する見込みです。
- ・年少人口は、令和2（2020）年の1,615人（12.7%）が令和32（2050）年には1,048人（10.0%）となる見込みです。市全体よりは年少人口の割合が多い傾向が続きますが、今後30年間で年少人口は約35%減少する見込みです。

図 4-21 人口の推移・将来人口の見込（蒲郡北地区）



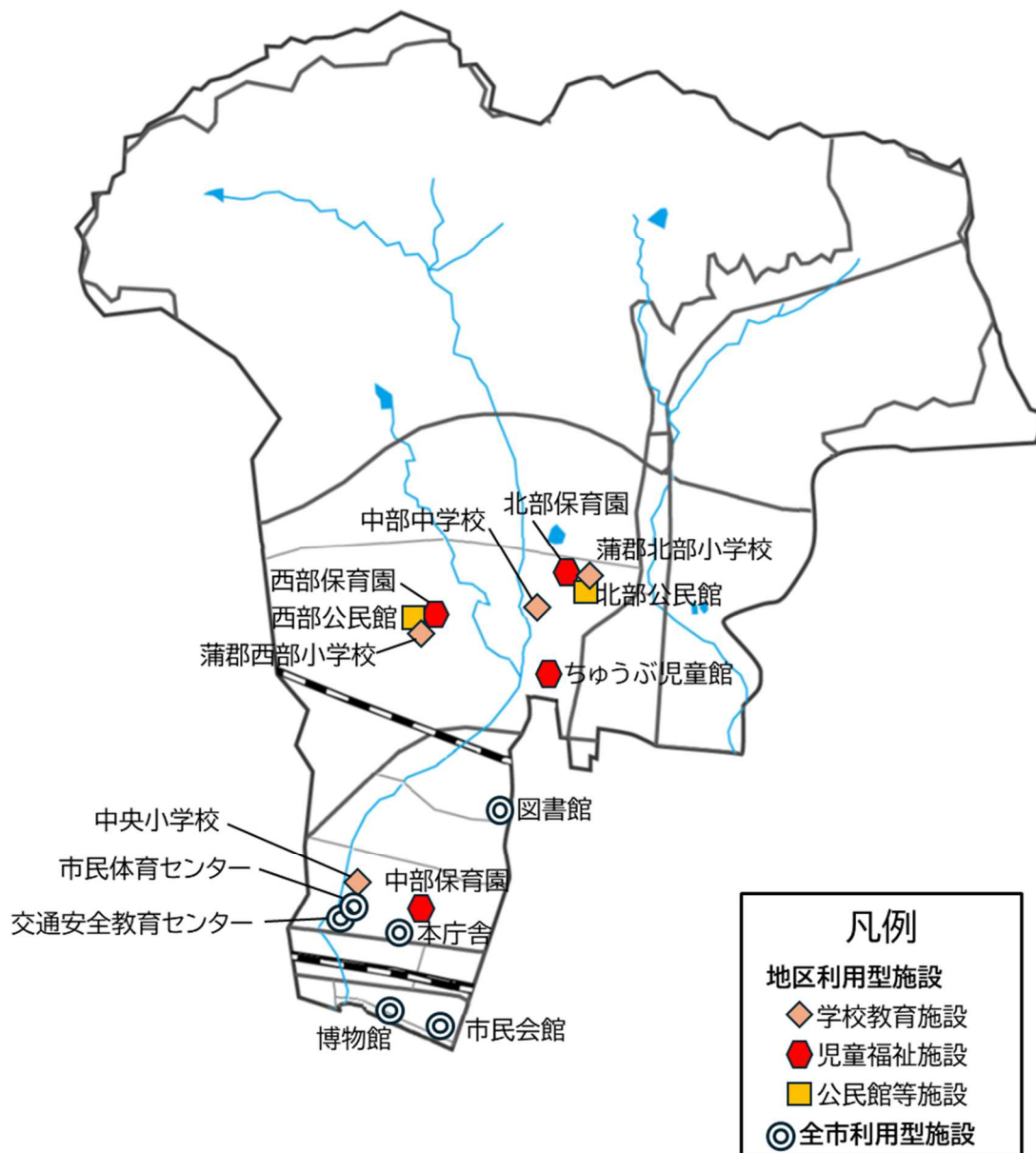
※実績値は各年の国勢調査の結果（年齢不詳按分済）をもとに作成しています。  
 ※令和7（2025）年以降のデータについては、推計値（左側）と目標値（右側）を併記しています。  
 ※推計値は「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所が令和2（2020）年国勢調査をもとに令和5（2023）年12月に公表）をもとに作成しています。  
 ※目標値は「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（平成22（2010）年国勢調査をもとに平成28（2016）年3月に策定）をもとに作成しています。

出所：国勢調査、日本の地域別将来推計人口、蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

### (3) 公共施設の配置状況

- ・合計 76,475 m<sup>2</sup>の公共施設が整備されており、市役所や市民会館など大型の公共施設が集まっています。
- ・全市利用型施設の保有面積は7地区の中で最も多くなっています。

図 4-22 公共施設の配置状況（蒲郡北地区）



※小規模な施設は配置図に示しておりません。

#### (4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・蒲郡西部小学校、北部公民館、西部公民館、市民会館、交通安全教育センターの老朽化が進行しています。
- ・市民体育センターに加え、地区内の小学校、中学校、保育園、公民館はいずれも避難所に指定されています。
- ・市民会館、博物館は津波の浸水が想定される区域に位置しています。

図 4-23 公共施設一覧（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度	老朽化度	避難所指定			災害の危険区域					
							指定	指定緊急	地域	津波浸水	高潮浸水	河川浸水	雨水浸水	土砂災害	
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	蒲郡北部小学校	4,854	S27	2.4	○	○	—	—	—	—	—	—	
			蒲郡西部小学校	3,756	S27	3.0	○	○	—	—	—	—	—	—	
			中央小学校	6,409	S43	2.6	○	○	—	—	—	~3.0	~0.3	—	
	中学校	中部中学校	7,640	S52	2.6	○	○	—	—	—	—	—	—		
		児童福祉施設	保育園	北部保育園	1,283	S54	2.3	○	—	—	—	—	—	—	
				西部保育園	663	S52	2.4	○	—	—	—	—	—	—	
	中部保育園			1,308	S51	2.4	○	—	—	—	—	~0.3	—		
	児童館	ちゅうぶ児童館	569	H17	1.8	—	—	—	—	—	—	—			
	公民館等施設	公民館	北部公民館	551	S52	3.5	—	—	○	—	—	—	—		
			西部公民館	418	S50	4.0	—	—	○	—	—	—	—		
	運動・公園施設	公園	中央公園	157	S55	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—	
			水竹公園	23	R1	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—	
			大坪公園	12	S43	対象外	—	○	—	—	~3.0	~1.0	~0.5	—	
			旭公園	75	H7	対象外	—	○	—	—	—	~0.3	~0.3	—	
			御幸公園	8	S61	対象外	—	○	—	—	—	~0.3	—	—	
			中ノ坊公園	10	S42	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—	
			神倉公園	17	H7	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—	
			藪田公園	10	S51	対象外	—	○	—	—	—	~3.0	—	—	
			蒲形公園	15	S58	対象外	—	○	—	—	—	~0.3	—	—	
			海岸公園	10	S47	対象外	—	—	—	~0.3	~3.0	~1.0	—	—	
			児童遊園地等	西沢児童遊園地	11	S42	対象外	—	—	—	—	~3.0	~1.0	~0.5	—
				神ノ郷児童遊園地	2	S50	対象外	—	—	—	—	—	—	~0.3	—
				宮成中央児童遊園地	2	S55	対象外	—	—	—	—	—	~0.3	—	—
			スポーツ施設等	水竹運動広場	2	H6	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
				坂本運動広場	2	S61	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
	全市 利用型 施設	庁舎等施設	庁舎・倉庫	本庁舎	19,817	S36	2.7	—	—	—	—	—	~0.3	—	
		公民館等施設	市民会館	市民会館	13,233	S48	4.1	—	—	—	~0.3	~3.0	~1.0	~0.5	
生涯学習施設		博物館等	博物館	2,364	S53	2.7	—	—	—	~0.3	~3.0	~1.0	~0.5		
			図書館	2,006	S44	2.9	—	—	—	—	—	—	—		
運動・公園施設		スポーツ施設等	市民体育センター	10,124	S42	2.0	○	—	—	—	~3.0	~3.0	~0.5		
消防・防災施設		消防団器具庫等	消防団3-2器具庫	92	H21	対象外	—	—	—	—	—	~0.3	—	—	
			消防団5-1器具庫	45	S59	対象外	—	—	—	—	—	—	—		
			消防団5-2器具庫	45	S58	対象外	—	—	—	—	—	—	—		
			消防団5-3器具庫	35	S53	対象外	—	—	—	—	—	—	特別		
			消防団6器具庫	32	S56	対象外	—	—	—	—	—	—	—		
		防災資機材庫等	清田水防倉庫	39	S53	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
			西部小大震災対策用器具格納庫	7	S58	対象外	—	—	—	—	—	—	—		
			北部小大震災対策用器具格納庫	7	S59	対象外	—	—	—	—	—	—	—		
			中央小大震災対策用器具格納庫	7	H2	対象外	—	—	—	—	—	~3.0	~0.3		
			中ノ坊公園大震災対策用器具格納庫	7	H4	対象外	—	—	—	—	—	—	—		
その他施設	その他	交通安全教育センター	276	S48	4.0	—	—	—	—	~0.5	~3.0	~0.3			

※データ掲載上の条件は 87 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では公民館で会議室等の貸出しを行っています。北部公民館は貸部屋等利用率が10%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では、市民会館、博物館、市民体育センターで施設の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は、いずれの施設も30%程度となっています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約6.75億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約53.3千円となっています。
- ・支出を項目別にみると、市民会館と図書館は指定管理料が大きくなっています。

図 4-24 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	北部公民館	講義室、会議室、第1研修室、第2研修室、料理実習室
			西部公民館	講義室、第1研修室(研修室1)、和室(研修室2)、第2研修室(研修室3)、図書室、料理実習室
全市利用型施設	公民館等施設	市民会館	市民会館	大ホール、中ホール、東ホール、大会議室、中会議室、東会議室、談話室、会議室1、会議室2、会議室3、音楽室、託児室、茶室、展示場1(パブリックロビー)、展示室2(高床広場)
	生涯学習施設	博物館等	博物館	ギャラリー(企画展示室)西、ギャラリー(企画展示室)東
	運動・公園施設	スポーツ施設等	市民体育センター	競技場A、競技場B、剣道場A、剣道場B、剣道場C、柔道場A、柔道場B、柔道場C、相撲場、多目的練習場、大会議室、第1会議室、第2会議室、第3会議室、第4会議室、第5会議室、武道館会議室、和室大広間、和室南の間 ※武道館会議室は令和5(2023)年度に廃止

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)				
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	北部公民館	10.4					
			西部公民館	28.1					
全市利用型施設	公民館等施設	市民会館	市民会館	26.1					
	生涯学習施設	博物館等	博物館	29.1					
	運動・公園施設	スポーツ施設等	市民体育センター	29.4					

※貸部屋等利用率の値は5カ年度(令和2(2020)~6(2024)年度)の平均値を掲載しています。

図 4-25 公共施設の利用状況の把握（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	利用者数			平均園児・ 生徒 数 (人)	平均 入居率 (%)	貸部屋等 利用率 (%)
					5年平均 (人)	1日あたり 平均 (人/日)	面積あたり 1日あたり平均 (人/㎡・日)			
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	蒲郡北部小学校	4,854	—	—	—	293	—	—
			蒲郡西部小学校	3,756	—	—	—	61	—	—
			中央小学校	6,409	—	—	—	289	—	—
		中学校	中部中学校	7,640	—	—	—	351	—	—
	児童福祉施設	保育園	北部保育園	1,283	—	—	—	112	—	—
			西部保育園	663	—	—	—	44	—	—
			中部保育園	1,308	—	—	—	136	—	—
		児童館	ちゅうぶ児童館	569	18,723	65.6	0.115	—	—	—
	公民館等施設	公民館	北部公民館	551	12,143	45.1	0.082	—	—	10.4
			西部公民館	418	7,300	26.9	0.064	—	—	28.1
	運動・公園施設	公園	中央公園	157	—	—	—	—	—	—
			水竹公園	23	—	—	—	—	—	—
			大坪公園	12	—	—	—	—	—	—
			旭公園	75	—	—	—	—	—	—
			御幸公園	8	—	—	—	—	—	—
			中ノ坊公園	10	—	—	—	—	—	—
			神倉公園	17	—	—	—	—	—	—
			藪田公園	10	—	—	—	—	—	—
			蒲形公園	15	—	—	—	—	—	—
			海岸公園	10	—	—	—	—	—	—
児童遊園地等		西沢児童遊園地	11	—	—	—	—	—	—	
		神ノ郷児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—	
スポーツ施設等		水竹運動広場	2	—	—	—	—	—	—	
		坂本運動広場	2	—	—	—	—	—	—	
全市 利用型 施設	庁舎等施設	庁舎・倉庫	本庁舎	19,817	—	—	—	—	—	
	公民館等施設	市民会館	市民会館	13,233	102,813	348.8	0.026	—	26.1	
	生涯学習施設	博物館等	博物館	2,364	26,382	91.2	0.039	—	29.1	
		図書館	図書館	2,006	175,147	650.1	0.324	—	—	
	運動・公園施設	スポーツ施設等	市民体育センター	10,124	105,910	294.8	0.029	—	29.4	
	消防・防災施設	消防団器具庫等	消防団3-2器具庫	92	—	—	—	—	—	—
			消防団5-1器具庫	45	—	—	—	—	—	—
			消防団5-2器具庫	45	—	—	—	—	—	—
			消防団5-3器具庫	35	—	—	—	—	—	—
			消防団6器具庫	32	—	—	—	—	—	—
		防災資機材庫等	清田水防倉庫	39	—	—	—	—	—	—
			西部小大震火災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
			北部小大震火災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
中央小大震火災対策用器具格納庫			7	—	—	—	—	—	—	
中部中大震火災対策用器具格納庫			7	—	—	—	—	—	—	
その他施設	その他	中ノ坊公園大震火災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—	
		大坪公園大震火災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—	
		栄町大震火災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—	
交通安全教育センター	276	—	—	—	—	—	—			

※利用状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

図 4-26 公共施設のコスト状況の把握（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)		
					施設に係るコスト (千円)	事業運営に係るコスト (千円)	人に係るコスト (千円)	指定管理料 (千円)					
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	蒲郡北部小学校	4,854	31,682	7,193	7,646	0	85	46,436	9,566		
			蒲郡西部小学校	3,756	21,494	5,913	7,646	0	85	34,967	9,309		
			中央小学校	6,409	34,419	7,156	7,646	0	570	48,652	7,591		
		中学校	中部中学校	7,640	98,186	8,455	7,093	0	84	113,649	14,875		
	児童福祉施設	保育園	北部保育園	1,283	6,632	6,672	126,057	0	13,138	126,224	98,348		
			西部保育園	663	7,225	5,025	71,951	0	5,182	79,019	119,171		
			中部保育園	1,308	7,546	7,560	160,313	0	17,805	157,614	120,512		
		児童館	ちゅうぶ児童館	569	4,975	7,876	8,660	0	0	21,511	37,821		
	公民館等施設	公民館	北部公民館	551	722	0	0	5,744	1	6,465	11,740		
			西部公民館	418	2,055	0	0	5,420	0	7,475	17,900		
	運動・公園施設	公園	中央公園	157	4,267	0	0	20,093	0	24,360	155,558		
			水竹公園	23	2,637	0	0	0	0	2,637	114,843		
			大坪公園	12	544	0	0	0	0	544	44,441		
			旭公園	75	1,582	0	0	0	0	1,582	21,057		
			御幸公園	8	521	0	0	0	3	518	62,864		
			中ノ坊公園	10	488	0	0	0	4	484	48,420		
			神倉公園	17	277	0	0	0	0	277	16,237		
			藪田公園	10	342	0	0	0	0	342	35,903		
			蒲形公園	15	910	0	0	0	0	910	60,212		
			海岸公園	10	611	0	0	0	0	611	64,181		
		児童遊園地等	西沢児童遊園地	11	87	0	0	0	0	87	7,681		
			神ノ郷児童遊園地	2	216	0	0	0	0	216	128,333		
			宮成中央児童遊園地	2	81	0	0	0	0	81	34,914		
		スポーツ施設等	水竹運動広場	2	598	0	0	0	0	598	328,791		
			坂本運動広場	2	104	0	0	0	0	104	55,829		
		全市利用型施設	庁舎等施設	庁舎・倉庫	本庁舎	19,817	116,298	19,575	16,260	0	13,182	138,951	7,012
			公民館等施設	市民会館	市民会館	13,233	64,369	860	0	96,445	10,047	151,628	11,458
生涯学習施設	博物館等		博物館	2,364	23,663	4,372	27,973	0	544	55,464	23,458		
			図書館	2,006	9,175	5,968	0	130,306	0	145,449	72,505		
運動・公園施設	スポーツ施設等		市民体育センター	10,124	601,934	2,196	0	42,650	9,693	637,088	62,926		
消防・防災施設	消防団器具庫等		消防団3-2器具庫	92	74	0	0	0	0	74	806		
			消防団5-1器具庫	45	21	0	0	0	0	21	463		
			消防団5-2器具庫	45	21	0	0	0	0	21	467		
			消防団5-3器具庫	35	13	0	0	0	0	13	361		
			消防団6器具庫	32	25	0	0	0	0	25	772		
	防災資機材庫等		清田水防倉庫	39	3	0	0	0	0	3	77		
			西部小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0		
			北部小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0		
			中央小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0		
		中部中大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0			
中ノ坊公園大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0					
大坪公園大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0					
栄町大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0					
その他施設	その他	交通安全教育センター	276	0	0	0	0	48	-48	-174			

※コスト状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

## 4-7 塩津地区の現状

### (1) 地区の特色

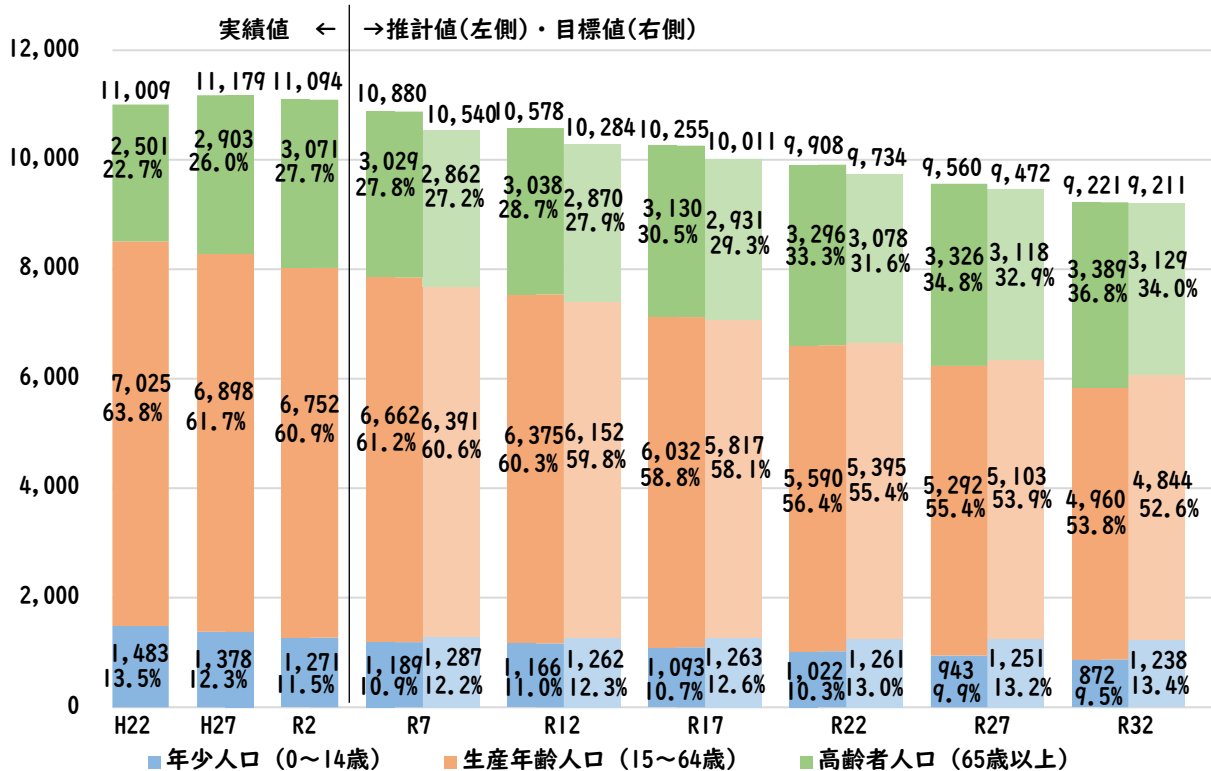
塩津地区は市の中西部に位置し、三河塩津駅・蒲郡競艇場前駅周辺に市街地が形成されています。地区北部は農地や山林が広がり、豊かな自然が広がっています。地区南部の臨海部には埋め立てによって整備された工業団地があり、地域の産業基盤を支えています。また、国道247号周辺にはボートレース場や大型の商業施設が立地しています。

人口は11,095 人で7地区中5番目となっており、市全体の約13.9%を占めています。

### (2) 人口の推移と見込

- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、地区内の人口は、令和2(2020)年の11,094人が令和32(2050)年には9,221人と、約17%減少する見込みです。
- ・年少人口は、令和2(2020)年の1,271人(11.5%)が令和32(2050)年には872人(9.5%)となる見込みです。市全体の動向とほぼ同じように年少人口の減少が進む見込みです。

図 4-27 人口の推移・将来人口の見込 (塩津地区)



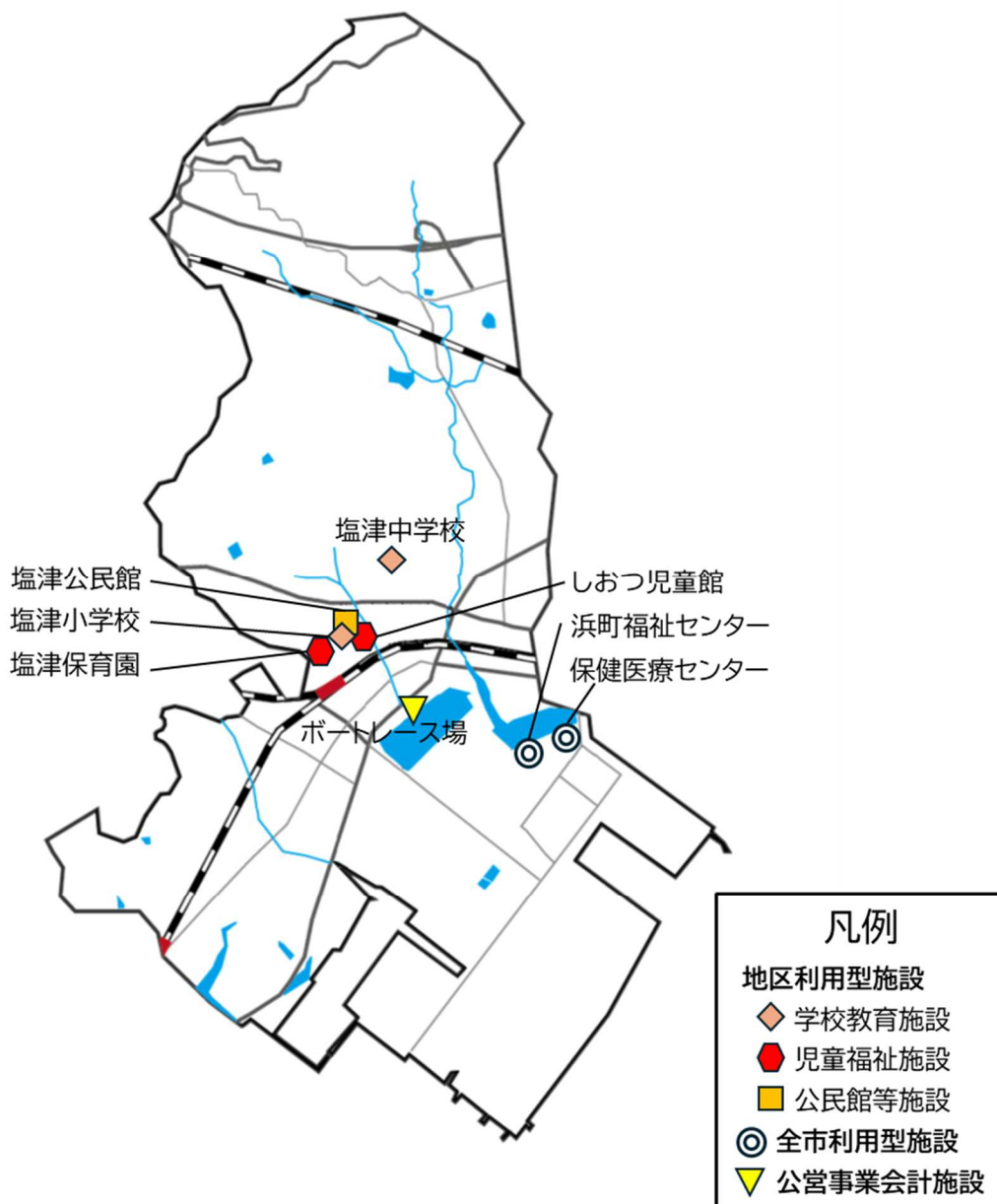
※実績値は各年の国勢調査の結果(年齢不詳按分済)をもとに作成しています。  
 ※令和7(2025)年以降のデータについては、推計値(左側)と目標値(右側)を併記しています。  
 ※推計値は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所が令和2(2020)年国勢調査をもとに令和5(2023)年12月に公表)をもとに作成しています。  
 ※目標値は「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」(平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定)をもとに作成しています。

出所：国勢調査、日本の地域別将来推計人口、蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

### (3) 公共施設の配置状況

- ・合計 23,099 ㎡の公共施設が整備されており、三河塩津駅周辺や東海道本線の沿線に塩津公民館や塩津保育園など、地区利用型施設が集まっています。
- ・臨海部の埋立地には保健医療センターや浜町福祉センターといった全市利用型施設が立地しています。

図 4-28 公共施設の配置状況（塩津地区）



※小規模な施設は配置図に示していません。

#### (4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・塩津公民館、保健医療センターの老朽化が進行しています。
- ・地区内の小学校、中学校、保育園、公民館はいずれも避難所に指定されています。
- ・浜町福祉センター、保健医療センターは津波の浸水が想定される区域に位置しています。

図 4-29 公共施設一覧（塩津地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築 年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域					
							指定	指定 緊急	地域	津波 浸水	高潮 浸水	河川 浸水	雨水 浸水	土砂 災害	
地区 利用 型 施設	学校教育施設	小学校	塩津小学校	7,151	S35	2.9	○	○	—	—	~0.5	—	—	—	
		中学校	塩津中学校	7,010	S37	2.5	○	○	—	—	—	—	—	警戒	
	児童福祉施設	保育園	塩津保育園	936	S44	2.7	○	—	—	—	—	—	—	警戒	
		児童館	しおつ児童館	510	H13	1.9	—	—	—	—	~3.0	—	—	—	
	公民館等施設	公民館	塩津公民館	554	S50	3.5	—	—	○	—	—	—	—	—	
	運動・公園施設	公園	前田公園	8	R5	対象外	—	○	—	—	~3.0	~3.0	~0.3	—	
			東浜公園	9	S50	対象外	—	○	—	—	~3.0	~1.0	~0.5	—	
			亀岩臨海公園	29	S48	対象外	—	—	—	~1.0	~5.0	—	~3.0	—	
		児童遊園地等	油井児童遊園地	11	S45	対象外	—	—	—	—	~3.0	~0.3	~0.5	—	
			竹谷団地児童遊園地	2	S46	対象外	—	—	—	—	—	—	—	警戒	
			鹿島児童遊園地	2	S48	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~0.3	—	
			西迫児童遊園地	2	S51	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
			五反田児童遊園地	2	S55	対象外	—	—	—	—	~0.5	~0.5	—	—	
			柏原児童遊園地	2	H10	対象外	—	—	—	—	—	—	—	警戒	
			西ノ浜児童遊び場	3	H12	対象外	—	—	—	—	~3.0	~1.0	—	—	
			川東児童遊び場	2	S55	対象外	—	—	—	—	~3.0	~1.0	~0.5	—	
		スポーツ施設等	柏原運動広場	6	S59	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
			竹谷運動広場	5	R1	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全市 利用 型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町グラウンド	26	S60	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~0.5	—
			浜町テニスコート	89	H1	対象外	—	—	—	—	~0.3	~3.0	—	—	
保健・福祉施設		保健センター等	浜町福祉センター	709	S57	2.2	—	—	—	—	~1.0	~3.0	—	—	
			保健医療センター	5,855	H5	3.2	—	—	—	—	~1.0	~3.0	—	~0.3	—
消防・防災施設		消防団器具庫等	消防団7-1器具庫	62	H7	対象外	—	—	—	—	~3.0	~1.0	~1.0	—	
			消防団7-2器具庫	20	S42	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
			消防団7-3器具庫	24	S45	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
		防災資機材庫等	塩津水防倉庫	33	S55	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
塩津小大震災対策用器具格納庫			7	S57	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—		
その他施設		駅周辺施設	前田公園大震災対策用器具格納庫	7	H5	対象外	—	—	—	—	~3.0	~3.0	~0.3	—	
	三河塩津駅前公衆便所		20	S63	対象外	—	—	—	—	~0.5	~0.3	—	—		

※データ掲載上の条件は 87 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では塩津公民館で会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は15%を下回っており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では2つのスポーツ施設等で施設の貸出しを行っています。貸部屋等利用率はいずれも10%台で、さらなる利用の促進が求められます。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約2.44億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約22.0千円となっています。

図 4-30 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（塩津地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	塩津公民館	講義室、会議室、交流室、講座室南(和室)、講座室北(和室)、図書室、料理実習室
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町グラウンド 浜町テニスコート	グラウンド(3面)、ゲートボール場(4面) テニスコート(8面)

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	塩津公民館	13.5						
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町グラウンド 浜町テニスコート	12.2 14.8						

※貸部屋等利用率の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※浜町グラウンド、浜町テニスコートは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンド等です。

図 4-31 公共施設の利用状況の把握（塩津地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	延床面積(m <sup>2</sup> )	利用者数			平均園児・児童・生徒数(人)	平均入居率(%)	貸部屋等利用率(%)	
					5年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m <sup>2</sup> ・日)				
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	塩津小学校	7,151	—	—	—	450	—	—	
		中学校	塩津中学校	7,010	—	—	—	271	—	—	
	児童福祉施設	保育園	塩津保育園	936	—	—	—	62	—	—	
		児童館	しおつ児童館	510	19,529	68.5	0.134	—	—	—	
	公民館等施設	公民館	塩津公民館	554	11,404	42.9	0.077	—	—	13.5	
	運動・公園施設	公園	前田公園	8	—	—	—	—	—	—	—
			東浜公園	9	—	—	—	—	—	—	—
			亀岩臨海公園	29	—	—	—	—	—	—	—
		児童遊園地等	油井児童遊園地	11	—	—	—	—	—	—	—
			竹谷団地児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—	—
			鹿島児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—	—
			西迫児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—	—
			五反田児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—	—
			柏原児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—	—
			西ノ浜児童遊遊び場	3	—	—	—	—	—	—	—
			川東児童遊遊び場	2	—	—	—	—	—	—	—
			柏原運動広場	6	—	—	—	—	—	—	—
スポーツ施設等	竹谷運動広場	5	—	—	—	—	—	—	—		
	拾石運動広場	2	—	—	—	—	—	—	—		
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町グラウンド	26	11,429	31.8	1.213	—	—	12.2	
		浜町テニスコート	89	11,909	34.8	0.389	—	—	14.8		
	保健・福祉施設	保健センター等	浜町福祉センター	709	4,640	18.1	0.026	—	—	—	
			保健医療センター	5,855	16,533	45.3	0.008	—	—	—	
	消防・防災施設	消防資機材庫等	消防団7-1器具庫	62	—	—	—	—	—	—	
			消防団7-2器具庫	20	—	—	—	—	—	—	
			消防団7-3器具庫	24	—	—	—	—	—	—	
		防災資機材庫等	塩津小大震災対策用器具格納庫	33	—	—	—	—	—	—	
	前田公園大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—	—		
	その他施設	駅周辺施設	三河塩津駅前公衆便所	7	—	—	—	—	—	—	
20	—	—	—	—	—	—	—	—			

※利用状況の値は5カ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。  
 ※浜町グラウンド、浜町テニスコートの利用者数は、グラウンド等のデータです。

図 4-32 公共施設のコスト状況の把握（塩津地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に係るコスト (千円)	事業運営に係るコスト (千円)	人に係るコスト (千円)	指定管理料 (千円)			
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	塩津小学校	7,151	37,219	8,423	7,646	0	85	53,203	7,440
		中学校	塩津中学校	7,010	46,034	7,910	7,093	0	85	60,951	8,695
	児童福祉施設	保育園	塩津保育園	936	11,154	5,635	82,292	0	5,538	93,543	99,939
		児童館	しおつ児童館	510	4,615	5,600	8,660	0	0	18,875	37,011
	公民館等施設	公民館	塩津公民館	554	890	0	0	6,298	7	7,181	12,953
	運動・公園施設	公園	前田公園	8	2,740	0	0	0	0	2,740	337,463
			東浜公園	9	362	0	0	0	0	362	39,455
			亀岩臨海公園	29	2,321	0	0	0	0	2,321	79,357
		児童遊園地等	油井児童遊園地	11	719	0	0	0	0	719	66,000
			竹谷団地児童遊園地	2	99	0	0	0	0	99	60,242
			鹿島児童遊園地	2	80	0	0	0	0	80	34,310
			西迫児童遊園地	2	254	0	0	0	0	254	109,569
			五反田児童遊園地	2	419	0	0	0	0	419	180,431
			柏原児童遊園地	2	90	0	0	0	0	90	40,089
			西ノ浜児童遊園地	3	145	0	0	0	0	145	53,382
			川東児童遊園地	2	657	0	0	0	0	657	283,017
		スポーツ施設等	柏原運動広場	6	934	0	0	0	0	934	158,105
			竹谷運動広場	5	547	0	0	0	0	547	121,197
			拾石運動広場	2	834	0	0	0	0	834	425,408
	全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	浜町グラウンド	26	2,299	150	0	0	0	2,449
浜町テニスコート			89	921	0	0	3,952	1,024	3,849	43,034	
保健・福祉施設		保健センター等	浜町福祉センター	709	5,300	44,896	0	0	719	49,477	69,748
		保健医療センター	保健医療センター	5,855	70,030	1,021,410	273,047	0	89,527	1,274,960	217,769
消防・防災施設		消防団器具庫等	消防団7-1器具庫	62	52	0	0	0	0	52	842
			消防団7-2器具庫	20	12	0	0	0	0	12	586
			消防団7-3器具庫	24	5	0	0	0	0	5	214
		防災資機材庫等	塩津水防倉庫	33	3	0	0	0	0	3	103
			前田公園大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
その他施設		駅周辺施設	三河塩津駅前公衆便所	20	557	0	0	0	0	557	28,574

※コスト状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

## 4-8 形原地区の現状

### (1) 地区の特色

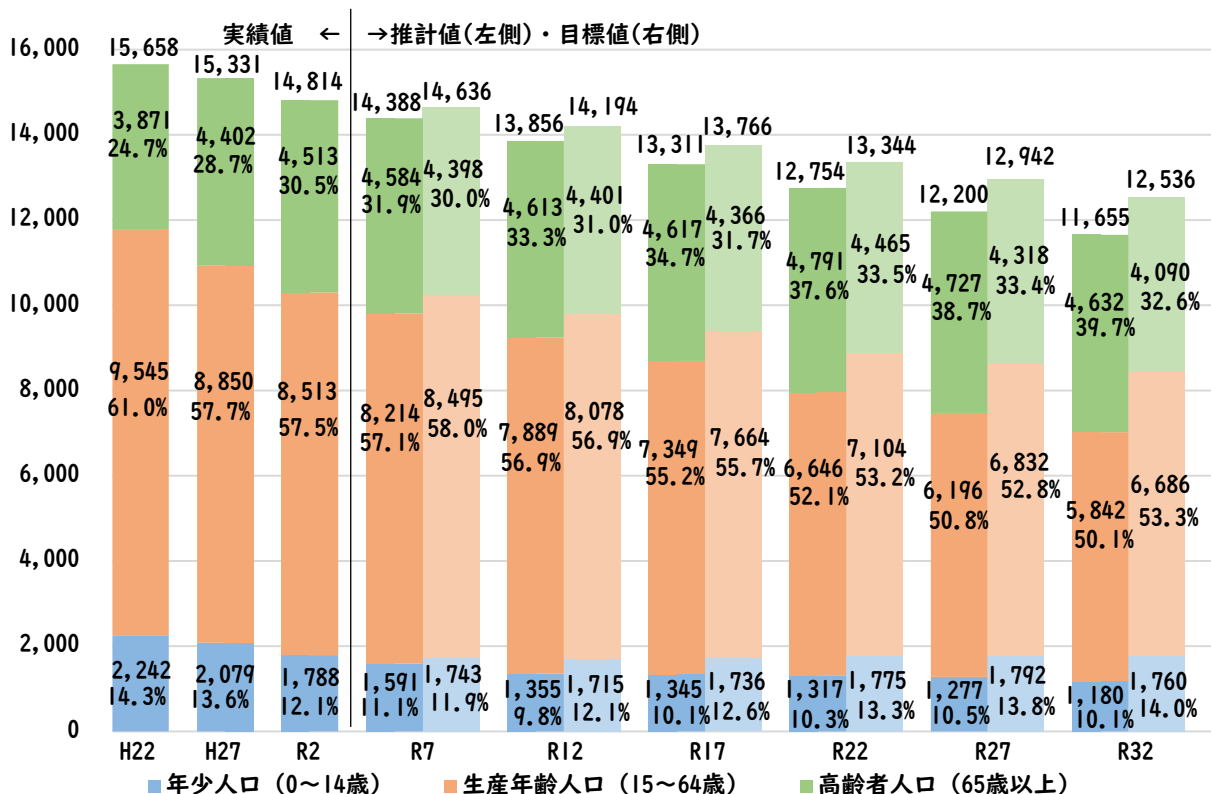
形原地区は市の南西部に位置し、形原駅周辺に住宅と繊維ロープ産業を中心とした工場とが共存した市街地が形成されています。地区東部の臨海部では、埋め立てによって整備された住宅地が広がっています。地区西部には形原温泉などの観光資源があり、また地区南東部には形原漁港が位置しており、水産業も盛んな地区です。

人口は14,814人と7地区中2番目に多く、市全体の約18.6%を占めています。

### (2) 人口の推移と見込

- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、地区内の人口は、令和2(2020)年の14,814人が令和32(2050)年には11,655人と、約21%減少する見込みです。
- ・年少人口は、令和2(2020)年の1,788人(12.1%)が令和32(2050)年には1,180人(10.1%)となる見込みです。市全体の動向とほぼ同じように年少人口の減少が進む見込みです。

図 4-33 人口の推移・将来人口の見込 (形原地区)

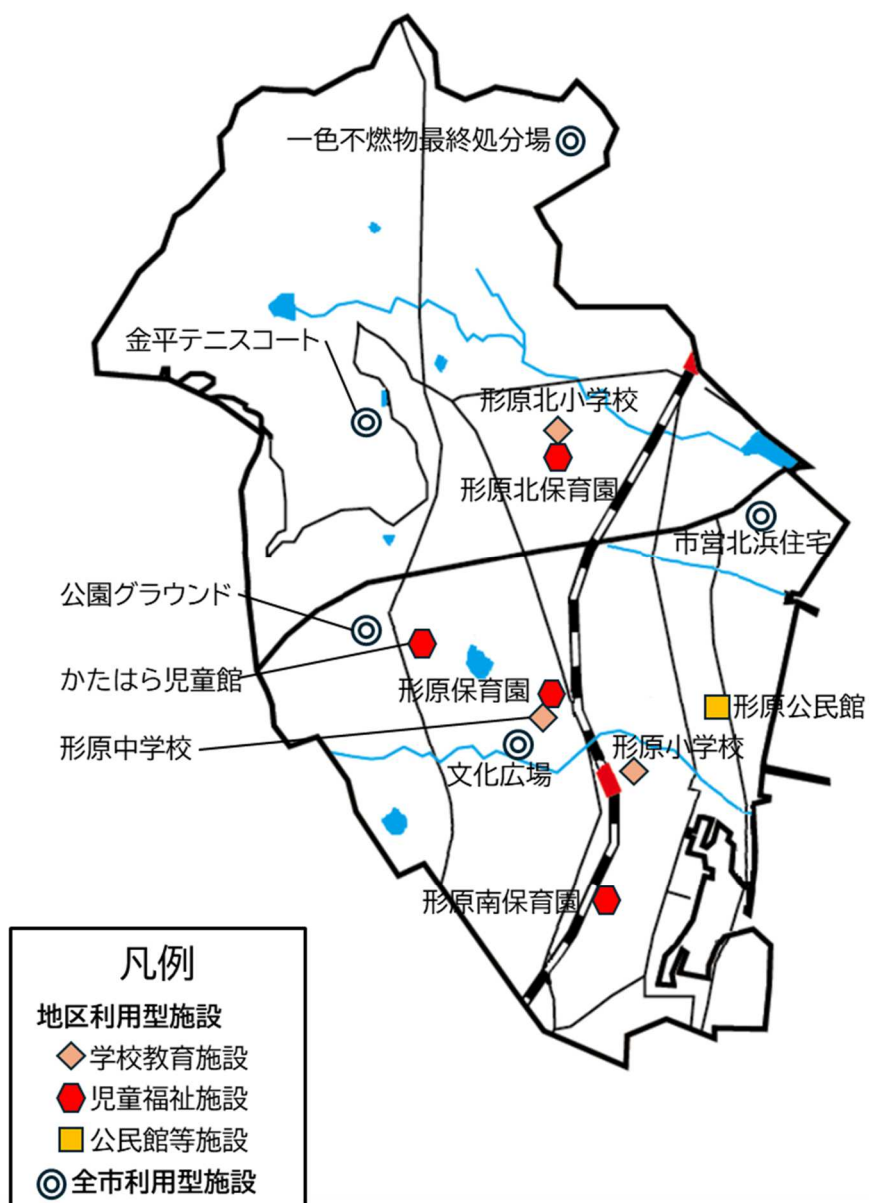


※実績値は各年の国勢調査の結果(年齢不詳按分済)をもとに作成しています。  
 ※令和7(2025)年以降のデータについては、推計値(左側)と目標値(右側)を併記しています。  
 ※推計値は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所が令和2(2020)年国勢調査をもとに令和5(2023)年12月に公表)をもとに作成しています。  
 ※目標値は「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」(平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定)をもとに作成しています。  
 出所：国勢調査、日本の地域別将来推計人口、蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

### (3) 公共施設の配置状況

- ・合計 34,294 m<sup>2</sup>の公共施設が整備されており、地区内に比較的分散して施設が立地しています。

図 4-34 公共施設の配置状況（形原地区）



※小規模な施設は配置図に示しておりません。

#### (4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・金平テニスコート、一色不燃物最終処分場の老朽化が進んでいます。
- ・文化広場に加え、地区内の小学校、中学校、保育園、児童館はいずれも避難所に指定されています。

図 4-35 公共施設一覧（形原地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築 年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域				
							指定	指定 緊急	地域	津波 浸水	高潮 浸水	河川 浸水	雨水 浸水	土砂 災害
地区 利用 型 施設	学校教育施設	小学校	形原小学校	6,261	S42	1.9	○	○	—	—	—	—	~0.3	—
			形原北小学校	6,447	S41	2.3	○	○	—	—	—	—	—	—
		中学校	形原中学校	8,716	S44	2.0	○	○	○	—	—	—	~0.5	—
	児童福祉施設	保育園	形原保育園	907	S45	2.2	○	—	—	—	—	—	—	—
			形原南保育園	1,201	S55	2.5	○	—	—	—	—	—	—	—
			形原北保育園	925	S42	2.4	○	—	—	—	—	—	—	—
	児童館	かたはら児童館	349	H3	2.7	—	—	○	—	—	—	—	—	
	公民館等施設	公民館	形原公民館	845	H21	1.8	—	—	—	—	~3.0	—	—	—
	運動・公園施設	公園	北浜公園	18	S54	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	—	—
			双太山公園	220	H1	対象外	—	○	—	—	—	—	—	—
			春日浦公園	78	H10	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	—	—
		児童遊園地等	下市児童遊園地	11	S42	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~1.0	—
			金平児童遊園地	2	S49	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
			折坂児童遊園地	2	S56	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—
ひまわり児童遊び場			105	S42	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~1.0	—	
鞍掛児童遊び場			2	S46	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
スポーツ施設等			一色運動広場	6	S58	対象外	—	—	—	—	—	—	~0.3	—
全市 利用 型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	2,046	S47	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—
			文化広場	1,857	S58	1.9	○	○	—	—	—	—	—	—
			金平テニスコート	242	S62	3.9	—	—	—	—	—	—	—	警戒
			形原テニスコート	43	S53	対象外	—	—	—	~1.0	~3.0	—	~3.0	—
	衛生施設	ごみ処理施設等	一色不燃物最終処分場	266	S57	3.2	—	—	—	—	—	—	—	
	公営住宅施設	公営住宅	市営北浜住宅	3,423	S57	2.8	—	—	—	—	~3.0	—	—	
	観光施設	観光施設	アジサイ園地駐車場	22	H1	対象外	—	—	—	—	—	—	警戒	
	消防・防災施設	消防団器具庫等	消防団8-1器具庫	22	S53	対象外	—	—	—	~0.3	~3.0	—	~1.0	—
			消防団8-2器具庫	20	S48	対象外	—	—	—	—	—	—	~0.5	—
			消防団8-3器具庫	230	S48	対象外	—	—	—	—	—	—	~0.3	—
防災資機材庫等		形原小大震災対策用器具格納庫	7	S55	対象外	—	—	—	—	—	—	~0.3	—	
		形原北小大震災対策用器具格納庫	7	S60	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	
形原中大震災対策用器具格納庫	7	H1	対象外	—	—	—	—	—	—	~0.5	—			
形原4区大震災対策用器具格納庫	7	H10	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

※データ掲載上の条件は 87 ページをご確認ください。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では形原公民館で会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は20%台となっています。
- ・全市利用型施設では4つのスポーツ施設等で施設の貸出しを行っています。このうち、金平テニスコート、形原テニスコートの貸部屋等利用率は15%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約5.2億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約35.1千円となっています。

図 4-36 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（形原地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	形原公民館	大ホール、中ホール、会議室1、会議室2、会議室3、和室(西)、和室(東)
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	陸上競技場、野球場
			文化広場	競技場A、競技場B、大会議室、小会議室、和室、多目的運動場、はなのき広場 ※和室は令和7(2025)年度から多目的室に改称
			金平テニスコート	テニスコート(8面)
			形原テニスコート	テニスコート(4面)

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	形原公民館	23.0						
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	38.6						
			文化広場	30.1						
			金平テニスコート	17.8						
			形原テニスコート	13.0						

※貸部屋等利用率の値は5ヵ年度(令和2(2020)~6(2024)年度)の平均値を掲載しています。  
 ※公園グラウンド、金平テニスコート、形原テニスコートは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンド等です。

図 4-37 公共施設の利用状況の把握（形原地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	延床面積(m <sup>2</sup> )	利用者数			平均園児・児童・生徒数(人)	平均入居率(%)	貸部屋等利用率(%)	
					5年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m <sup>2</sup> ・日)				
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	形原小学校	6,261	—	—	—	354	—	—	
			形原北小学校	6,447	—	—	—	440	—	—	
		中学校	形原中学校	8,716	—	—	—	435	—	—	
	児童福祉施設	保育園	形原保育園	907	—	—	—	84	—	—	
			形原南保育園	1,201	—	—	—	63	—	—	
			形原北保育園	925	—	—	—	48	—	—	
	公民館等施設	公民館	かたはら児童館	349	13,020	45.2	0.130	—	—	—	
			形原公民館	845	11,212	42.9	0.051	—	—	23.0	
	運動・公園施設	公園	北浜公園	18	—	—	—	—	—	—	
			双太山公園	220	—	—	—	—	—	—	
春日浦公園			78	—	—	—	—	—	—		
児童遊園地等		下市児童遊園地	11	—	—	—	—	—	—		
		金平児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—		
		折坂児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—		
		ひまわり児童遊び場	105	—	—	—	—	—	—		
		鞍掛児童遊び場	2	—	—	—	—	—	—		
スポーツ施設等	一色運動広場	6	—	—	—	—	—	—			
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	2,046	26,883	87.3	0.043	—	—	38.6	
			文化広場	1,857	22,975	74.6	0.040	—	—	30.1	
			金平テニスコート	242	10,544	30.2	0.125	—	—	17.8	
			形原テニスコート	43	4,637	13.3	0.312	—	—	13.0	
	衛生施設	ごみ処理施設等	一色不燃物最終処分場	266	—	—	—	—	—	—	
	公営住宅施設	公営住宅	市営北浜住宅	3,423	—	—	—	—	89.6	—	
	観光施設	観光施設	アジサイ園地駐車場	22	—	—	—	—	—	—	
			消防団器具庫等	消防団8-1器具庫	22	—	—	—	—	—	—
				消防団8-2器具庫	20	—	—	—	—	—	—
				消防団8-3器具庫	230	—	—	—	—	—	—
消防・防災施設			防災資機材庫等	形原小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
				形原北小大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
				形原中大震災対策用器具格納庫	7	—	—	—	—	—	—
	形原4区大震災対策用器具格納庫	7		—	—	—	—	—	—		

※利用状況の値は5ヵ年度(令和2(2020)~6(2024)年度)の平均値を掲載しています。  
 ※公園グラウンド、金平テニスコート、形原テニスコートの利用者数は、グラウンド等のデータです。

図 4-38 公共施設のコスト状況の把握（形原地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に 係るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に 係るコスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用型 施設	学校教育施設	小学校	形原小学校	6,261	29,063	7,607	7,646	0	85	44,231	7,064
			形原北小学校	6,447	36,776	8,073	12,944	0	1,712	56,081	8,699
		中学校	形原中学校	8,716	83,697	9,218	7,093	0	85	99,922	11,464
	児童福祉施設	保育園	形原保育園	907	5,933	5,994	101,827	0	8,482	105,273	116,034
			形原南保育園	1,201	5,793	5,363	102,675	0	5,676	108,154	90,074
			形原北保育園	925	5,675	4,171	51,684	0	1,762	59,769	64,623
	公民館等施設	児童館	かたはら児童館	349	3,158	5,638	7,900	0	0	16,696	47,863
		公民館	形原公民館	845	2,509	0	0	8,189	5	10,693	12,655
	運動・公園施設	公園	北浜公園	18	0	0	0	4,767	0	4,767	272,423
			双太山公園	220	35	0	0	7,152	0	7,187	32,687
			春日浦公園	78	0	0	0	4,087	0	4,087	52,074
		児童遊園地等	下市児童遊園地	11	121	0	0	0	0	121	11,072
			金平児童遊園地	2	559	0	0	0	0	559	240,948
			折坂児童遊園地	2	218	0	0	0	0	218	93,966
			ひまわり児童遊び場	105	287	0	0	0	0	287	2,725
			鞍掛児童遊び場	2	375	0	0	0	0	375	227,273
スポーツ施設等		一色運動広場	6	1,926	0	0	0	0	1,926	321,067	
運動・公園施設		スポーツ施設等	公園グラウンド	2,046	65,514	0	0	18,402	1,116	82,800	40,463
	文化広場		1,857	78,600	0	0	11,234	1,918	87,917	47,337	
	金平テニスコート		242	3,077	0	0	3,090	2,059	4,107	16,954	
	形原テニスコート		43	224	0	0	1,213	969	468	10,989	
衛生施設	ごみ処理施設等	一色不燃物最終処分場	266	24,234	2,301	11,050	0	13,196	24,388	91,685	
公営住宅施設	公営住宅	市営北浜住宅	3,423	18,163	0	1,706	0	13,100	6,769	1,978	
観光施設	観光施設	アジサイ園地駐車場	22	897	0	0	0	0	897	41,222	
消防・防災施設	消防資機材庫等	消防団8-1器具庫	22	6	0	0	0	0	6	277	
		消防団8-2器具庫	20	4	0	0	0	0	4	212	
		消防団8-3器具庫	230	61	0	0	0	0	61	263	
		形原小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0	
		形原北小大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0	
		形原中大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0	
形原4区大震災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0			

※コスト状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

## 4-9 西浦地区の現状

### (1) 地区の特色

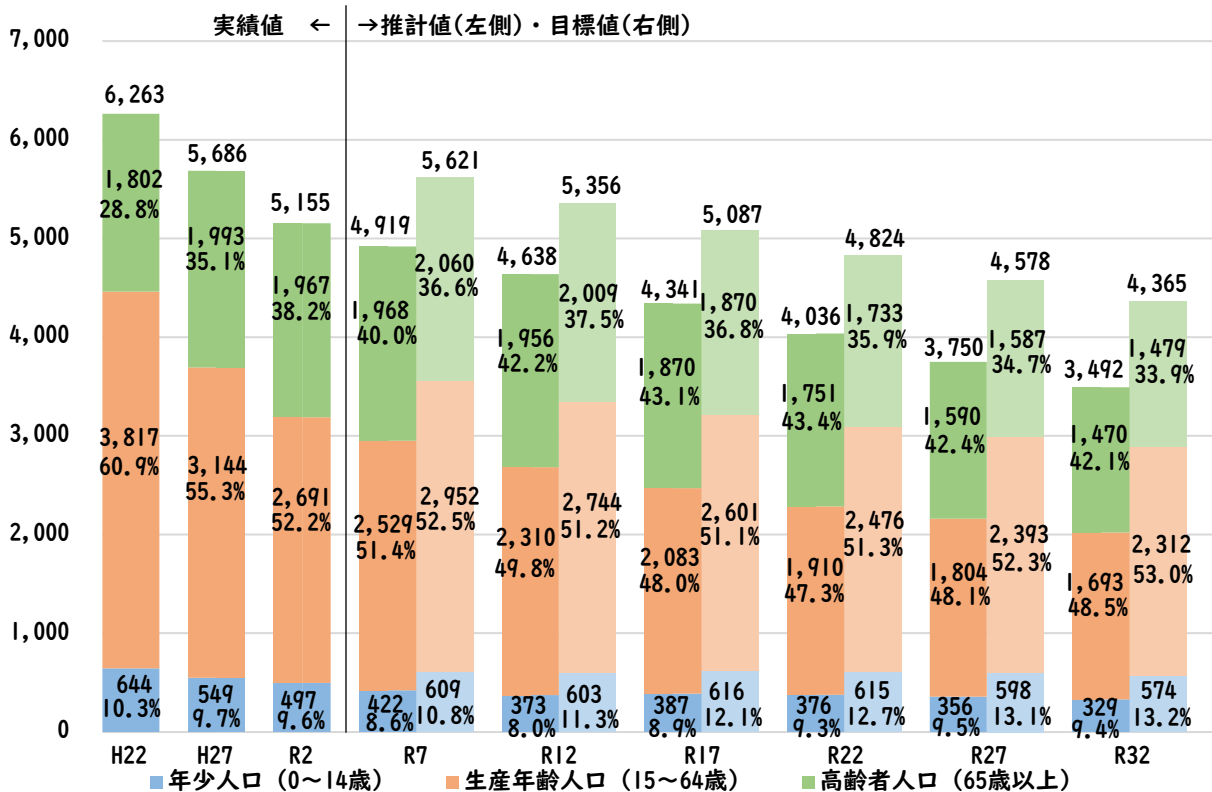
西浦地区は市の西端部に位置し、西浦駅周辺を中心に市街地が形成されています。地区南部は半島になっており、岬の先端部にある西浦温泉には旅館のほか海水浴場や園地が立地し、海に囲まれた自然環境を活かした観光地となっています。地区東部は山林になっている一方、地区西部には知柄漁港があり、水産業も盛んです。

人口は5,154人と7地区の中で最も少なく、市全体の約6.5%を占めています。

### (2) 人口の推移と見込

- ・国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計では、地区内の人口は、令和2(2020)年の5,155人が令和32(2050)年には3,492人と、約32%減少する見込みです。
- ・年少人口は、令和2(2020)年の497人(9.6%)が令和32(2050)年には329人(9.4%)となる見込みです。一方、高齢者人口の割合は今後4割を超える見込みで、市全体の動向よりかなり速いペースで少子化・高齢化が進んでいる状況です。

図 4-39 人口の推移・将来人口の見込 (西浦地区)



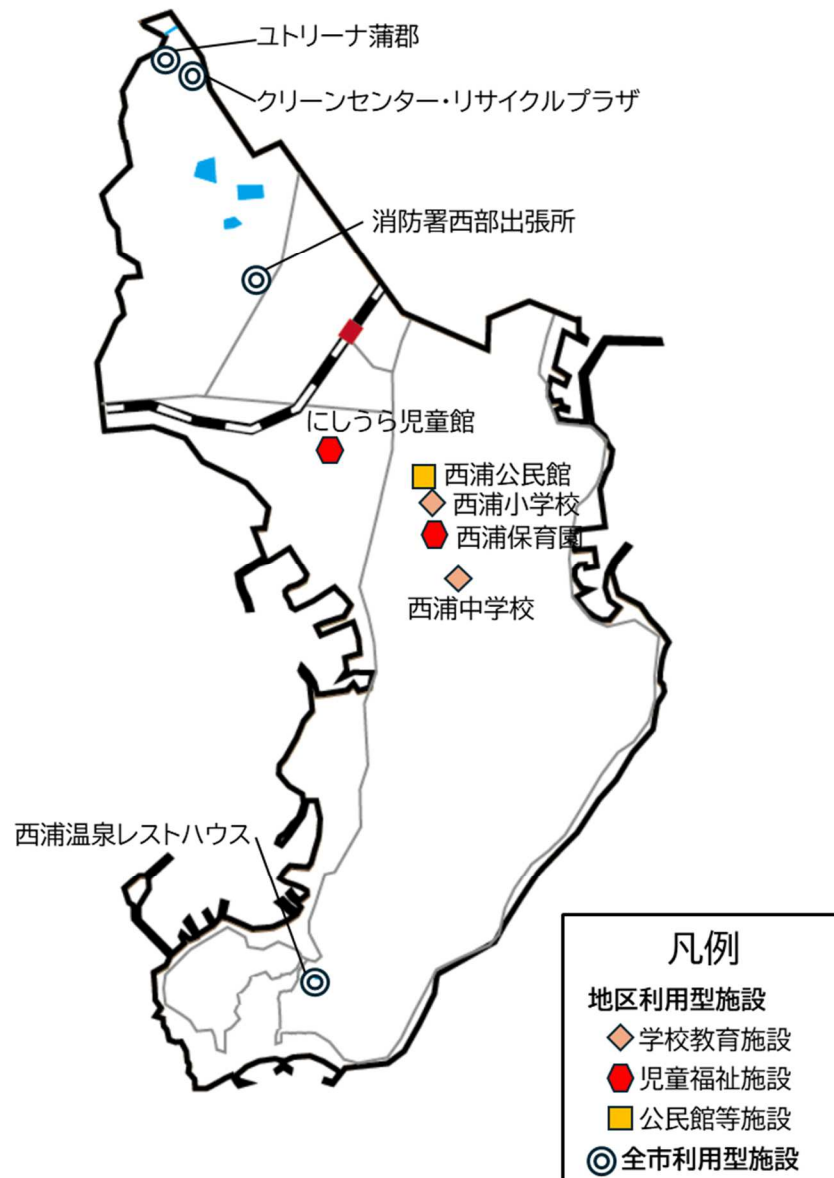
※実績値は各年の国勢調査の結果(年齢不詳按分済)をもとに作成しています。  
 ※令和7(2025)年以降のデータについては、推計値(左側)と目標値(右側)を併記しています。  
 ※推計値は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所が令和2(2020)年国勢調査をもとに令和5年12月に公表)をもとに作成しています。  
 ※目標値は「蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」(平成22(2010)年国勢調査をもとに平成28(2016)年3月に策定)をもとに作成しています。

出所：国勢調査、日本の地域別将来推計人口、蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

### (3) 公共施設の配置状況

- ・合計 29,889 m<sup>2</sup>の公共施設が整備されており、このうち地区利用型施設は地区中央部に集中して施設が立地しています。

図 4-40 公共施設の配置状況（西浦地区）



※小規模な施設は配置図に示しておりません。

#### (4) 老朽化状況・災害区域指定等状況

- ・西浦中学校、西浦公民館、ユトリーナ蒲郡、西浦温泉レストハウスの老朽化が進行しています。
- ・地区内の小学校、中学校、保育園、公民館はいずれも避難所に指定されています。
- ・西浦小学校、西浦中学校、ユトリーナ蒲郡の敷地には、土砂災害特別警戒区域に指定されている部分があります。

図 4-41 公共施設一覧（西浦地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築 年度	老朽化 度	避難所指定			災害の危険区域					
							指定	指定 緊急	地域	津波 浸水	高潮 浸水	河川 浸水	雨水 浸水	土砂 災害	
地区 利用 型 施設	学校教育施設	小学校	西浦小学校	6,193	S28	2.9	○	○	—	—	—	—	—	~0.5	特別
		中学校	西浦中学校	7,004	S37	3.4	○	○	—	—	—	—	—	—	特別
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,188	S57	2.5	○	—	—	—	—	—	—	~0.3	—
		児童館	にしうら児童館	491	H13	1.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	公民館等施設	公民館	西浦公民館	1,078	S51	3.6	—	—	○	—	—	—	—	—	—
	運動・公園施設	児童遊園地等	橋田児童遊園地	2	S53	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スポーツ施設等		大知柄運動広場	11	S56	対象外	—	—	—	~2.0	~0.5	—	—	~0.3	—	
全市 利用 型 施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	南明柄グラウンド	20	S53	対象外	—	—	—	—	~3.0	—	~0.3	警戒	
			西浦グラウンド	6	S54	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	保健・福祉施設	福祉センター等	ユトリーナ蒲郡	1,977	H12	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	特別
	衛生施設	ごみ処理施設等	クリーンセンター	7,139	H9	2.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			リサイクルプラザ	3,265	H11	3.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	観光施設	観光施設	西浦温泉レストハウス	140	S41	3.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			西浦園地	127	S44	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	特別
			西浦温泉園地	76	S50	対象外	—	—	—	~1.0	~3.0	—	—	—	警戒
	消防・防災施設	消防署	消防署西部出張所	924	R5	1.0	—	—	—	—	—	—	—	~0.5	—
		消防団器具庫等	消防団7-1器具庫	136	H25	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			消防団7-2器具庫	29	S49	対象外	—	—	—	~2.0	~3.0	—	—	~0.3	—
		防災資機材庫等	西浦水防倉庫	42	H25	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西浦小大震火災対策用器具格納庫			7	S56	対象外	—	—	—	—	—	—	—	~0.5	—	
その他施設	駅周辺施設	西浦駅待合所	34	R5	対象外	—	—	—	—	—	—	—	—		

※データ掲載上の条件は 87 ページをご確認ください。

### (5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では西浦公民館で会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は15%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では2つのグラウンドで施設の貸出しを行っています。貸部屋等利用率はいずれも20%台となっています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約2.36億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約45.8千円となっています。

図 4-42 部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（西浦地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	西浦公民館	講堂、第1会議室、第2会議室、第1研修室、第2研修室、調理室、南館1階会議室(談話室)、南館2階会議室、南館図書室
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	南明柄グラウンド	グラウンド(4面)
			西浦グラウンド	グラウンド

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館	西浦公民館	14.5						
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	南明柄グラウンド	20.4						
			西浦グラウンド	26.0						

※貸部屋等利用率の値は5ヵ年度(令和2(2020)~6(2024)年度)の平均値を掲載しています。  
 ※南明柄グラウンド、西浦グラウンドは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンドです。

図 4-43 公共施設の利用状況の把握（西浦地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(小分類)	施設名称	延床面積(m <sup>2</sup> )	利用者数			平均園児・児童・生徒数(人)	平均入居率(%)	貸部屋等利用率(%)	
					5年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m <sup>2</sup> ・日)				
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	西浦小学校	6,193	—	—	—	203	—	—	
		中学校	西浦中学校	7,004	—	—	—	125	—	—	
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,188	—	—	—	81	—	—	
		児童館	にしうら児童館	491	11,469	39.9	0.081	—	—	—	
	公民館等施設	公民館	西浦公民館	1,078	22,332	85.4	0.079	—	—	14.5	
	運動・公園施設	児童遊園地等	橋田児童遊園地	2	—	—	—	—	—	—	
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	南明柄グラウンド	20	7,179	20.6	1.020	—	—	20.4	
			西浦グラウンド	6	2,088	5.8	0.905	—	—	26.0	
	保健・福祉施設	福祉センター等	ユトリーナ蒲郡	1,977	32,827	126.2	0.064	—	—	—	
	衛生施設	ごみ処理施設等	クリーンセンター	7,139	—	—	—	—	—	—	
			リサイクルプラザ	3,265	—	—	—	—	—	—	
	観光施設	観光施設	西浦温泉レストハウス	140	—	—	—	—	—	—	
			西浦園地	127	—	—	—	—	—	—	
			西浦温泉園地	76	14,492	233.7	3.091	—	—	—	
	消防・防災施設	消防・防災施設	消防署	消防署西部出張所	924	—	—	—	—	—	—
			消防団器具庫等	消防団9-1器具庫	136	—	—	—	—	—	—
				消防団9-2器具庫	29	—	—	—	—	—	—
			防災資機材庫等	西浦水防倉庫	42	—	—	—	—	—	—
	西浦小大震災対策用器具格納庫	7		—	—	—	—	—	—		
その他施設	駅周辺施設	西浦駅待合所	34	—	—	—	—	—	—		

※利用状況の値は5ヵ年度(令和2(2020)~6(2024)年度)の平均値を掲載しています。  
 ※南明柄グラウンド、西浦グラウンドの利用者数は、グラウンドのデータです。  
 ※西浦温泉園地の利用者数は、海水浴場のデータです。

図 4-44 公共施設のコスト状況の把握（西浦地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (小分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	市の支出				市の収入 (千円)	市負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
					施設に係るコスト (千円)	事業運営に係るコスト (千円)	人に係るコスト (千円)	指定管理料 (千円)			
地区利用型施設	学校教育施設	小学校	西浦小学校	6,193	38,131	6,292	7,646	0	85	51,984	8,395
		中学校	西浦中学校	7,004	41,771	6,977	7,093	0	85	55,755	7,961
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,188	9,457	5,789	92,267	0	5,755	101,758	85,663
		児童館	にしうら児童館	491	1,598	5,679	4,860	0	28	12,109	24,661
	公民館等施設	公民館	西浦公民館	1,078	4,154	0	0	7,888	22	12,021	11,150
	運動・公園施設	児童遊園地等	橋田児童遊園地	2	383	0	0	0	0	383	164,914
		スポーツ施設等	大知柄運動広場	11	1,992	0	0	0	0	1,992	176,248
全市利用型施設	運動・公園施設	スポーツ施設等	南明柄グラウンド	20	2,097	0	0	2,657	32	5,531	274,375
			西浦グラウンド	6	970	0	0	299	25	1,244	193,769
	保健・福祉施設	福祉センター等	ユトリーナ蒲郡	1,977	14,974	0	0	34,146	98	49,023	24,791
	衛生施設	ごみ処理施設等	クリーンセンター	7,139	1,165,533	328,575	31,808	0	169,610	1,356,306	189,999
			リサイクルプラザ	3,265	100,474	167,947	53,258	0	0	321,679	98,528
	観光施設	観光施設	西浦温泉レストハウス	140	219	0	0	0	0	219	1,570
			西浦園地	127	3508	0	0	0	4	3,504	27,580
			西浦温泉園地	76	579	0	0	0	0	579	7,652
	消防・防災施設	消防資機材庫等	消防署西部出張所	924	2,231	0	149,240	0	0	151,471	163,886
		消防団器具庫等	消防団9-1器具庫	136	80	0	0	0	0	80	590
			消防団9-2器具庫	29	4	0	0	0	0	4	130
		防災資機材庫等	西浦水防倉庫	42	0	0	0	0	0	0	0
	その他施設	駅周辺施設	西浦小大震災火災対策用器具格納庫	7	0	0	0	0	0	0	0
西浦駅待合所			34	657	0	0	0	0	657	19,519	

※コスト状況の値は5ヵ年度（令和2（2020）～6（2024）年度）の平均値を掲載しています。

※西浦駅待合所は令和5（2023）年度に供用開始したため、令和6（2024）年度の数値を掲載していません。



**令和7年度 蒲郡市公共施設白書**

**編集・発行 蒲郡市総務部資産マネジメント課**

**〒443-8601**

**愛知県蒲郡市旭町17番1号**

**TEL 0533-66-1111（代表）**